



14
730

植民政策

完

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



矢内原教授述 (非賣品)

殖民政策 完

大正十三年度東大講義

(行年社文)



14-730

殖
民
政
策

矢内原教授述（非賣品）

大正十三年度東大講義



殖民政策目次

第一章 殖民の本質

第二章 殖民の動因

第三章 殖民、社會的觀察

第四章 殖民、經濟的觀察

第五章 殖民地、觀念及分類

第六章 殖民地、成立及終止

第七章 殖民地、成立

第八章 殖民地、終止

第九章 殖民地、利害

第十章 殖民政策、觀念

第十一章 統治政策

第十二章 統治、主体

第十三章 殖民地ニ於ケル統治、制度

一 八 〇 二 三 四 五 六 七 八 九



殖民政策

矢内原教授述

第一章 殖民ノ本質

人類ノ社會ハ種族、民族、國民等種々ノ社會群又ハ社會的集團ヨリ成立チテ、各々ノ集團ハ夫レ夫レ一定ノ地域ニ居住ス、地域的分居ハ地方的集團意識ヲ生ヤシメ各社會群中更ニ各團體ノ地方的社會群ヲ分ツコトヲ得、社會群力此ノ一定ノ地域ニ束縛セラレ又移動ノ自由ヲ有スルハ個人又社會々同様ナリ、社會群又ハ其一部ハ居住ノ地域ヲ變更スルコトハ有史以來引續キ行ハレタルコトニシテ其新ナル居住地域ハ無主ナルコトニアリ或ハ既ニ他ノ社會群先居セルモノアリ、何レニシテモ其新ナル地域ナルモノニソレニ移住スヘキ社會

殖民政策目次 終

第三章	本國殖民地間ノ連絡	八五
第十章	土入政策	九〇
第一節	社會的生活ニ関スル政策	九〇
第二節	社會生活ニ関スル政策	一一〇
第十一章	労働政策	一一二
第十二章	土地ニ関スル政策	一二五
第十三章	經濟政策	一三七
第十四章	殖民政策ノ理想	一五〇

社會群の移動
社會群の移動
社會群の移動

群ニ特殊ノ趣ヲ生ス、此社會群ヲ新ナル地域ニ住シテ社會的、經濟的ニ活動スル現象カ殖民ノ本質ヲ示ス、

而シテ此移住社會群ニハ新ナル自然的及社會的條件ヲ糊索シ或ハ之ト融合シテ新ナル集團意識ノモトニ共生生活ヲ確立ス、換言スレハ其地域カ當該社會群ニ取リテ最早新シキ地域ニ非スシテ自己ノ居住ノ地域タル集團意識生シタルトキ殖民ト云フ現象ハ終止ス、殖民ハ當然終極シ終ル、

新ナル地域ニ對スル移居ハ常ニ殖民ノ一要素ナリ、然スヘテノ移動ハ本質上殖民ト同一ナラス、移居シ、永住シ、其地域ニアリテ新ナル集團生活ヲ造ミテ初メテ殖民ト云フ、故ニ一時の移居ハ殖民ナラス、個人の移居又殖民ナラス、殖民ハ社會的、經濟的ノ活動ニシテ^{政治的}軍事的活動ハ征服ナリ、征服ハ屢々殖民ノ前提ナレトモ觀念上ハ視同テ許カス、

社會群ノ移住ハ全部的ナルト一部のナルトアリ、通常前者ヲ *migration* ト稱シテ後者ト區別ス、蓋シ母体タル社會群ト移住

スル社會群トノ向ノ社會的又ハ政治的關係ヲ有シテ殖民ノ本質タル一觀念トスルナラハ社會群ノ全部的移住ハ殖民ト云フヲ得ス、然シ新ナル地域ニ於ケル社會的經濟的活動ハ社會群ノ一部の移住ニヨル又全部的移住ニヨル又変ラサルナリ、

殖民トハ文明程度ノ高イ社會群カ低キモノ人上ニ勢力ヲ及ボス所ノ努力ニシテ文明ノ低キ國民カ文明ノ高キ國民ニテ移住ハ殖民ナラスト稱スルモノアリ、此考ハ極メテ我儘ナルモノニシテニソノ社會群ノ向ニ文明程度ノ差異ヲ鑑別スルニト困難ナル場合アルノミナラス、新ナル地域ニ於ケル活動タル莫ニ於テ文明ノ高低ヲ區別スル要ナシ、

論者ノ考ハ *Strang* 曰ク「奴隸賣買ノ如キ強制的移住ニヨルモノカ殖民ト云フコトヲ得ス、然ラハ所謂 *Penal Colony* (犯罪殖民地)ノ存在ヲ否定スルカ、若シ犯罪人、貧民、異端者等ヲ強制的ニ移住セシムルコト殖民ナラハ奴隸賣買ニヨル移住又殖民ナル改ナリ、

殖民ハ人類ノ生活ニ自然ナル社會現象ナリ。社會群ノ本能的必要ニ起ル集團的生活現象ナル故ニ本質上ハ社會群ノ意識的希望ニ基ク計畫的行動ナラス、殖民ノ本質ヲ以テ或ハ財ノ生産及荷重ノ擴張ニ對スル土地ノ利用ヲ目的トシテ國民ノ一部分ヲ新シキ土地ニ移殖スルニ在リトス、
或ハ本國ト文明的ノ目的ヲ同シクスル社會ヲ建設スルニアリトナスハ殖民ヲ政治的政策的ニ探究スルモノニシテ殖民ノ本質ヲ悉クスニイラス、殖民アリテ殖民政策アルナリ、政策アリテ初メテ殖民ナル現象ヲ生ケス、
學者ノ通説ハ殖民ヲ國家的又ハ法律的ニ解釋シテ「殖民トハ國民ノ一部分カ其本國ノ外部ニ移住シ本國ノ統治權ニ從屬スルモノトナシ甚タシキニ至リテハ本國村新発見地同ニ政治的ニ從屬關係カ存在スルヲ以テ是レリトシ本國ノ部分の移住ニ殖民ノ要件トナサス、此説ハ殖民地ナル政治的觀念ヲ通シテ殖民ナル觀念ヲ定ムルモノニシテ本末顛倒ス、

殖民ハ活動カ地域ニ關係スルモノナルカ其本質ハ社會的活動ノ現象ナリ、地域ノ政治的所屬ハ形式的ノコトニシテ此説ハ又殖民ノ研究ヲ以テ政治學ノ任務ニ限定シ殖民の活動ハ人類カ國民的生活ヲ營ミタル後始メテ發生シタル現象ナリトナス、然レトモ殖民カ社會現象ナル以上其本質ノ研究ハ社會學的ニ亦メサルヘカラス、國家生活ハ社會發展ノ中途ニ於テ發生シタルモノニシテ殖民又亦國家以前ヨリ發達ス、社會ニハ國民以外ノ社會群カ存在シテ其地域の移動ニ伴フ社會的活動又其本質ニ於テハ國民的殖民ト異ルモノナラズ、
論者曰ク「内地殖民ハ國民ノ本國內ニ於ケル移住ナル故殖民ナラス、蓋シ殖民ヲ以テ軍ニ國民的活動トナサハ國民ノ一部分カ本國以外ノ他ノ地域ニ移住スルコトヲ以テシテ殖民ト云フコトヲ得ン、然シ乍ラ一ツノ國民ノ中ニ更ニ地方的社會群ノ分立ヲ認ムルコトヲ得テ而シテ其移住カ本國內ノ他ノ地域即チ其社會群ニトリテハ新シキ地域ニ對シテ行ハレルトキ其本質ニ於テハ海外殖民ト異ラズ、或ハ殖民ノ要素ヲ以テ新タル別個ノ政治社會ノ建設ニアル或内地殖

民ハ之ニ屬セスト云ヘルマノアリ。(Dewide) 既ニ殖民ノ本
質ヲ政治的ニ論スルカ不適當ナルナラハ内地殖民ニヨリテ為カ
集團生活カ別何ノ政治組織ヲ具ヘスト云本殖民ノ觀念ニ適合セル
ノト論スヘキナリ。

通説ハ又移民ト殖民ト、區別ヲ以テ本國ト移住地トノ間ニ於ケル
政治的從屬關係ノ有無ニ依ス、即チ曰フ「移民トハ自國ノ主權ノ行
ハレナル他國ニ移住スルモノヲ云フ」
以外ニ於テ自國ノ主權ノ行ハルル土地ニ發展スルモノヲ云フト云フ
(山本教授)、然シ余ハ日本人ノ朝鮮ニ於ケル移住の活動ト布哇ニ
於ケル移住の活動トニ於テ何等實質上ノ區別ヲ認ムルコトヲ得ス。
Frangy 曰ク「外國ノ移民ハ殖民ニアラス其外國ノ内地殖民ノ
一種ナリ、其殖民の活動ハ自國ノ利益トナラス、其外國ノ利益トナ
ル故ナリ」、之ハ其功利的出發點ニ於テ誤レルノミナラス、移民カ
他國ノ國內前來ノ一ツノ要素トナルコトアルモノ本質上ヨリ云ハ其
屬スル社會群ノ殖民の活動ニ外ナラス、之ヲ移住國ノ内地殖民ナリ

ナリト云フハ觀念ト混雜ヲ免レズ

移民又ハ殖民ヲ以テ法律的又ハ政治的ニ解散スルナラハシオン主
義ニヨリ猶太人ノ *Palestina* ニ於ケル移住活動ノ現象ハ何ト称
スヘキカ、

Russia 系ノ *Jews* (猶太人) ニ于テハ之ヲ *Russia* 国民ノ移
民ナリト称シ彼乙系ノ *Jews* ニ則シテハ之ヲ彼乙國民ノ移民ナリト
称スヘキカ、或ハ *Frangy* ニ依ヒテ委任統治國タル英國ノ内地殖
民ナリト云フヘキカ、何レノ考々實際ニ適合セス、之レハ猶太民族
ト云フ社會群ノ殖民ナルコトハ明ナリ、之ヲ以テ更テ又殖民ノ本質
カ國家的又ハ政治的觀念ヲラスシテハシロ社會的觀念ナルコトヲ知
シニ足ラン

斯クノ如ク余ハ殖民ノ本質ヲ以テ通説ニヨル國民的殖民ノ外ニ民
族移動、移民、内地殖民及國民以外ノ社會群ノ同種ノ活動ニ對シテ
又共通ナルモノト解セリ、之ハ現象ヲ實質的ニ思フ故ナリ、然シ之
ニ形式的ノ區別ヲ設ケ國民ノ一部カ本國ト政治的從屬關係ヲ有スル

x

地域ニ移住活動スル現象ヲシテ殖民ト稱スルハ政治學研究ノ範圍ニ
於テハ正當ナル制限ナルコトヲ認ムルナリ。

第二章 殖民ノ動因

殖民ノ動因ハ社會群ノ生活力ニ在リ、社會群ハ常ニ靜止ノ狀態ニ
在ラス、自然及他ノ社會群ノ抵抗ト戦ヒ又ハ之ト融合シツ、其存在
ト生長トノタメニ活動スルナリ、其活動力ハ移動性ト集中性トニ現
ハル、社會群ノ一部ヲ新ナル地域ニ移動シ茲ニ集中シテ新ナル集團
的生活ヲ營ムハ社會群生存ノ必要ニ出ツルモノニシテ、ヨリヨリ水
陸ニ達スル人類生活ヲ行フノ必要の本條ナリ。

而シテ殖民ナル現象ノ生スルカタメニハ移住社會群ニ此能動的動
因アルノミナラス、移住スヘキ地域ニ於テ之ヲ受ケ容ルヘキ受動的
原因アルコトヲ要ス、社会的自然的條件強クシテ他ノ社會群ノ移住
ニ抵抗スルコト大ナル地域ニ對シテハ殖民ト云フ活動ハ行ハルルコ
トナシ。

殖民ノ能動的動因ハ之ヲ積極的ト消極的トニ分ツ、此各々ヲ更ニ
細分シテ社会的ニ分ツコトヲ得、消極的動因トハ或地域ニ於ケル社
會群力其経済的又ハ社会的ニ正直不安ヲ感シテ其不利ナル影響ヨリ
離脱セントスル必要ナリ、其經濟的原因ハ要スルニ其地域ニ於ケル
生活維持ノ機會ノ減少ナリ、凡テ社會群ノ經濟的生存ニハ地域力要
件ナリ、而一定ノ地域力其上ニ社會群ノ生存ヲ支ヘルコトヲ得ル經
濟力ハ無限ナラス、*Malthus*ノ「人口論」ハ土地ノ生産力ヲ靜
的ニ觀察シタル莫ニ於テ不正確ナルモノ人口ノ自然増加ハ動カスコト
ヲ得サル事實ナリ、土地ハ勞カト資本トノ限下ニヨリテ收穫區域ノ
玄則ヲ制止スルノミナラス却テ積極的ニ其生産力ヲ増加ス、而工業
ノ発達ハ之ニヨリテ生活ヲ支持セラルヘキ人口數ヲ増加ス、故ニ一
定地域ニ對スル人口密度ノ増加ハソレ自体ニ於テ經濟狀態ノ不良化
ヲ意味シ然レ殖民ノ動因タラス、生産力ノ増加ハ人口増加ニ四顧シ
或ハソレ以上ノ割合ナルトキハ移住行ハルニ、前者ヲ後者ニ及ハサ

U.S.A.ニ移住シタル主たる原因ハ本国ニ於ケル迫害ニ級ヤサルハ
カラス、殊ニ *Brazil* ハ純然タル農業地ニシテ東印度ニ於ケル如
キ貴金屬類ノ *attraction* ナカリシ故 *gold* 又ハ犯罪者等ヲ該ニ
移住セシメタルナリ、後、彼等ハ又同様ノ理由ニヨリテ *Brazil*
ヲ追ハレ西印度諸島ヲ始メトシテ北米東海岸ノ諸地方ニ入り止メリ
近世ニ於テ宗教上ノ迫害ハ昔程盛カラリシニ *gold* カ獨社会的ニ
差別的圧迫ヲ受ケタリト云フハ人種上特異ノ存在ヲナセルカ故ナリ
之カ十九世紀後半ニ於ケル東欧ノ *gypsies* ヲ U.S.A. 其他ノ地方へ多
數ニ移住シ来リタル主ナル動因ナリ、
更ニ政治的理由ニヨリ種民ノ積極的動因ハ其例ヲ昔ノ *Greece*
ニ見ル、*Greece* ハ所云都巾國家ニシテ多數ノ市民ヲ収容スルニ逆
ヤス、故ニ人口増加シテ政治的ニ緊張スレハ之ヲ緩和スルタメニ
之ヲ国外追放スル極民ヲ必要トシタルモノナリ、多島海諸島、小ア
ジヤ沿岸、及ヒ *Utania* ニ於ケル *Greece* ノ殖民地ハ斯クシテ成
立シタルモノナリ

斯クノ如ク一ツノ社会群ニ於テ經濟的宗教的人種的政治的善ノ社
會生活上不利ナル條件存スルトキニハ之レカ種民ノ積極的動因トナ
リ、
其ノ積極的動因ハ之ニ反シテ社会群ノ經濟的又ハ社会的力盛レテ
他ノ地域ニ及ハントスルモノナリ、積極的動因トシテ觀察セル事項
々多クハ積極的建設ノ方面ヲ有ス、然シ乍ラ特ニ消極的動因ノ認
ムヘキモノナキニ拘ラス、尙木進ニテ種民活動ヲ促カス所ノ積極的動
因アリ、

人類社会生活ノ初期ニ於ケル種民ノ經濟的動因ハ根本積極的ノ又
ノナリシカ經濟ノ進歩スルニ伴ヒ交換ノ範圍ヲ拡張シ他ノ地域ニ於
テ財ヲ求メ或ハ市場ヲ求メントスルニ至ルリ、
Portugal 又ヒ *Spain* ノ種民カ金銀ノ獲得ヲ最大ノ目的トセ
ルハ人ノ知ル所ナリ、コノ二國ハ過剩ノ人口アリシニアラス、只
mercantilistic 思想ニ動カサレテ貴金屬ヲ得テ國家ノ繁栄
ヲ謀メントセリ、

Holland / 殖民力商業ヲ目的トシ主トシテ Spice (香料) 等ヲ輸
 入セルハ歐ノ經濟力カ奢侈品、嗜好品ニ對スル需要ヲ達シタル故ナ
 リ、
 其他十六——十八世紀ノ各國ノ殖民ハ本國經濟ノ必要ニ應ジテ新
 キ地帯ノ財又ハ工業ノ原料品ヲ取ルルニ出テタリ、而シテ産業革
 命ノ結果十九世紀ニ至リテ工業故ニ發達スルマ此ノ原料獲得ノ動因
 ハ一層ノ重要ヲ得テ至レリ、綿、油ニ干スル競争ハ著シキ例ナリ
 之レ工業資本ノ原料品産地ニ對スル活動ナリ、然ルニ資本的生產ノ
 結果生産品ノ市場ヲ廣ク世界ニ水ムル必要ヲ著シクシテ更ニ工業ノ
 經營力金融業者ノ手ニ販シ企業者占ノ傾向著シクナルニ從テ金融
 資本ハ資本ノタメノ市場ヲ廣ク世界ニ要求スルコトニナレリ、而シ
 テ金融資本ノ市場ハ工業品ノ市場ト異リテ購買力ノ存在ヲ予想スル
 ヲ要セス、故ニ生産地ヲ高租賦ヤントスル傾向ヲ有ス、金融資
 本ハ *Sahara* 沙漠ニスラ鐵道ヲ敷設スルカヲ有ス、單ナル貿易又ハ
 投資ハ乘ヨリ殖民ナラス、然シテ之ヲ積極的動因トシテ殖民活動

ノ行ハレルニ至ルコトハ稀ナラス、
 社會群ノ宗教的文化的ノ方面ニ於テ又殖民ノ積極的動因ヲ認ムル
 才ヲ得、社會群ノ集團的意識ノ中ニハ他ノ社會群ニ對抗シテ自己ノ
 優越ヲ主張スルモノアリ、之ニハ經濟的方面ノ外ニ精神的方向クア
 リ、コノ經濟的優越ヲ他ノ地域ニ對シテ主張スル如ク精神の優越ヲ
 他ノ社會群ニ及ボサントスル性靈アリ、*Jalapa* カ西ノ地中東ノ
 沿岸、*Africa* ノ内地、東ハ印度ニ對シテ殖民シタル一ツノ動因
 ハ *Alack* ニ對スル信仰ナリ、十五六世紀ノ西、葡ノ海外發展ハ
 土人ノ教化ヲ目的トシタル旧教徒主トシテ *Jesuits* ノ傳道心ヲ
 一ツノ主ナル原因トナシ十九世紀後半ニ至リテハ *Methodists* ナ
 トノ所云 *Reformation* 運動ニ刺激セシレテ新教徒ノ *Africa*、
China ニ對スル宗教的又ハ人道的ノ活動盛ニナレリ、之等ハ何レ
 又自國民ノ信仰的又ハ文化的優越意識ニ基キテ他ノ國民ヲ益々指導
 セントスル精神ノ現ハレナリ、
 文化的ノ活動ハ概ネ經濟的ノ活動ト伴ヒ且ツ經濟的又ハ政治的野

バノタメニ利用セラルルコトアルニ之ヲ以テ精神の活動ハ帝ニ累カ
ノ実行ニ対スル虚偽ノ口実ナリト云フコトヲ得ヌ、宗教的生活力ノ
盛カソレ自体ニ於テ殖民ノ動因ナルコトヲ看過スハカラス、而シテ
近世ニ於テ宗教文化ノ社会の衰衰ハ昔ノ如ク盛ナラサルニ文化の衰
化ノ理想ハ種族の優越感ト結付キテ以前ヨリニ盛クナレリ、*Solt*
ハ殖民ハ教化ナリ (*Kolonisierendist missionieren*) ト云様
スルハ殖民政策ノ理想ヲ云ヒタルモノナルカ殖民ノ積極的動因ノ一
方面ヲ表ハスニ足ル、

社会群ハ更ニ其政治の権力ノ優越ヲ他ノ地域ニ及ホサントスル社
会心理上ノ衝動ヲ有ス、古来大帝國ヲ建設シ維持シタル國民ハ必ス
シテ帝ニ経済的ノ利害ヲ攻究シテノコトニアラス、海外發展ノタメ
ニハ經濟的條件ヲ必要トスルカ發展ソノスノハ又政治的膨脹ノ本體
ニ基クコトナシ、*Prince Henry the Navigator*ノ活動ノ
目的ノ一ツカ *Greater Portugal*ノ建設ニアリタルヲ初メトシ
テ其時代以後ノ各國ノ殖民活動ハ國家の競争心、名譽心ニ基ケルコ

トヲ否ハコトヲ得ヌ、

Adam Smith ハ殖民地ノ領有ハ少数統治者ヲ利益スルノミ
ニシテ國民全体ヲ利益セヌ、全國民ノ收入ニ対スル負担ナル故寧ロ
ノ民地ノ在賣の分離ヲ主張シタルカ彼自身之ヲ以テ殆ント實現ノ見
込ナキ空想ニ近キモノトナシ此ノ理由トシテ特權階級ノ利益維持ノ
他ニ國民ノ自覺ハヲ奉ケタリ、

十九世紀ノ仏ノ殖民的活動ハ *Napoleon III*ノ領土の野心及ヒ
普仏戦争ノ後ニ於テ仏ハ歐ニ於テ失ヒタル威權ヲ他ノ大陸ニ於テ恢
復セントシタル國家の名譽心ニ基クスノナリ、故乙ニ於テ又初メハ
海外殖民ニ不熱心ナリシカ一度他乙帝國ノ体面ト名譽ヲ維持スル必
要生スルニ與論ハ政府ノ積極的殖民政策ヲ要求シテ而 *Joseph*
Chamberlain ヲ以テ代表セラルル帝國主義者ノ主張カ十九世
紀末英國ニ於テ勢力ヲ占メタルハ人ノ知ル所ナリ、

以上各種ノ積極的動因ハ之ヲ總括スレハ社会群ノ生活力ノ積極的
本能ナリ、經濟的文化的又ハ政治的ニ他ノ地域又ハ他ノ社会群ヲ支

配セントスルモノニシテ之ヲ広ク Imperialism ト称スレコトヲ
得ルナラハ殖民ノ積極的動因ヲ此ノ一語ニ尽スコトヲ得、故ニ最
活カノ盛ナル社会群カ最ニ盛ニニ殖民活動ニ從事スルモノナリ、
斯ノ如ク殖民ノ積極的動因ハ不利ノ回避ニアリ、積極的動因ハ利
益ノ追及ニアリ、前者ハ力ノ圧迫ヲ避ケントシ後者ハ力ノ圧迫ヲ加
ヘントスルナリ、

殖民ハ力ニ基ク一ノ社会現象ナリ、 Adam Smith & Grece.
Romeノ殖民ニ比較シテ米、西印度ニ於ケル改各國ノ殖民ハ車ニ
金銀ノ追及ヲ目的トスルモノニシテ何等ノ必要ニ基ケルモノニアラ
スト云ヘルカカスシキ与ラス、

然ルニ殖民ハ相對的觀念ナル故殖民ヲスル社会群ニ上述ノ動因存
スルト共ニ殖民ヲ受クル地域ニ之ニ應スヘキ受動的動因アルヲ要ス
其地域ノ新社会群ニ対スル自然的又ハ社会的ノ抵抗度キトキニハ
殖民ハ成立シ得ス、人類ハ自然ノ環境ニ順應スル技能アリ、且ツ科
学ノ進歩ハ益々自然ヲ征服スルカ高且自然的条件ハ之ニ馴レサル社

会群ノ生活ニ或ハ生存ニ大ナル制限アリ、若シ其地域ノ法律カ經濟
上人種上ナトノ理由ニヨリテ特殊社会群ノ侵入ヲ拒止シ其抵抗ヲ買
徹スル実カヲ有スルトキハ又殖民ニ対スル強キ制限ナリ、之等ノ抵
抗ハ存在セザル場合ニ於テ殖民ノ受動的動因トナルモノハ或ハ人口、
財、資本ニ対スル需要アリ、或ハ經濟的社会的支配ヲ受クヘキ弱矣
アリ、要スルニ他ノ社会群ノ自由活動ヲ容ルルニ足ル余地アルヲ必
要トス、

以上ノ動因ハ孤立的ニ働カス、朕明シテ働クコト多シ、而シテ主
トシテ能動的動因カ働クカ或ハ受動的動因カ働クカト云フコトハ何
ゾノ場合ニ於テ一概ナラス、最後ニ一言スルハ移民カ獎勵的ニ行ハ
ルル場合ナリ、コノ場合ハ其ノ直接ノ圧力カ外部カラノ機械的獎勵
ニシテ自発的ノ殖民ト區別セラルヘキモノナレト云上述ノ能動的又
ハ受動的ノ動因ヲ全然欠クモノナラス、又能動的動因ノ直接ナル又
ハ獎勵者ノ側ニ存セラルモノナリ、其多クニ就テハ移民者ノ側ニ
亦能動的動因ノ存在ヲ認ムヘク而シテ受動的ノ動因ニ至リテハ凡テ

ノ場合ニ對シテ存在セルモノナリ。

第三章 植民ノ社會的觀察

人類ハ其起源ニ於テ一種族ヨリ出テタルカ或ハ多クノ種族ヨリ成
レルモノカノ論争ハ別トシテ有史以來各地域ニ生理的及心理的特徴
ヲ異ニセル種族カ並生存セルコトハ一ツノ事實ナリ、種族ハ一ツノ
有カイル社會群ニシテ色又ハ切ノ相違カ輕微、層層ノ感情ヲ挑發シ
社會群間ノ闘争ヲ激烈ニシテ人類ノ支那の一致ヲ妨クルコト又亦甚
矣ナリ、故ニ一種族ノ占有セル土地ニ他ノ種族ニ屬スル集團カ侵入
スルト云フコトハ多ク軋轢、争鬭ノ原因トナルモノニシテ西社會群
間ノ人種的相違ノ程度甚シキニ從ヒテ其關係ノ因習ヲ欠キ易ク激者
カ弱者ニ對シテ社會的ニ凌辱ヲ与ヘ、私利其他欲求ナル取扱ヲナシ
或ハ土人ヲ其地獄外ニ追放シ甚シキニ至リテハ或ハ利権ヲ掠奪スル
タメニ或ハ抵抗ノ危險ヲ想像スルコトニヨリテ虐殺ヲ敢ヘテス。

積極的の圧迫ヲ加ヘサルトキ又異リタル生活上ノ因習群ニアルコト
ノ效用、結核、花柳病等ノ新シキ種類ノ病氣ノ移入、伝播、土人ノ
經濟的生活ノ基礎ヲ覆カヌコトナトキヨリテ在米種族ノ人口減少
或ハ與地ニ退キ或ハ他ノ地域ニ移住スルモノナリ
然レトモ異種族トノ接触ハ必スシテ常ニ種族絶滅ノ傾向ヲ示ス
ノナラス、他ノ種族ノ生活ニ適應シ又經濟上必要ナル社會的地位ヲ
占ムルカノアル種族ハ必スシテ人口減少ノ勢ヲ示サス、*American
Indians*、*Australia* 土人、*Amios* ノ減少ハ一ツニハ之等
カ既ニ種族絶滅の老齡ノ域ニ達シ自然ニ絶滅ニ近ツキツ、*アフリカ* 島ニ
シテ *negro*、*afriaca* ニ於テモ *America* ニ於テモ常ニ人
口増加ノ状態ニアリ、
侵入種族ニ付テ之ヲ究レハ新シキ土地トノ接触ハ其生活力ヲ迅速
ラメ活動力ヲ盛ンナラシムルモノ如シ、種族又ハ國民ノ生命ニ無
限ナラス、高等ノ文明ヲ有スル種族又其地ニ長ク生存セル中ニハ漸
微ノ時期末ルモノナリ、故ニ其一部カ抵抗多ク活動ノ自由ノ益ナ新

ニキ地域ニ殖民セルコトハ其種族ノ母幹ハ衰ヘテモ其力榮ヘテ全体種族ノ生命ヲ傳ヘ行クモノナリ。殖民ハ種族ノ社会的再生 (Social Reproduction) ナリ。

殖民ニヨリ異種族間ノ接触ハ衰微ノ道ニアル歟トモ從シ活カアル種族ノ繁榮ヲ助フル傾向アルコトハ上述ノ如クナル力接触ハ單ナル対立ニ止ラス孰レ混血ノ現象ヲ見ル。世ニ完全ニ純粹ナル種族ノ存スルコトナシ。混血ハスヘテノ種族間ニ可能ニシテ人類ノ各種族ハ動物学的ニ見レハ一種ナリ (Taylor)。而シテ此混血ハ種族ノ地域ヲ移動シテ他ノ種族ト現在スルコトニヨリテ初メテ可能ナリ。故ニコノ意味ニテハ殖民ハ Crossing ナリ。人類ノ種族ハ因定的ナラス。時代ト共ニ常ニ変化シテ自ら新種ヲ創設ス。而シテ近世終見時ハ以後發生シタル頭着ナル雜種ノ例ハ米大陸ニ於テ西人ト Indians ノ間ニ生シタル mulattos. negro + Indians. Gambos ナリ。

混血ノ結果ニ対シテハ相反セルニ説アリ。

1) 一ハ人種ノ活カヲ以テ其他種族ニアリトシ混血ヲ以テ生理的及心理的不利ナル結果ヲ生ストナシ此説ノ學者ハ (Gobineau etc. ; Essai sur l'inegalite des races humaines, 1854, 4 vols) 種族ニ先天的優劣ノ差ヲ認メ、

2) 之ニ及スル學者ハ種族ニ先天的優劣ノ差ヲ認メス、然レテ混血ハ何等不利ナル合理的基礎ナキノミナラズ種族ノ活カ保存ノ上ニ却テ有用ナリトナス。

混血ニ已ニ現存ノ各種族カ不ク混血ノ產物ナリトスルナラハ、混血カ必然ニ種族存続ニ不利ナリト云フ結論ヲ導クコトヲ得ス、然レモ一方ニ於テハ種族ニ先天的絕對的優劣ナシトスル又之ニ相對的優劣アリテ而シテ其長所ハ血液ト共ニ遺伝セラルルヲ認メサルハカラズ混血ノ頻繁ナルニ從テ其中ニ蓄ヘラル、但性カ多量豐富トナリ之ニヨリテ種族ノ活カ維持シ且ツ進ム。 Ward ノ云ハル所ニヨレハ

社会的形成、連綿力高キナル血液ノ反覆、混合ヲ伴フハキ社会的
 能率及ヒ成功ノ最大限力達セラル、(Pure Sociology) 混血
 ナクハ進化ナク終止マシ、
 混血ノ効果ハニツノ種族カ略々同一ノ社会的地位ヲ占ムルカ或ハ
 近似ノ人種的特徴ヲ有スルカノ場合ニ於テ最モ有利ナリ、人種的社
 会的隔離甚シキ種族間ノ混血ハ特ニ種族ノ性格ノ上ニ面白カラサル
 結果ヲ生シタル例多シ、*metis, malatto* ナトノ *half-caste*
 ノ類推的水態ニ就テ屢々人ノ論スル所ナリ、或ルニ之ニ対シテハ
Caste-System ナル社会制度ノ結果ニシテ混血ノ結果ナラズ
 東洋ニ於ケル白人ト支那トノ混血見ノ道德的觀念ノ低キコトモ本
 校等カ多ク私生児タルニヨルモノニシテ寧ロ混血ノ行ハレタル社会
 的境遇ノ貴ナリト公言スルモノアリ、
 上述種族ノ接触、対立及ヒ混血ニ対スル觀察ハ之ヲ其終文化的方
 面ニテ運用スルコトヲ得、風俗、習慣、言語、信仰、社会制度等ヲ
 異ニスルニツノ社会群カ接触スルトキ若シ双方ノ文化カ略々同等又

ハ同等ノ程度ニ在ルトキハ其影響ハ相互的ニ有利ナリ、忌シ甚シク
 懸隔アルトキニハ兩者ハ互若ニ在直セラレ或ハ自ラ之ヲ模倣シテ自
 己旧来ノ文化ノ形式ヲ失フ、

而シテ文化ノ中核カ *Idea* ニ存在スルトスレハ仮令本食住ノ体
 操、法則、言語又ハ宗教ノ形式ヲ模倣採用シテ之ヲ以テ直ニ其ノ
 社会群ノ文化ノ中心タル魂カ消滅シタリト云フヲ得ズ、假シテ生
 理的活力ノ下坂ニアル種族カ他ノ社会群トノ接触ニヨリテ衰亡ニ近
 付ク如ク精神的活力ノ衰退期ニアル種族ノ文化又衰亡ニ近ツクモノ
 ナリ、

反之活力ノアル文化ハ他ノ文化トノ接触ニヨリテ却ツテ其ノ
Vitality ヲ増ス、停滞ハ死亡ヲ意味ス、而シテ活力アル文化ノ
 適当ナル融合ハ進化ノ過程ニ於テ又文化ニ新生命ヲ与フルタメニ必要
 ナル要素ナリ、境遇ノ変化ハ文化ニ対シ絶對的ノ影響ヲ与ヘ得スト
 シテ又其境遇ノ限ク限リニ於テハ同様ノ影響能ク之ノ相反ツノ社会
 群カ他ノ地域ニ移リ又ハ他ノ社会群ノ接触シテ及クル文化的影響ハ

其境遇ノ概ク限リニ於テ他種ス、故ニ自然化學的二見レハ相對的ニ
シテ又社會學的ニ見レハ絕對的ニ近キ變化ナリト云ハサルヘカラス
又種ノ真ノ融合ハ混血ニヨリテノミ成立シ得ルモノナリ、
種民ハ斯ノ如ク既成文化ノ進歩ニ作用スルノミナラス、文明其ノ
又ノノ成立ニ重大ナル干渉ヲ有ス、蓋シ文明ハ社會ノ複雜化ヲ意味
ス、人類ノ原始状態ニ於テハ社會生活ノ單位又小ニシテ各人ハ盡ク
經濟生活ニ追ハレタル故其發明ニ極メテ幼稚ナリキ、然ルニ移住混
居ニヨリテ社會組織複雜トナルニ及ビ支配階級ト被支配階級ノ區別
ヲ生シ後者ハ農業等ノ勞働ニ従事シ前者ハ文化活動ニ對スル餘裕ヲ
有スルニ至ル、*Gumplovitz*ノ言葉ニ「征服セラレテ奴隷的勞
働ニ従事セシメラルル劣等種族ノ所カ文明ノ最初ノ萌芽ヲ産シ之ニ
實ヲ結ハシムレ而シテ彼ハ一國ニ於テ其貴族農民商工業者ハ各々異
レル種族ヨリ起レルコトヲ説ケリ、
種在征服ニヨル階級ノ成立ハ文明ノ始メナルノミナラス又回來生
活ノ起原ナリ、國家ノ形式的要件タル兵力ヲ集ハ一ツノ社會群カ地

ニキ

ノ社會群ヲ征服スルコトニ基ク、而最初ニ於テハ只兵力支配ノ關係
存スルノミナルカ同一地域ノ上ニ於ケル共存ハ内政上ノ便宜及外部
防禦ノ必要上支配被支配ノ兩階級ヲ直接セシメテ新ニ一ツノ國民ト
シテノ集團意識ノ下ニ統一セラルルニ至ル、國家成立ノ後ニ行ハル
ル種民ハ他ノ民族又ハ種族ヲ新ニキ分子トシテ其集團内ニ取入ルル
又ノニシテソレニヨリテ國家生活ノ體操ハ若シキ影響ヲ受ク、蓋シ
其體操トハ各時代ニ於ケル構成社會相互間ノ勢力干渉ノ發現ナル故
ナリ、社會群ノ對立ハ國家ノ成立要件タルノミナラス又發展ノ要件
ナリ、
社會群ノ種民地ニ於ケル活動ハ其故郷ニ於ケル活動ニ比シテ勢力
的ナリ、自由ナリ、且ツ實驗的ナリ、ソハ新シキ土地ニ移植スル刺
激ト在統的慣習ノ束縛ヲ被ラサルコトニ基ク、故ニ種民地ニ於ケル
社會的發展ノ速度ハ急激ナリ、自己ノ欲スル集團生活ヲ自由ニ営ム
コトヲ得、又各種ノ社會制度ヲ思ヒ切ツテ實施スルコトヲ得、之レ
種民地カ社會制度ノ實驗場ナル故ナリ、

ニキ

第四章 殖民の経済的觀察

資本主義ニ於テハ社会群ノ経済ハ其産物ニシテ適当ニ労働又ハ財
 産ト称スヘキ社会的觀念ヲ欠ケリ。然ルニ一ツノ社会群カ他ノ社会
 群ノ土地ヲ占領スルニ少クトス戦士及婦人ハ之ヲ奴隷トシテ生産的
 労働ヲ強制セリ、奴隷制度ハ人類ノ本能的活動ヲ度シテ社会的労働
 トナリ、而シテ奴隷及掠奪財貨トハ恐ラク最初ノ私有財產ナリシコ
 シ、一ツノ社会的集團ノ中ニテ支配階級ト被支配階級ノ生シタルコ
 トハ経済的ニ見レハ分業ノ初メニシテ社会群ノ対立ハ敵和セラルレ
 ニ及ビテ分業ハ強制ヲ離レテ行ハレ而シテ新ナル社会的要素カ其ノ集團
 生活ニ加ハルコトニヨリテ分業ハ益々広キ範圍ニ行ハレタリ。
 殖民ハ人類ノ初期ニ於テ已ニ勞力及ヒ財產ノ掠奪並ヒニ分業
 ノ輸入ニヨリテ経済發展ノ基礎ヲ築キタルモノナルカ固シ意味ニ於
 テ特別ニ近世資本主義的經濟ノ成立ニ貢獻シタルコト大ナリ。

資本主義トハ生産手段ノ所有者ト農産ノ負銀労働者トカ労働市場
 ニヨリテ結合セラルレ營利ノ觀念ニ基キテ経済的合理主義ニヨリテ營
 マルレ経済組織ニシテ其心理的要素ハ勢力ノ造及ナリ、而シテ之等
 ノ要件カ如何ニ最モ發達ニ殖民活動ニ伴フテ實現セラルカハ殖民又ハ
 斥又ナリ。

十五六世紀頃ノ殖民活動ハ歐洲諸國ノ資本主義發展ノ前提トナリ
 タルノミナラス此当時殖民地ニ於テ行ハレタル鉱山ノ採掘、穀植農
 業コソ最初ノ資本主義的大企業ナリキ。

殖民地ニ於ケル企業ニ必要ナル労働ハ其多クヲ土人又ハ奴隷ノ勞
 カニ得タリ、即チ *Hollanden*、*Java*、*Spain*、
Portugal、*南米*、*西印度*ニ於ケルハ之ナリ、殊ニ *Africa*、
*Negro*ヲ輸送セルコトハ最モ絶對ナル形ニ於ケル奴隷労働ノ輸
 入ナリ、尚ホ当時改本國ヨリ供給セラレタル労働者又自由渡航者ハ
 少クシテ多クハ被食者ノ児童、犯罪人（政治犯）、捕虜或ハ所云奴
 隷的移民ニシテ何レモ或程度ノ強制労働ノ義務ヲ負ヘリ、奴隷解放後

ハ物或上ノミニテハ何人ノ自由ヲ尊重セルカ未タ其産的社會生活ヲ
 脱スルコト速カラカレ土人ニ契約ノ自由其他ノ何人主義的ノ限制ヲ
 適用スルハ一ノ虚偽ナリト云ハサルヘカラス、所云債銀奴隷ハ殖民
 地ニ於テ最モ奴隷的ナリ、
 殖民地ニ於ケル企業ハ營利ノ目的ヲ以テ遂行セラルルコト又其
 才要セズ、殖民ノ動機ソレ自体多クハ營利トナル、土人ノ勞カトエ
 地ノ生産カトヲ掠奪セントスルニアルナリ、其生産ハ國ヨリ殖民地
 居住者ノ要求満足ノ目的ニ出ルルモノナラス、又本國ノ需要アルダ
 ケ之ヲ満足セントスル趣旨ナラス、專ラ市場ヲ目的トシテ其生産品
 ノ輸入ニヨリテ多額ノ金銭ヲ利得メント欲シタルモノナリ、殊ニ英
 著シキ例ハ西印度諸島ニ於ケル砂糖栽培、*Java* ナリ、*Holland*
 領、南洋諸島ニ於ケル香料採集事業等ナリ、*Java* ニ於テハ改
 市場ニ於ケル價格ヲ釣上クルメニ最モ適當ナル地ヲ探キテ他ノ地
 方ノ立木ヲ尽ク破壊シ生産ノ過多ナルトキハ其ノ剩餘品ヲ燒キ棄ツ
 ルノ手段ヲトレリ、

漸ノ如キ勞力及生産品ノ掠奪カ殖民地ニ於テ最モ骨髄ニ行ハレタ
 レハ土人ノ地味ニ對シテ外未ダタル社會群ノ強カナル一團方侵入
 シ来リテ支配的條ヲ設定シ而カキ其本國ヨリ出レタル改社會的慣習
 ノ看視ヲ受クルコト少キ故極端ニ其權力ヲ主張シ得タルニヨル、
 資本主義的經濟ノ中心ハ資本ナリ、而シテ資本ハ如何ニシテ蓄積
 セラレタルモノナルカ、中世ノ初期資本主義時代ニ於ケル富ノ蓄積ハ
 主トシテ殖民活動ニ伴フ掠奪ニヨレリ、自ラ殖民ニ從事セザル國民
 又海賊行為又ハ貿易千條ニヨリテ富ヲ蓄積セリ、而シテ殖民地ニ於
 ケル富ノ掠奪ハ奴隷ノ掠奪ノ外ニ上述ナル勞力及土地生産力ノ掠
 奪ナリ、法律ノ課税ナリ、土人ニ對スル不當ナル税制の施實ナリ、
 殖民地ニ對スル特殊ノ貿易千條等ナリ、課税ハ金銭ヲ以テスルアリ
 物品ノ納付ヲ余スルアリ、或ハ賦税ヲ余スルアリ、何レニシテ又土
 人ニ對シテ苛酷ナル負担ナリキ、而シテ土人ノ農智又ハ無力ニ采
 ラント無價値ト近キモノヲ高價ナル産物ト交換シ又ハ土人ニ不利
 品ナル物品ヲ發売シテ政洲品ノ販賣ヲ放展セリ、

Adam Smith, 「水國及、西印度ノ殖民地活動ヲ以テ撰著ノ
 土人ニ対スル不正ナリトシ」 Karl Marx ハ「印度ニ於ケル英國
 東印度会社及ヒ其使用人ハ土人掠奪ノ手段ニヨリ鍊金術者ヨリニ巧
 ニ無ヨリ金ヲ生シタリ、大野産ハ菌ノ如ク一日ニシテ生工出テ最初
 ノ馬ノ蓄積ハ 1 Shilling ヲ以テコトナシニ成熟セリ、レト云ハ

殖民地、本國商ノ貿易ニ付テハ Mercantile System ニヨリ
 テ貿易ノ故台ヲナシ殖民地工業ノ制限ニヨリテ改辦品ノ市場ヲ代表
 セリ、其關係ハ中世都市ノ田舎ニ対スル干係ニ似タリ、
 以上ノ外「普通」ノ原則ノナキ干係ニ於テス殖民地活動ハ世界ノ富ノ増
 加ニ大ニ貢獻セリト云フハ蓋シ殖民地ノ土地ハ屬女地ナル故に産力
 ニ富ム故ニ食料品工業原料品ナトノ供給數量ヲ激増シテ經濟發展ノ
 要件タル人口ノ増加及ヒ機械ノ應用ヲ可能ナラシメ且ツ一方ニ於テ
 ハ氣候國土ノ干係ニヨリテ原本旧國ニ存在セザリシ新シキ種類ノ生
 産物ノ輸入ニヨリテ特ニ新ナル奢侈的慾望ヲ刺激セリ、而シテ奢

後カ經濟ノ資本主義的發展ニ大ナル干係アルハ人ノ知レ所ナリ、
 資本主義的經濟ノ發展ニ最モ必要ナル爲ハ貴金屬ナリ、貴金屬ハ
 奢侈的慾望ヲ刺激スルノミナラス、最モ理想的ナル貨幣ノ原料トシ
 テ經濟上特別ノ意義ヲ持ツ、即チ貨幣ハ不特定交換ノ目的トシ生産
 セラレル貨幣ニ対シ市場ヲ擴張シ且ツ銀貨労働ノ關係ヲ維持スル上
 ニ於テ又大量生産ヲ実行スル上ニ於テ巨額ノ流通アルヲ要ス、而シ
 テ世界ノ金融市場ニ対スル金融ノ供給力中世以未主トシテ Mexico,
 Peru, Brazil, California, Australia, South Africa
 諸業ノ殖民地ニヨレルハ顯著ナル由実ナリ、
 斯クノ如ク近世殖民地活動ハ富ノ積蓄、市場ノ拡張、貴金屬ノ増
 加、等ニヨリテ資本主義ノ發展ニ貢獻セルカ尙ホ殖民地事業ハ巨額ノ
 資本ヲ要シ大ナル危険率ヲ伴ヘル故、西、葡ノ如ク富有ノ貴族階級
 ナキ國ニ於テハ株式会社ノ組織ヲ以テ之ニ當レリ、コノ有力ナル企
 業組織ヲ希達セシメタル莫ニ於テ國民ノ資本主義發展ニ及ボタル影
 響ハ極メラ大ナリ、

最后ニ研究スヘキハ移住社会群ノ経済的地位ナリ、土人カ掠夺ノ
結果貧民化スルニ反シテ移住者ノ経済的地位ハムシロ急速ノ繁栄ニ
赴ク、新シキ土地ニ於テハ未ダ有ノ土地豊富ニシテ地價々々ナルカ
極メテ低廉ナリ、移住者ハ容易ニ生産手段ノ所有者トナリ、支那フ
ヘキ地代又ハ租税ハ其負担ハ殆ントナシ、自己ノ労働又ハ改良ノ能
力ヲ全部自己ノ手ニ收メ得ルカ故ニ自ラ勤勉トナリ且ツ屢々地ハ其
收穫ス殊ニ多シ、而シテ其ノ広キ土地ヲ耕作シテ多大ノ收穫ヲ得ル
ニ当リテ最モ要水スルハ勞力ト資本ナリ、生産カ豊ナル爲メ地ノ前
途ハ資本ニ対スル利潤ヲ高率ナラシメ而シテ奴隸制度禁止サレ又ハ
掠夺スヘキ土人ノ絶滅シタルニ對シテ自由労働者ニ對シテ開放ハル
ヘキ賃銀ハ自ラ高率トナル、故ニ土地生産力豊富ニシテ之ニ對スル
労働ノ供給力不十分ナル限リニ於テ投資スレハ或地域ニ對シテ農民
労働ノ余地存在スル限リ之ニ移入スル社会群ノ繁栄ハ固ニ於ケル
ヨリ又迅速ナリ、故ニ資本主義的階級ノ対立又移住社会群ニ付テ見
レハ顯著ナラサルナリ、然ルニ労働者ノ繁栄ハ人口ノ自然増加及ヒ

移住ヲ奨励シ且ツ一方ニ於テハ投資力増加シテ次第ニ資本主義的階
級組織ノ中ニ於ケル階級対立ヲ著クス、

殖民地ハ社会制度ノ實驗室ナル如ク又経済ノ胎生の發展ヲ示ス
ノナリ、即チ主ナル産業ニヨリテ分類スレハ農産時代、牧畜時代、
農業時代、商工業時代、主ナル經濟組織ニヨリテ分類スレハ自給自
足時代、都市的文藝時代及ヒ資本主義的時代カ極メテ短日月ノ間ニ
殖民地ニ於ケル経済的行動ノ中ニ繰返サレタリ、

第五章 殖民地ノ觀念及分類

殖民地トハ殖民的行動ノ行ハルル地域ナリ、故ニ殖民ノ本質ヲ如
何ニ解スルカニヨリ殖民地ノ觀念ハ異ル、若シ殖民ヲ實質的ニ解釈
スレハ苟クモ社会群ノ存在ニ伴フ社会的経済的行動ノアル地域ヲ
ノ社会群ノ殖民地ト云フヲ得、Marsk. H. V. S. A.ノ独立後又尚
歐洲ノ殖民地トナルカ單ニ歐洲人ニ限ラス又東洋人ノ殖民地トナ

レリ、
 Apontia x Neerouclia x 希人ノ移住を助アリシ以上ハ等
 シ其殖民地ナリ、殖民ハ当然ニハ政治的觀念ヲ含マズ、采ッテ殖民
 地ト当然ニハ政治的領有ノ觀念ヲ有マズ、*Dependence* 或
 ト *colony* トノ區別ヲカ説セルハ、極メテ正当ナリ、屬領ニシテ實
 質的ノ殖民地ナラザルアリ、殖民地ニテ形式的ナル屬領ナラザル
 ノマアレハナリ、

然ルニ近末ノ通説ハ殖民地ヲ政治的ニ觀察シ本國ト其地域トノ内
 ノ法律的從屬關係ノ存在ヲ必要トス、曰ク「殖民地トハ國家カ其本
 來ノ國以外ニ於テ新ニ領有シタル土地ニシテ國法上之ヲ本國ノ國土
 ト同一ニ取扱フコトナリ特別ノ形式ニヨリテ統治スル地方ヲ云フレ
 即チ殖民地ハムシロ之ヲ屬領若クハ新領土ト稱スヘシトナスナリ、
 法律的形式的觀念カ其重キヲ占メルヲ見ルヘキナリ、
 コノ解釈ニ於テ新ニ領有セル土地トハ必スシテ其土地ニ對シテ領
 土主權ヲ取得スル意ナラス、或ハ其土地ニ完全ナル主權ヲ取得シ國

内法ニ於テ本國ト同一主權ニ屬スルコトナリ、台灣、朝鮮、樺太
 ノ如キヲ保護ノ殖民地トス、或ハ國際法上ノ主權國家カ領土主權ヲ
 有スルカ其地域ノ主權ノ行使ノ主要部分、外交、軍事、財政カ他國
 ノ制約ヲ受ケル場合ナリ、折半主權國ノ場合ナリ、

他國ノ *Territory*、東京、安南、*Cambochia*ニ對スル或ハ英國ノ印
 度ノ土民王國ニ對スル干渉ハ其一例ニテ之ヲ殖民的保護地ト稱ス、
 或ハ他國ノ領土主權ニ屬スル一部ヲ借度ケ一定期間之ニ對シテ
 統治權ヲナスコトナリ、南東州ノ如キ又ノニシテ租借地トス、保護
 地租借地ハ嚴密ノ意味ニテ領土ナラザル又自國ノ特別統治ニ服スル
 故ニ之ヲ殖民地ニ包括セラル、

保護ノ殖民地、保護地、租借地ハ何レモ本國土以外ニ於ケル新
 領土ナリ、本國ノ一部ナル又之ト分離ス、分離セル又之ニ從屬ス、
 其社会組織特殊ナル故ニ特殊ノ統治制度ヲ布ク、斯クノ如ク殖民地
 ノ形式的觀念及ヒ分類カ殖民地ノ法律的研究ニ重要ナルハ云フ可
 ク、サレト殖民地ナル社会現象ノ研究ハ之ニテ足ラス、其ソ、

第一、或ル地域カ新領土タルト同時ニ實質上ノ殖民地ナラス、亦者カ根據地ト称スレハ、ソレカ軍ニ軍事上ノ殖民地トシテ或ハ海底電線ノ中継地トシテ利用セラルルハ實質上ノ殖民地ナラス、無人島カ発見セラルルト新領土トイレヌ殖民地ト何ノ干渉スル所アラシヤ

第二、殖民地ハ國家ノ新領土トスレハ國家ト直接間接ノ干渉ナク私人又ハ私立会社カ或地域ニ對シテ統治權ヲ設立シタル場合ハ殖民地ニアラスト云フコトヲ得、斯ル場合ニ是形式的觀念ハ殖民地ノ狀態ノ實際ヲ説明スルニ足ラス

第三、殖民地ハ國法上本國ノ一部トシテ取扱ヲ受ケタル土地トスレハ *Algerie* ノ如ク本國ノ一部ト認メラルルヌノハ殖民地ニアラサルカ、然ルニ本國人ノ *Algerie* = 於ケル君動ト *Senegal* = 於ケル君動ト異ト異ト所ナシ、現ニ *Senegal* 又本國殖民地ヲ論スルニ當リ第ニ *Algerie*、ヲ殖民地ノ中ニ入ル、之等ノ諸矣ヨリ見テ殖民地ノ實質的觀察ニ要ナリ、

殖民地ノ分類ニ付キテハ上述ノ法律的分類以外ニ各種ノ標準ニヨリ分類アリ、獲得方法ニヨリ本國又ハアノ分類的分類、或レサルハ法律的分類ニ依シ、今殖民地ノ本質ニ基キ分類セントスレハソノ標準ハ社会群、移住、地域及ヒ君動ノ四ヲ出ラス、之等ノ實ニ付キテ参考トナスニ足ル分類ノ類別ヲ研究セン、

1. *Schiffle* ハ殖民地ノ本質ヲヨリ高キ文明ノヨリ低キ文明ニ及ホス勸告ニアルトナシニツノ社会群ノ文明発達ノ差異ノ程度ニ依ヒテ殖民地ノ分類ヲナサントシ其タメニ人類ノ文明ヲ部落時代、封建的社会、都市國家、地方的國家及ヒ國民的國家ノ五階級ニ分類シ、

コノ序ハ殖民地ヲ以テ分化ヲ異ニスルニ社会群ノ接触ニアリト見タル矣及ヒ其ノ接触ノ体裁ノ多種ナルヲ暗示セル矣ニテ興味アル又右ノ接触ハソノ組織ニ合ハセカ複雑ニシテ治ント分類ノ用ヲナサズ、

2. 住民ノ人類的干渉ニ基キ *Eingeborenen Kolonien*,

Mischkolonien, mixedling Kolonien / 三種 = 分

即チ第一種ノミ、ハ其土地カ受候風土ノ千俵ニヨリ移住者ノ住居ニ直ヤス、主ナル労働ノ供給者土人ナルモノニシテ第一種ノミハ移住者ト土人カ雜居セルモノナリ、第三種ノミハ移住者ノ住居ニ適セルモノナリ、此各々ノ場合ニヨリテ各殖民地ニ於ケルニツノ社会群ノ成立千俵ニ實質上ノ差異ヲ生ス、サレト最重ニ云ハハ第一種ノモノハ第一種ノモノニシテ亦僅少ノ場合ノ外或程度ニ於ケル *Mischkolonien* ナルモノナリ、

3. *Stroy-Mechanik* / 経済的労働ノ種類ニ依シテ、

1. *Colonies au Comptoir de Commerce* / 商業根據地、

2. *Colonies agricoles ordinaires ou de peuplement* / 普通農業(移民)

3. *Colonies de plantation ou d'exploitation* /

前記ト區別用條(板資)

殖民ノ経済的労働ノ種類ニテ分類スルハ本質上至当ナリ、小地域ニ於テ商業ニ從事スル商業的根據地 (*Factories*) ト移住者カ自ラ耕作ニ従事スル農業地ト 主トシテ土人ノ耕作ヲ監督スルニ止マル農業地トハ各々ノ社会狀態ノ趣ヲ異ニスルハ明カナリ、

サレト又商業根據地ト農業地トハ往々一體民地ニ包含セラル、ノミナラス、若シ経済的労働ニテ分類セントスレハ此外ニ鉱業、漁業、工業等経済的労働ノ各種ヲ列挙スルヲ要ス、且ツ農業地ニ就イテノミ移住者ノ多少ヲ區別シ商業地ニ就テソノコトナキハ論理的ナラス、

4. *Reinrück / 分類、 Settlement Colony* 又 *Exploitation*

tation or investment colony / 二種ニシテ前者

ハ移住者カ土人全部又ハ大部分を絶滅セル地域ニテ農業其他ノ産業ニ従事スルモノヲ称シ後者ハ少数ノ移民人カ自然富源ノ開闢ニ依

事ヤルモノヲ云フ

而シテ彼ハ後者ヲ更ニ商業工産地ニ分類シ寧ク投資殖民地ハ此順序ヲ違フテ叙述スルモノトス

此ノ分類ハ *Beaulieu* ノ分類ヨリ可ナルヲ移住殖民地ニアリテ又固ヨリ自然の富衆向來ノ投資アリ、投資殖民地ニテ又或程度ノ移住アル故ニ此分類又完全トハ云ハス

5. *Kölnen* ハ次ノ如ク分類ス

a. *Gebiete der Reproduktion*

1. *Siedlungskolonien*

2. *Pflanzungskolonien*

3. *Koloniale Stützpunkte*

1. *Handelsvermittlungskolonien*

2. *Politische-militärische Stützpunkte*

a. ハ自主的経済地域ニテハ、然ラサルモノトス、サレト商業殖民地カ自主的経済ノ一單位ヲナサストハル理由ヲ知ルニ吾シハスノ

ナリ、氏ノ分類ハムシロカク経済的、カク非経済的トナシ前者ヲ移住、開墾、商業ニ分類スルカ一層論理的ナリ、然ルトヤハカハ

Beaulieu ノ分類ト等シクもハ面説ニヨル殖民地ノ分類トスル

ハ直当ナル又實質的殖民活動ニ属セサルモノトナリ、

6. 殖民地ノ氣候ニヨリテ極帯殖民地及温帯殖民地トナスハ殖民地

ノ凡テテ地域的ニ網羅シ且ツ氣候カ殖民ノ活動ニ及ホスコト大ナル

故興味アル分類ナル又同シ熱帯地ト云フ又高所ハ温帯ナル故ニ

機械的ニ程度ヲ以テ區別スルヲ得ヌ、且ツ此分類ハソレ自体ニテ

ハ形式的ニテ之カ殊特ノ社会的活動ヲ暗示スル莫ニテ、初メテ實質

的トナルモノナルカ同シ温帯殖民地ニテ又温帯住民ノ之ニ移住ス

ルト熱帯住民ノ之ニ移住スルトハ社会状態ノ趣ヲ異ニス

以上各種ノ分類ハ多少、批評ヲ免レサルモノ何レ又殖民ノ實質ニ

基キ夫々ノ目的ニ有用ニ利用セラル、之ヲ通観スルニ *Schöfelle*

ノ分類カ移住社会群ト士人社会群ノ名目的対照ニ立脚セル外ハ悉

ク両者ノ人類の対照ニ着眼セルヲ見ルヲ得、且ツ故人ハ少ク又是

滞国民ノ移住者トシテノ立場ニ立テリ、然ルニ最後ノ莫ハ殖民ニ
絶対的ニ必要ナル莫ナラサル故ニ之ヲ度外視シ、殖民者ハ移住者ノ比
較的多数居住セル土地ト然ラサル土地トニ分類スルヲ經ン、比較
的多数トハ必スシキ土人ニ対シテ移住者數絶対的ニ多数ヲ意味セ
サル又人數ニ於テ被壓制的タルノ少數トラサレノミ
移住者ノ比較的多数ノタメニハ土人ノ抵抗カ少ナキコト、經濟
上ノ機會ノ多キコトナト種々ノ理由アルモノノ最大ナルモノハ其
地域カ同種地帯ニアルヲ要ス、氣候カ健康ニ適スル故ニ體力ヲ損
又ス且ツ女子ノ居住ニ適セル故ニ人口ノ自然増加ヲ妨ケヌ又土人
ト結婚スル機會少シ、而シテ居住者ノ數比較的多数ナレハ早ク集
团的生活ノ基礎ヲ固クス、而シテ土人ノ文明程度カ自己ヨリ高キ
場合ヲ察キテハ之ヲ自己ノ文明ニ融和シ或ハ土人ナクモスニ至ル
而シテ假令同種地帯ニ屬セサル又人種ノ生理的、心理的條件ニヨ
リテ多数ノ移住者カ存在スル場合ニ又同種ノ現象ヲ呈ス、
移住者ノ比較的少数ナレハ之ト反対ノ原因ニヨリ反対ノ現象ヲ

呈ス、其最大ナルモノハ氣候ノ關係ナリ、例ハハ亞細亞人ハ熱帯地
方ニ長期間滞在スルトキハ健康ヲ損シ生殖力ヲ減ス、殊ニ子女ノ
移住ニ適セサル故ニ移住社会群ノ人口ハ若シカラズ、却テ土人ト
結婚スル機會多クナル、其集团的生活ハ發展セヌ、殊ニ勞力ノ供
給ヲ他ヨリ受ケサルヲ得ヌ、從テ其産業ノ多クハ土人ヲ使ヒ、想
奔的ニ自然富源ノ採取ニ従事セシム、營利觀念強ク土人ニ対スル
被壓制ノ傾向カ大ナリ、
若シ土人ニシテ強カナルトキハ自己ノ特異ノ集团的生活ハ其發
展遂クシテ反ツテ土人社会ニ從屬的トナル、移住者ノ數少ナキト
キハ斯クノ如キ社会群ノ対立ヲ保力峻烈トナル恐れアリ、而シテ
之レ等ヲ現象ハ氣候ノ如何ニ拘ラズ移住者ノ數少ナキ殖民地ニ於
テ等シク見ララルル所ナリ、

第六章 殖民地ノ成立及終止

第一節 殖民地ノ成立

實質的殖民地ノ成立ハ殖民の活動ニヨリ、形式的殖民地ノ成立ハ統治權ノ擴張ニヨル、此兩者ハ觀念ノ範疇ヲ別ニスルトモ關係ハ密接ニシテ實質的殖民ハ其地域ニ對スル統治權ノ擴張ヲ求ル原因トナルコト多シ、之ト同時ニ或地域ニ對スル統治權ノ擴張ハ殖民の活動ヲ容易ナラシム、

殖民ニ對スル受動的な原因カ積極的ナルトキニハ殖民地ハ平和的ニ成立スルモノトシテ積極的ナルトキニハ抵抗カ小サキトニ基クトキハ通商條約或ハ詐偽ニヨリテ成立ス、況ンマ統治權ノ延長ハ直接又ハ間接ノ征服ニヨルコト普通ナリ、蓋シ殖民ハ或ル程度ニ於ケル土地先占者ノ驅逐ヲ前提トシ其驅逐カ暴力ニヨラサルコトハ

ハ稀ナリ、殊ニ領土權ノ移轉カ意識自由意志ニヨリナサレルコトハ社會群心理ノ法則ニ反ス、

買入、交換、極當等私法的方法ニヨル領土權ノ獲得ハ稀ナル例外ニシテ而シテ其多クハ併吞殖民國相互間ニ於ケル契約ニシテ殖民地ノ第一次的成立ハ土人ニ對スル暴力の圧迫ノ結果ナルコトカ普通ナリ租借又ハ私法の觀念ナレトモ殖民の獲得ノ方法トシテ租借力次シテ平和的手段ナラカルコトハ人ノ知ル所ナリ、

先占ハ丁度ノ重要ナル殖民地成立ノ方法ナルカ衆見ノ権利、法王ノ特許、或ハ背後地主義ニヨル先占ハ有效ナル統治權ノ成立ト云フコト能ハス、ベルリン會議ニ於テ *Uti possidetis* 大陸ニ於ケル先占ハ其地域内ニ及フ實力ヲ伴フ限リテ定メラレタルハ之ニヨル、而シテ先占ハ無主地ニ對シテ行ハレルモノナルカ國際法ニ併云無主地トハ必ズシテ無主地ニアラス、其住民カ未ダ國家組織ヲナサ、ル未雨ノ一部甚タルコトヲ意味スルニ止ム、故ニカ、ル地域ニ對スル實力の先占カ一層暴力又ハ詐偽ニヨリテ行ハレルハムシク自然ナリ、

保合ニヨル領土権ノ獲得ハ所云強制的保合ハ勿論相互ノ任意の協
定ニヨル場合ニテ又自來的自由意思ニ基クコトハ稀ニシテ必スモカ
ニヨル在迫ノ衝クコト大ナリ、國際法上適法ナル行為ニテ又其實質
ハ暴力ナルコト多シ、

保護條約ニヨル殖民的保護地ノ成立ハ亦該保護地ノ請求ニヨリ莫
ニ好意的ニナレルモノニ非ス、被保護地ニ對スル保護ハ國際法上第
三國ノ干渉ヲ排斥スル權ニシテ保護指針ノ結果完全ノ主權ノ恢復ヲ
達セシムヘキ國際義務ヲ意味セス、保護條約ノ締結ハ莫クノ場合完
全ノ保合ヘノ第一歩ニシテ國際間ノ爭ヲ避ケ又ハ保護國ノ自重心ヲ
傷ケサルタメニ此手放ヲトルナリ、

世界大戰ノ結果委任統治 *Mandate* ト云フ殖民地取得ノ新方
法ヲ認メタリ、之ハ英法ノ *Tutelage* (後見)ノ觀念ニ類ス、近
代世界ノ激甚ナル生存競争狀態ノ下ニ未タ自立シ得サル人民ノ福祉
及繁榮ヲ計ルハ文明ノ神聖ナル使命ニシテ其遂行ノ為ノ最善ノ方法
トシテ該人民ニ對スル後見ノ任務ヲ先達國ニ委任セルモノナリ、改

ニ委任統治ノ主ナル点ハ保護條約ト反シテ其地域ノ統治力國際義務
タル莫ク存ス、其精神ハ極メテ尊シ、然レトモ委任國ハ果シテ軍ニ
條約ニ云フ如ク資源、危險又ハ地理的位置ニヨリ最モ此ノ責任ヲ引
受クルニ適スルカ故ニ特殊ノ地域ニ對スル統治ヲ委任セラレタル又
ノナルカ、却テ歐洲大戰ノ前如ト共ニ殖民地ハ聯合國軍隊ニヨリ征
服セラレ *Palestine, Mesopotamia* ハ英軍ニヨリ *Syria*
ハ仏軍ニヨリ占領セラレタリ、而シテ或地域ニ對スル委任統治ノ受
任國ハ即チ軍事行動ニヨリテ其地域ヲ征服シタル國ニ外ナラス、故
ニ統治ノ權利ハ實質的ニハ占領ノ權利ニヨリテ生セシムト見ルヲ
得ハシ、

國際的殖民地ノ成立ハ直接國家ノ活動ニヨルモノト私人又ハ私立
会社ノ活動ニヨリテ得タル統治ノ権力カ後ニ國家ノ手ニ移ルモノト
ノニツノ場合アリ、
前者ハ往々ニシテ其地域ニ對スル實質的殖民ト無干條ニ成立ス、
後乙カ膠州府ヲ得、英國カ香港ヲ得タルカ如シ、反之後者ハ通常實

質的殖民ノ基礎ノ上ニ國家ノ統治権ヲ延長セラルルモノナリ、而シテ私立会社ニ対スル殖民地成立ノ亦其例多シ、*Quebec*ノ如キ事業ハ失敗ニ陥ルカ一六〇六年ニハ彼ノ志ヲ継キテ *Virginia* *Co.* ナ設立セラレタリ、殊ニ和、英ノ東印度会社ハ十七、十八世紀ニ於テ最モ顕著ナル殖民地建設ノ事業ヲ成遂ケタルモノナルカ前者ハ一七九五年ニ其政治的権力ヲ和蘭政府ニ譲リ後者ハ其権力ヲ一八五八年ニ英國政府ノ手ニ移セリ、

斯ノ如ク之等ノ特許会社ハ商業上ノ独占権ヲ失フニ至リシト共ニ軍需費ノ負担ニ堪ヘズシテ其殖民地ヲハ政府ニ譲リテ解散セリ、然ルニ十九世紀ノ後半ニ至リテ再び私立会社ニヨル殖民活動カ盛ニナレリ、蓋シ各國ニ於ケル資本的經濟力ノ充實ハ殖民地所有ノ經濟的價值ヲ大ニ致セルカ或ハ強乙ノ如ク国内統一ニ勢力ヲ集中スヘキ必要アリタリ或ハ英國ノ如ク自由主義ノ思想ノ影響ハ未ダ深キモノアリテ政府自ラ殖民活動ノ衝ニ当ルヲ欲セサルナリ、然カ又國際競争ニ於ケレ勢力均衡ノ觀念カ頗ル緊張ヤルヲ以テ茲ニ私立会社ノ殖

民的活動ニ対シテ政府ノ特許ヲ失ハ若キ年ヲ終ルト共ニ其ノ得タル権力ヲ國家ニ收メタルナリ、

之等ノ私人又ハ私立会社ノ活動ニヨリテ成立シタル殖民地ハ *Riomaine* ノ所云野生の殖民地 (*Wildenwachsende Kolonien*) ニシテ國家直接ノ行動ニ基ケルモノナラス、故ノ政策ハ人ノ移シテフランス式ト云マルモノ即チ先ツ根據地トシテ土地ヲ獲得シ置キ軍隊ヲ駐屯セシメ然レ後移民ヲ送ラントスル如キ殖民地ノ計畫的設定ニ及対セルヲ屢々明言セルカ之等ノ野生の殖民地又向メナク独乙政府直接ノ行政ニ属スルニ至リ、且独乙政府自ラカ前云依蘭西式ヲ採用スルコトニナレリ、

第二節 殖民地ノ終止

殖民地ノ終止ス亦實質的殖民地ト形式の殖民地ト趣ヲ異ニスルナリ、前者ハ数量的ニ居住者カ全部其ノ地域ヲ去ルカ或ハ實質的ニ撤

立ノ案団意識ヲ生シテ其ノ地域カ最早具ノ社会群ニトリテ新シクナ
クナルトキニ殖民地ヲトシ特長ヲ失フ、而シテ統治権ノ喪失ハ獲得ノ
場合ト相対セラル方法ニテ行ハレル征服先獲等立ナリ

1. 租借地ハ期限ノ満了ヲ以テ返還セラレタル实例ハ未ダナキ又膠
州湾及威海衛ハ他ノ理由ニテ宗主國ニ返還セラレタリ、然ルニ

Gamgibes ノ酋長ノ許典シタル租借地ノ如キハ保護的殖民地
ノ地位ニ階タリ、而シテ

2. 保護地又亦實際ニ於テ合條ト等シクアリ或ハ合條ノ前提ナリ、
又 *Egypt* ノ地位ヲ恢復セルハ倫敦ナル例外ニ属ス、

3. *Mandate A* ノ地方又其地域早晚成立シテ受任國ノ後見ヲ爲ル
ノキヲ予想ス、本國ノ一部タル

4. 條約ノ殖民地又亦本國ト異リタル案団意識カ奪奪スレハ、成立ヲ
スルニ足ル、例ハ、*U.S.A.* ノ如シ、
或ニ向界トナルハ英國ノ *Dependencies* ノ地位ナリ、*Canada*、
Australia、*New-zealand* 南阿聯邦又 *Quebec*

foundland ハ所謂自治的領土 (*Self-governing D*) ニシテ完
全ナル責任内閣ヲ有シ國王ハ立法ニ対スル *veto* ノ権ヲ留保スル
ノミニシテ内政ハ全額自治ニ委ネラレ本國殖民者ハ總督以外ノ官吏
ニ対シテ何等ノ監督権ヲ有セサルモノナリ、

自治的屬領 (*S. G. Dependencey*) カ觀念ニ於テ既ニ矛盾セ
ルハ *Lewis* カ指稱セル所ナリ、而シテ *Lord Curzon*
カ *Canada* ニ自治ヲ許スヘキヲ建議セルトキニ政体、外交、通商
及々公有地ノ處分ニ対スル監督ハ本國ニ留保スヘシト云フコトヲ主
張セルカ最后ノ二点ハ英國政府カ其権限ヲ放棄シ政府ノ組織ニ對シ
テ又自治ヲ認ムレモノナル故本國ノ政府ハ又外交ノ権力ヲ留保スル
ノ外 *Administration* ノ統治ハ實際的ニ全然 *Administration* 自身
ノ手中ニアリ、假ツテ其ノ地位ハ保護國 (*Independent*、
but protected states) ナリト *States* ハ此ノター、然
ルニ一八八七年以未殖民會議 (*Colonial Conference*) カ
開カレ一九〇七年以最后トシテ帝國會議 (*Imperial Confere-*

五五
nerve) ト改マリテ英帝國共通ノ事項ニ付テ協議ヲナセルカ一九
一七年ニ Imperial war cabinet ヲ組織セラレ Commission
ノ内閣ヲ戰爭ニ突スル最高政府ノ Information ニ就テハ英本國
政府ノ内閣ト絶対的同等ノ地位ヲ認メラレ同年ノ帝國戰時會議ニ於
テハ Commissionsノ現存自治ハ完全ナル内政ノ権利ヲ保有スルト
同時ニ英 Imperial Commonwealthニ於ケル自治國民々
ルコト及ク India カコノ重要ナル構成部分ナルコトヲ完全ニ認メ
Commissions 及ヒ印度ノ外交ニ對スルナル泰年ヲ承認シ且
全帝國的重要ナル共通事項ニ關シテ繼續的協議ノタメニ有效ナル取
締メヲナスコトヲ以テ必要トナリタル帝國各構成部分ノ憲法上ノ内
務修正ノ基礎トナスヘキヲ議決シ一九一八年ノ戰時内閣ニ於テハ
Commission ノ總理大臣ト英本國ノ首相トノ直接交渉権ヲ議決セ
リ。而シテ Paris ノ備和會議ニテハ Commission 及ヒ印度ノ代
表者ハ各々其地方ヲ代表スル全權委員トシテ任命セラレ其資格ニ於
テ條約ニ署名シコノ條約ハ各 Commission ノ議會ニ於テ批准セラ

レ其ノ各々ハ國際聯盟ニ於テ一ツノ独立國家タルノ地位ヲ享ヘラレ
南阿聯邦及ヒ豪州及ヒ New Zealand ハ各々委任統治ノ及在國
トナレリ。

之等ハ Commissions カ外交権、宣戰、媾和権ヲ有スルコトヲ
認メタルモノニシテ憲法上ニ於テハ完全ナル國家主權ノ獲得ト見ル
コトヲ得。 Commission ハ憲法上ニ英帝國ヨリ分離スル権利ヲサヘ
有スルモノト云フ人サヘアリ。

而シテ斯カル自主權ハ Commissions ノ切實ナル要求ニ伴ヒ英
本國ニヨリ及ヒ國際的ニ認メラレタルモノ故少クトモ實質的ノ意味
ニ於テハ之等ノ屬置法カ殖民地タル地位ヨリ成立セルコトハ明カナ
リ。之ヲ形式的殖民地ノ終止ト見ルハキマ否マハ議論アル所ナルカ
英國憲法上ノ慣習ニ根ハハ Commissions ト Great Britain
トハ本國國民地ノ關係ヲ脱シ平等ナル独立國家ノ結合セラレタル一
団トイフ新ナル組合的政治組織ノ狀態ニ入りタルモノト見ルコトカ
寧ロ實際ニ近キモノト思ハル。

第七章 殖民地ノ利害

殖民地ノ成立ハ社会群生活力ノ現ハレニシテ当然ニハ利益不利益ト云コトハ向異トナラス、土着ノ社会群力住又生存競争ノ不利益ヲ放ルコトアル人種ノ社会全体ヨリ見レハ進化ノ必然ニ基ケルモノナリ、ニシテ経済的及ヒ社会的活動ノ範圍ト活動トカ侵レルモノナリ、

殖民ノ一ツノ要素ナル移住カ母体社会群ニ對スル效果ニ付テハ之ヲ以テ社会的弊害ノ大部分ヲ除クニ有效ナリトイフ見解ト却ツテ社会的ニ有害ナリトイフ見解トアリ、前者ハ移住ヲ以テ人口過剩ノ弊ヲ防止スル救アリ得ツテ労働市場ノ需要供給ノ關係ニ影響シテ賃銀ヲ高クシ生活程度ヲ維持シ食民及ヒ失業者ノ向應ヲ解決スル所以ナリトイフナリ、然シ乍ラ移住ハ母体社会群ニ於ケル結婚率、出生率ノ増加ニ伴フ所ノ人口ノ自然増加ヲ惹起スルモノナリ、故ニ移住ニヨル人口向異ノ緩和ハ軍ニ地方的一時的ナルニ止マリテ徹底的一般

的ナル救済ノ方法ト云フヲ得ス、

若シ又労働ノ供給不足ニヨリテ労働ノ獲得ナル上界ヲ求メヘキ程度ノ大規模ノ移住行ハルルトキハ果實ノ恢復ニ應ジテ増加スル生産ノ要水ヲ充タスコトカ不可能ナラン、蓋シ今日ノ経済組織ニテハ産業予備軍力手近ニ存在セルコトハ生産ノ一要件ナル故ナリ

歐ソテ移住ニヨル人口ノ流出ヲ以テ社会的不利ナリト云フ考ヘハ mercantile system ノ一ツノ方面ヲ基礎付ケタルモノナルカ

労働力ヨリ生産的ナル地域ニ活動スルコトハ世界経済カラ見て有利ナルノミナラス特殊国民ニ付テ見テスコレニヨリテ出生タル人口ノ空隙ハ自然増加ニテ補ハルル故ニ国内労働力ノ不足ヲ求メスモノナラス、然又自然的移住ハ健全ナル社会群ノ生活現象ニシテ之ニヨリテ仮令一時的ナリトハ云ヘ其最又必要ナル時期ニ於テ人口過剩ヨリ生スル社会的磨擦ヲ緩和スルモノト云フハシ、

殖民ノ他ノ要素ナル新シキ地盤ニ於ケル活動ハ之ニヨリテ生産及ヒ交換ノ範圍ヲ拡張スル所ノ積極的利益アリ、殖民地ハ生産ヲ増加

スルト云フヨリ又寧ロ新シキ生産ヲ創造スルト云フヘキナリ、而シテ移住者ノ購買力ノ増加ト共ニ土着社会群ノ向ニ新ナル購買力ノ創出アリ、旧國ハ殖民地産物ヲ購入スルカダメニハ自己ノ生産ヲ増加セサルヘカラス、生産ノ増加ハ殖民地力同時ニ新シキ市場ナルカ故ニ可憐タルナリ、故ニ殖民地ハ生産者及ヒ消費者タルニ重ノ資格ニ於テ國際的企業ニヨル富ノ増殖ヲ利益スルモノナリ、

殖民地ハ又資本ニ対スル新シキ市場ナリ、殖民ニ伴フ資本ノ流出カ社会全体カラ見テ資本ノ減少ヲ意味セス、却テ之ヲ殖民地ノ側ヨリ見ルトキハ利潤ノ高キ土地ニテ使用セラルルコトニシテ本國ノ側ヨリ見レハ過剩ノ資本ヲ排出スルコトニヨリテ利率率ノ低下ヲ制止スルコトナリ、世界経済ノ全体ヨリ見テ資本ヲヨリ生産的ニ使用シ其増殖ヲ奨励スルモノナリ、

斯クノ如ク實質的殖民地ノ創設ハ其社会群ニトリテ有利ナルノミナラス、又世界経済ノ利益ナリ、*Adam Smith* ハ「米國ノ発見及殖民地カ歐洲全体ノ利益ニシテ殖民地ヲ有セサル諸國々之カダメ

ニ生活程度ノ向上ト工業ノ発達ヲ示シタルコトヲ説キタリ、彼ハ殖民地貿易ノ独占制度ヲ攻撃シテ帝ニ且ツ必然的ニ有害ナリトシテハルカ殖民地貿易ノモノハ帝ニ且必然的ニ有益 (*Beneficial*) ナリトシ其甚々有利ナルカ故ニ独占ニ拘ラス尙且全体トシテ然ラズ大ニ有利ナル結果ヲ生シタルモノト述ヘタリ、而シテ資本主義的國家ノ殖民政策ヲ主トシテ対土人千條ニ於テ非難スル社会主義者々殖民ノモノハ原則トシテ否認スヘキニアラス、却ツテ人類進歩ノ有益ナル一要素トシテ認ムヘキモノト云ヘリ (*Kantaky*)
然ラハ形式的殖民地ノ利害ハ如何、換言スレハ一ツノ國カ政治的ニ殖民地ヲ領有スルコトニヨリテ上述ノ殖民地ノ實質的利害ハ増進セラル、モノカ或ハ制限セラルルモノナルカ、
殖民ノ利益ハ全ク事物ノ自然ニ基クモノニシテ政治的從屬千條ニ基クモノナラス、
殖民ノ利益ハ各國民カ均シク均霑スル所ナルナラハ殖民地ノ經營ハ之ヲ他ノ國ニ委スルヲ以テ賢明ナリトナスヘキニアラカルカ、蓋シ形式的殖民地ノ設立及ヒ維持ニ

ハ少ナカラサル人余及ヒ費用ノ犧牲ヲ必要トシ要々國家財政ノ負担
ヲ増スト共ニ遊民地ノ領有ハ本國殖民地向ノ政治的動機ヲ生スレノ
ミトラス國際的競争ノ原因タルコトカアル故ナリ、

先ツ移住ハ經濟的條件、最メ有利ナル地ニ對シテ行ハルルモノニ
シテ其土地ノ政治的版圖ヲ向ハサルモノ若シ經濟的條件ニ對シテ同一ナ
ルナラハ其地域ノ本國領土ノ一部ナルコトハ遂ニ有利ナル條件ヲナ
スモノナリ、

移民ノ送金ハ國際債務ノ係ニ有利ナル一ツノ項目ナルモノ其活動ハ
直接ニハ移住國ノ經濟的發展ヲ助ケ本國ニ對スル競争力ヲ意味スルコ
トナリ、殊ニ或國カ勞力ニ對スル經濟上ノ需要アルニ拘ラス、人種
的又ハ政治的ノ見地ニ基キテ特ニ或ル國民ノ入國ヲ禁止又ハ制限ス
ルトキ移住地カ本國統治權ノ下ニアルコトノ利益ヲ痛感スハシ、而
シテ犯罪人、貧民等ヲ國外ニ追放スルハ之ヲ容ルル土地ノ喜ヲ辨ニ
アラサル故形式的殖民地ニ對シテ初メテ可能ナリ、
投資ニ付テハ略々同様ノコトヲ云ヒ得、投資ハ利息力最メヨク且

ツ回收ノ最メ確實ナル地ヲ求マルモノナルカ他ノ條件ニ對シテ全一ナ
ラハ本國ノ統治權ニ服シ本國人全一ノ法制ノ下ニアル地域ハ特ニ其
投資ノ良好ナル目的地ナリ、

原料品ノ供給及ヒ製造品ノ市場トシテノ形式的殖民地ノ費用又亦
上述ノ程度ニ於テ有利ナリ、最メ廉キ土地ヨリ噴ヒテ最メ高キ土地
ニ賣ルハ自由貿易ノ原理ニ對シテ貿易ハ必スシテ常ニ國境ニ架スル
ナラサルス然レバ國境習慣並ニ法律制度ヲ一ニスル殖民地ニ對シテハ
自ラ貿易ヲ増進セラレ且ツ取引ノ安全ト便利トカ得ラル、故ナリ、
U.S.A.ノ英國ニ對スル貿易力故立後ニ於テ益々増加セルカ之ヲ
以テ政府的分割ノ結果ニ級スルコトヲ得ス、Canadaノ貿易ハ地
理的干渉ニヨリテ本國ト最メ密接ナルモノ其ノ對英貿易又亦比較スハ
カラサル程度ノ小額ナラス、

Adam Smith ハ殖民地ヲ政治的ニ領有ノ利益トシテ貿易ノ
故トテ擧グルコトハ誤レリト云ヒテ彼トハ他國ニ對スル相對的ノ利
益ヲ与ヘルノミニシテ絶対的ノ利益ヲ生スルモノナラヌト云ヘリ、

君シ國際的自由競争ノ理論カ完全ニ行ハルルモノナラハ殖民地ノ領
有ハ貿易上何等ノ利益ヲ附加スルモノナラザラン。然レトモカ、
前提ハ理論上ノ構成ニスキス、現実ニハ種々ノ複雑ナル事情ニテ
限ヲ受ク、若シ一ツノ國カ經濟上以外ノ理由ニテ特定ノ國ニ對シテ
貿易ノ供給ヲ制限シ又ハ市場ヲ閉鎖スルトキハ貿易上ノ利益ヲ被ル
コトハ云フ迄モナキコトナリ、且ツ經濟上以外ノ理由ニヨル貿易
増進ハ單ニ相對的ノ利益ヲ生スルノミナリト云ヒテ又社會群ノ對立ト
云フ觀念ニ基キテ兎ルトキニハ所云絕對的ノ利益ヨリ又却テ相對的
利益ノ方カ特殊社會群ニトリテ重要ナリ。
以上述ヘタル所ト異リ殖民地ニ對シテ統治權ヲ有セザレハ金銀期
待スルヲ得ナル利益トシテ論ヤラルヘキ向懸ハ本國ノ財政及ヒ軍事
ニ對スル直接ノ貢獻ナリ、殖民地兼進ノ初期ニ於テハ軍費、土木
費等ノ所云準備的事業ノ多クニ巨額ナル支出アルニ反シテ其ノ財源
乏シクシテ收支ノ積ヲ得ス、直接税ニテハ課税目的乏シ
ク間接税ハ住民ノ經濟力カ幼稚ナル故ノ實行ニ乏シ、関税カ高率

ナレハ殖民地ノ兼進ヲ妨ケ土地ノ採下代金又ハ高率トナルコトヲ得
サル事情アリ、而シテ其ノ地カ經濟的ニ兼進シテ財政ノ独立ヲ得タ
ルトシテ又之ヲ以テ直ニニ國庫ノ收入ニ對スル直接ノ寄與アリトナ
スコトヲ得ス、殖民地ハ其初期ニ於テハ無力ノ故ニ之ヲナスヲ得ヌ
兼進ノ後ニ於テハ有力ノ故ニ之ヲナスヲ得ヌヤル場合アリ、
然レトモ古代ノ東洋ノ諸帝國又 *Greece*、*Rome* 等ノ屬領
カ本國ニ貢ヲ收メタル例ハ暫ク天時ニ依占的貢賦ノ生産ニ有利
ナル自然的条件ヲ具ヘル殖民地ハ屬々本國ノ收入ヲ增加セシメタル
例アリ、*Spain*、*America*ニ於ケル殖民地ノ金銀産出ニ對ス
ル課税ハソノ行政費ヲ支弁スルニ足ラザリシトシテ又之ハソノ殖
地統治ノ方策カ特ニ *Spain*ニシテ國庫ノ收入ソノモノハ巨
額ニ上レルナリ、和蘭政府カ *Java*ニ於テ實行セル *Culture*
*System*ノ結果ハ其ノ盛時ニ当リテハ行費ヲ差引キテ年ニ八百
万弗——三千三百万弗ノ收入ヲ國庫ニ与ヘテ、同ノ國庫償却ヲ甚シ
ク容易ナラシメタリ、然レトモカラ斯ノ如キ強制的ノ收入政策ハ其後

樹立セラレタリ、

殖民地へ財政上独立ノ地租ヲ得ル程度ニ経済力カ発達スルマデハ
本國納税者ノ負担ナルニ其程度ニ達スレハ散テ負担トナラサルノミ
ナラス知ツテ積極的ノ援助者トナリ少クトス費用ノ分担者トナルニ
至ルト云フコトスホ考ヘサルヘカラス、然レ本國経済ノ発達ヲ促進
スルコトニヨリ向接的ニソノ財政ヲ援助スル方カ適ニ大ナリ、殖民
地ノ発達ハ一ノ *Walden* ナリ、故ニ其ノ利益ス亦短期ニ於テ計算
表ニ上シ得ヘキ性質ノモノナラス、而シテ反令殖民地カソノ成熟ノ
結果本國ヨリ分離スルニ至リテスソレマテノ期間ニ於テ殖民地ノ發
育カ必スシテ本國ノ財政的負担ニ終ルト云フコトヲ得ヌ、

本國ノ軍事費ニ對スル殖民地ノ負担ニ付テハ其軍事費ノ1/5ヲ
本國ノ國庫ニ支給スルヲ始メトシテ他ノ殖民地ニ或ハ金銀ヲ以テ或
ハ軍艦ヲ建造シテ本國ニ寄與セリ、之等ハ若シ英國カ殖民地ヲ領有
セサリシナラハ支出ノ必要ナカリシナルヘキ要費ノ負担ナルカ
Smith カ殖民地市場ノ費用ニ負担セサル殖民地ハ本國ニ取リ

テハ *Spencer* (Spencer) ニシテ見做エノスル裝身具ニスキス、

之ヲ維持スルハ本國ノ財政的負担ナル故寧ク任意的の分離ヲ利益トス
ルト云ヒタルコトハ最早マ今日ノ水陸ニハ適合セサルニ至レリ、

殊ニ戰爭ニ際シテハ所云根據地ト稱セラル、ハ軍事上非常ナ
ル取ヲナスノミナラス艦隊及軍隊ヲ以テ殖民地カ本國ノ戰爭目的ノ
遂行ヲ援助シ或ハ公債ノ募集其他ノ方法ニテ本國ノ戰時財政ヲ助ケ
タルコトハ先般ノ戰爭ニテ特ニ顯著トナレルナリ、

殖民地ノ領有ハ國際戰爭ノ原因タルコトアルト共ニ反對ニ之ヲ予
所スル原因トナルコトスアリ、蓋シ或ル地域ニ對シテ強國ノ統治權
カ確立セラルルトキニハ其地域ニ對スル國際的競争ヲ停止セシムル
故ナリ、此外殖民地領有ノ政治的又ハ文化的利益ノ向標ニ就テハ詳
シク述ヘル必要ナシ、

要之、殖民地ノ利害、從テ之ヲ認定スルカ獲得スルカ維持スルカ
或ハ放棄スルカノ向標ハ單ニ經濟的ニ收支力價ヲカ否カト云フ計算
的觀念ヲ以テ決定スヘキニアラス、殖民地ハ大帝國ノ裝身具ナリ大

国民ノ高便ナル益榮ナリ、大殖民地領有ノ国民的榮譽ハ單ニ想像的
利益ニシテ逐々幻想的ナルトイフコトヲ以テコノ向懸ハ解未セラレ
タルモノナラス、

国民的榮譽ナリトカ、自己防備ノ精神ナリトカ、支配的種族ノ本
能ナリトカ、近似的社会群ニ対スル同情ナトハ斯ク輕視スルコトヲ
許サレサルヘキ要素ナリ、

第八章 殖民政策ノ觀念

殖民活動ハ丁史進展ノ過程ニ於テ社会群生活ノ集團的要素ノ必然
ニ基ク所ノ社会的現象ナリ、然レトス社会現象ノ必然性ハ自然現象
ニ於ケルカ如キ嚴格ナル觀念ナラス、人類ノ社会生活ハ便值生活ナ
リ、社会的活動ハ便值ノ現象ナリ、其事實カ便值判断ノ対象トナル
ハミナラス、其ノ活動ハ便值觀念ヲ以テ指導セラル、社会的活動ハ
或觀的ニハ集團生活ノ必然ヨリ出テタルモノナレトスヘテノ社会

的行動ハ人類ノ意識ヲ通シテ行ハルルモノ改主觀的ニハ便值判断ヲ
伴フモノナリ、一定ノ原因ヨリ一定ノ結果ヲ生スルハ社会現象ノ必
然性ナルモノ其結果ノ生スル後定ハ人間ノ行為ニ外ナラス、

人間ハ大ナル社会的必然ノ中ニ行動スルモノナルカソノ行動ハ概
械的ナラス、加之人間ハ原因ソノモノニ反抗シ之ヲ修正スルカヲ
有ス、彼等原因ヲ動かスコトヲ得サルトシテスハクニ之ヨリ出レル
社会進化ノ経路ニ影響ヲ及ボスコトヲ得、即チ社会的活動ニ当リテ
ハ如何ニスレハ最大ノ便值ヲ獲得スルモノ、換言スレハ最大合目的ナ
ル手段ハ何ナルモノ觀念ヲ伴フモノナリ、

殖民政策ト云フハ殖民活動ニ対スル便值判断ニ基ク所ノ合目的ナ
ル意識的又影ナリ、其ノ内容ハ殖民地ノ設立及ヒ維持ニ関スルモノ
ト殖民地ニ於ケル活動ニキスルモノトアリ、殖民地ヲ所有スルコト
カ社会群生活ニトリテ何等カノ便值ヲ有セルカ殖民活動ニキシテハ
如何ナル方策カ最チ社会群ノ生活ニ合目的ナルカニ対スル判断ニ基
キ社会群ノ必然的生活現象ナル所ノ殖民活動ニキシ意識的ノ手段ナ

ルハ殖民政策ナリ、
 ナレハ殖民政策ノ研究ハ何故ニ及ヒ如何ニシテ殖民地ヲ所有スル
 ヤ、何故ニ及ヒ如何ニシテ之ヲ統治スルヤ、何故ニ及ヒ如何ニシテ
 殖民ノ社会的及ヒ経済的移動ヲ指導スルヤトノ問題ヲ答ムモノナ
 リ、此中殖民地所有ニ対スル便値判断ハ前章ニシテ之ニ触レ其喪失及
 ヒ防止ニ関シテ既ニ説明セリ、

ハア史的必然ノ産物タル領有殖民地ノ事實ニ対シテ其ノ
 利害得失ヲ論シ又ハ抛棄ヲ主張スルハ恰又不承ニ対シテ大人トナラ
 又方ヨシト云ヒタリ、或ハ大人ヲシテ再ヒ不承ノ狀態ニ陥ラシメン
 トスル^{如キ}ノナリトシ且ツ殖民ハ軍ニ利益ノ向題ニアラスニテ若キ層
 領ニ対スル道德的義務ヨリ云フス抛棄ハ向題トナラサル又ノナリト
 云ヘリ、

然シ乍ラ大人ト不承ノ譬ハ適切ナラス、今父親ト多数ノ子女トヲ
 以テ譬ヘルニ不承ノ出生ハ原則トシテ自然的ナル又尚ホ意識的干渉
 ナラズ余地アリ、而シテ已ニ出生シタル不承ニ対シテ之ヲ養育ス

ヘキカ、抛棄スヘキカ、或ハ他家ニ入籍セシムルカ、其ノ養育ノ方
 針ハ如何ニスヘキカ既ニ教育ノ級之ト如何ナル関係ヲ維持スヘキカ
 ハ凡テ意識的干渉ノ対象タリ、然シテ不承ノ時期ニ於テ不承ヲ抛棄
 スルコトカ父タル又ノ義務ニ及スルトスレハ或育ノ曉ニ於テ何時
 マテ不承ヲ不承扱ヒニスルコト又亦同根ノ義務ニ及ス、殖民ハ利
 益ノ向題トスル現実的ノ立場ヨリ云フス義務ノ向題ナリトスレ理想
 的立場ヨリ云フス政策ノ研究カ殖民地ノ抛棄又ハ孤立ニ及フヲ妨ケ

9 殖民政策ノ主体ハ移住社会群ト其ノ母体タル社会群ナリ、殖民活
 動ニ対スル兩者ノ便値判断ハ常ニ必スシ又公一ノ利害干係ニ立ツ又
 ノニアラス、殖民ニ伴フ社会的経済的移動ニ于テ已ニ兩者カ政策ヲ異ニスル
 レノミナラス、殖民地干係ノ創設ニ於テ已ニ兩者カ政策ヲ異ニスル
 場合アリ、本國ノ殖民地ヲ抛棄スルハ必スシ又殖民者ノ利益ナラス
 殖民地ノ孤立ハ必スシ又本國ノ善ヲ祈ナラス又殖民政策ノ客体ハ殖民
 者ヨリ見レハ土人ナリ、本國ヨリ見レハ土人及ヒ殖民者ノ双方ナリ

土人ト殖民者トハ明カニ異ナレル社会群ナル故本國ノ殖民政策ハ西
洋ニ於テ一様ナラザルコトヲ系列トス

本國ノ殖民地ニ對スル政策ノ根據並ニ範圍ハ一版ノ經濟政策ノ根
據ニ於テ個人ノ行為ニ包含セラル、即チ國家カ何故ニ如何ナル根據ノ
範圍ニ於テ個人ノ行為ニ干渉スルコトヲ認メラルカノ向テ、
之ハ社会的ニ見ルナラハ國民經濟ノ要求ニヨリ、思想的ニ見レハ國
家觀念ノ如何ニヨリテ定メラル、

之ヲ史的ニ見レハ *mercantile system* 時代ニアリテハ
本國ノ実カカ伴フ場合ニ於テハ國家干渉ノ範圍廣ク広版ニシテ本國
政府ノ実カカ伴ハザルコトハ特許會社カ之ニ代リテ広版ナル干渉ヲ
ナセリ、自由主義ノ時代ニ至リテハ國家ノ殖民地間接ヲ排斥シ之ニ
ヨリテ生スヘキ唯一ノ利益タル貿易ノ孤立ハ實際ハ利益ナラザルコ
トヲ指摘スルハ *Adam Smith* ノ仕事ナリキ、然ルニ *J. S.*
Mill ニ至リテハ自由放任ノ原則ハ誤メツ、尚ホ個人カ各個人ノ
利益ノ最良ノ判断者 (*best judge*) ナラザル場合ヲ示ク判

事ニテ個人ノ利益ノ主義ヲ有效ナラシムルニハ共同ノ動作ヲ必要ト
シ共同ノ動作カ有效ナルニハ法律ノ保障ヲ必要トスル場合トイフ項
目ノ下ニ労働ノ時間短縮法ト共ニ *Wicksfield* ノ土地取下げヲ奉
ケ又個人ノ行為カ國家全体及ヒ彼世ニ影響スルコト大ナル場合ト云
フ項目ノ下ニ於テ殖民ヲ稍々詳細ニ論シタリ (*principles*)
彼ノ議論ハ殆ント移民渡航ニ對スル國家ノ干渉ヲ示シタルニ
ノニシテ當時ハ木々一版ニ自由放任ノ主義カ認メラレタルモノナリ
然ルニハ *Chamberlain* カ殖民大臣トナリテヨリ始メテ明
確ナル積極的政策ノ下ニ對殖民地ノ向應カ指導セラレタルモノナリ
ト云フコトヲ得、然レノ政府カ殖民地會社ノ專權ヲ忽テ恢復シタル
ハ一ツニハ個人ノ企業ノ殖民地開拓ニ對スル效用ヲ認メツ、之カ
殖民地ノ全体的發展ト國民經濟的要素トニ轉突スルトキニハ國家ノ
優先ヲ受クヘキモノトノ思想ニ基ツク、之等ハ國家ノ殖民政策カ新
主義時代ニ入リシコトヲ示スモノナリ、而シテ社会主義國家ノ殖民
政策ヲ想像スレハ其干渉ハ一層一般的且ツ統一の綜合的ナルヘシ

○ 殖民政策ノ方針ハ 従属、自主、同化ノ三種アリ、 従属主義トハ 軍ニ土人ニ対シテノミナラス 殖民者ニ対シテモ 均シク其利益ヲ首ニス本國自身ノため而シテ本國自身ノためニシテ 殖民活動ヲ規律セントスル主義ニシテ大體 仏國革命ニ至ル迄 各國ニ於テ 實行セラレタル所ナリ、 殖民地ノ統治ニ就テ 兎レハ 土人ノ政治的地位ヲ 全く 隷屬的ニシムルノミナラス、 殖民者タル 自國民ニ対シテモ 參政权ヲ 謀メス、 殖民地ニ 於ケル 選舉議會ハ 西、 葡ニ 於テハ 遂ニ ソノ 成立ヲ 得ガリキ 依ニ 竟テ 云ハハ 一七八七年、 和蘭ハ 一九〇三年ニ 至リテ 初メテ之ヲ 認メタルナリ、

而シテ 西葡ニ 於テハ 殖民地ニ 於ケル 官吏ハ 全部之ヲ 本國ヨリ 派遣シテ *Crestles* (殖民地ニ 未レル 本國人) ヨリ 在用セス、 嚴重ナル *Caste system* ヲ 維持シテ 分離ヲ 以テ 政治ノ 秘決ト ナセリ、 次ニ 殖民地ニ 於ケル 經濟活動ニ 干シテモ 亦 全然 本國中心主義ニシテ 本國ニ 對スル 財政的ノ 援助ヲ 目的トシ 或ハ 所云 *colonial system* ノ 政策ニ ヨリテ 本國ノ 航海業者、 商人、 製造業者等ノ

独占的利益ヲ 目的トシタルモノナリ、 而シテ 社会的活動ニ 突スル 従属主義的政策ハ 時ニ 土人ノ 習慣信仰等ヲ 無視シ 教化ヲ 首ニス、

自主々 従ハ 従属主義ト 正反對ニシテ 殖民地ノ 利益ヲ 中バトシ 本國ノ 干渉ヲ 拒フ 限リ 少クセントスルモノナリ、 當時ニ 就テ 云ハハ ソノ 極点ハ 英國ノ *Non-intervention* ノ 如ク 本國トノ 連絡ハ 全然 武力支配ノ 觀念ヲ 脱スルニ 足ルモノナリ、 殖民地ノ 財政ニ 就テハ 國庫ヨリノ 補助金ヲ ク又 國庫ハノ 納付金ナキノ 状態ナリ、 殖民地特別会計ノ 制度ハ 假キ形ニ 於ケル 自主々 従ノ 表現ナリ、 而シテ 殖民地ハ 其ノ 經濟活動ヲ 全然 隨意ニ 規律スルコトヲ 得、 本國ヨリノ 輸入ニ 對スル 課税權ヲ 又 認メラルルナリ、 社会的活動ノ 方面ニ 就テハ 特ニ 土人ノ 社会的生活ノ 特異性ヲ 尊重スル

自主々 従ハ 必スシテ 或ル人々ノ 云フ 如ク 本國ノ 利益ヲ 犠牲ニスルモノナラス、 予ハ ラレタル 條件ニ 於テ ソレハ 最モ 本國ノ 利益ナリト 判断スルカ故ニ 自主ヲ 以テ 殖民政策ノ 基礎的方針トナスニ スキス、

同化主義ハ殖民地ニ對シテ全然本國ト同一ノ待遇ヲ與ヘントスル
 事ナリ、殖民者、本國ノ社會群ト共通ノ社會觀念社會法制ヲ行シ
 本國民トシテノ資格又ハ身分ヲ其終身ヘテ殖民地ニ移ルニスキヤル
 故殖民地ニ於テ本國ニ於ケルト全ノ権利、同一ノ自由ヲ賦與セラ
 ル、殖民地ハ佛人ノ所謂本國ノ延長トシテ本國ニ於ケルト同様ノ統
 治組織ヲ施スヘク如シ *algerie* ニ對スル *sygalimé des*
Rattachements ニヨリテ其理想トナスモノナリ、而シテ財政
 ニ於テハ關稅政策ニ於テ本國ト同様ノ取扱ヲナスモノナリ、土人
 ノ社會生活ニ對シテハ亦本國ノ法制、言語、風習ニ慣ラサントスル
 事ナリ、

同化主義ハ殖民者ヲ本國ト爲レテ新タル集團意識ノ下ニ生活ス
 ルモノニシテ殊ニ土人ハ元素全然特異ナル社會群タルノ事實ヲ省ミ
 サル莫クテテ弱點アリ、
 故ニ仏蘭西ニ於テハ近來ニ至リテ漸ク政策ヲ變更シテ同化主義ハ
 否ニシテ協同主義 (*Association*) ノ可ナルヲ高調スルニ至

レリ、

以上、種屬、自由及び同化ノ三主義ト共通ナル基礎ハ之ヲ政策ノ
 主体タル社會群ノ利益ナリ、何レノ主義カ最モ自己ノ利益ノ滿足ニ
 對シテ合目的タルモノノ判斷ニ從ツテ殖民政策ノ方針カ決マラル、故
 ニ政策ハ殖民地ノ特殊ナル事情ニヨリテ差異ヲ生スルノ外政策ノ主
 體ノ利益觀念ノ如何、即チ如何ナル殖民活動ノ方面及び如何ナル手
 段ニ最モ重キ價值ヲ認ムルカニヨリテソノ体系カ決マラル、

第九章 統治政策

殖民地ハ其經濟發達ノ狀態ハ旧國ト一様ナラス、其ノ社會生活ハ
 移民ノ事實並ニ土人ノ存在ニヨリテ殊特ノ集團意識ヲ發生ス、且ツ
 近世交通ノ進歩ニ拘ラヌ尙本距離ノ遠隔ナルコトハ殖民地ニ於ケル
 特殊ノ社會意識ノ發生ニ與リテカアリ、已ニ社會組織ト社會意識ト
 ヲ異ニスレハ殖民地ノ統治ハ本國ノ統治ト全然同一形式ニ出ツルコ

ト修ハサルハ明カナリ、既ニ本國ト全然對一的ニ統治セラルルニ至
レハ之ハ最早マ殖民地ヲサレノ状態ヲ前奏トスヘキナリ、

××

第一節 統治ノ主体

殖民地ノ創設力私人又ハ私立会社ノ専斷ニヨリタル例ハ前ニ述
ケリ、而シテ其ノ特許ニハ殖民地統治ノ權又包含セラレタリ、
Eliza Beth カ *Sir Walter Raleigh* ニ与ヘタル特許状ニハ
國家ノ法律ニ等シキ法律規則ヲ制定スルトイフ權利ヲ含メリ、斯ノ
如キ封建制度ノ觀念ニ基ケル領主政治 *Proprietary Govern-*
ment ハ前、西ノ殖民地ニ對シテ行ハレタリ、特許会社又亦特
許状ニヨリテ商業權土地所有權ノ外ニ軍備、立法、裁判、行政
及ヒ二人ノ君主ト條約ヲ締結シ軍事行動ヲナスト爲ント完全ナル
主權ノ行使ヲ認メラレタリ、
特許会社ノ統治ハ少クトモ財力ニ於テ領主政治ニ優レタルヲ以テ

最初ノ範圍大ナリシカ其ノ主タル目的ハ商業上ノ利益ニヨル既当
ノ増加ニアリシ故ニ專ラ一時的ノ利益ヲ追求シ其ノ統治ハ全然從屬
主義ニヨレルモノナリ、且ツ会社ノ重役以下役員カ其ノ地位ヲ利用
シテ私利ヲ計リ政治ノ腐敗ヲ招キタリ、商權ト政治トハ密接ナル干
係アルカソノ余リニ密接ナルトキハ生産者又ハ消費者ニ對シテ甚シ
キ圧迫ナリ、

十九世紀ノ後半ニ生シタル特許会社カ殖民地ノ統治ニ當リタルニ
新主義主義時代ノ初期ニ於ケル國家狀態ニ基テ所ノ過渡期ノ現象ナ
リ、其ノ行政ハ國家ノ監督ニ服シ貿易ノ權ハ明白ニ否認セラレ
殊ニ土人保護ノ趣旨ニ基テ所ノ期限ヲ課セラレタリ、其又キ範圍ニ
於テ統治權行使ノ權ヲ土人ノ酋長ヨリ受ケ本國政府ヨリ之ヲ認メラ
レタルハ本國民ノ領土の野心ノ滿足ヲ現ヘスト共ニ会社自身ヨリ本
國ハ殖民地ノ開發ニ肉シテ兼立セラレタル農業、鐵業等ノ利權ヲ政
治力ニヨリテ確保スルガためナリ、然レ商業權ハ政府ハ其ノ殖
民活動ハ利益ノ機會少ク其ノ資本ハ所云愛國的發展ト稱セラレソノ

××

資本ノ餘額又少ク利益ノ配当又低利或ハ無配当ナリキ、斯ノ如キ基礎ヲ以テ特ニ複雑ナル殖民地ノ統治ヲ永續的ニ負担スルヲ得サルハ明カナリ、若シ土人ト有テ權ヲレハ忽チ財政ノ困難ヲ来ス、且ツ之等ノ会社ハ本末商會会社ニシテ公益団体ナラザル改許ノ條件タル土人保護上ノ制限ハ十分ナル保障ヲ与ヘラレタルト云フコトヲ得ヌ、十七世紀ノ特許会社ト対スル宗教公布ノ義務ト全シク十九世紀ノソレニ対スル人道主義的ノ義務又亦空文ニ段スル場合少ナカラザリキ、

統治ハ元來權力ノ作用ナル故本質上權力団体ナル國家カ直接ソノ在ニ當ルヲ以テ最メ合理的トナヌ、且ツ永續的ノ統治ハ之ニヨリテ初メテ可能ナリ、國家ハ又本質上社会ノ共同の集團意識ノ形式化ナル故本國ノ一版生産者及メ消費者ノ利益、タメニ殖民者ノ統治の利益ヲ適當ニ Control スルコトヲ得、且ツ殖民者ト土人トノ対立ヲ原ニ對シテ又本國ノ政府ハ直接ノ統治者ナラザル故一版の長期的ノ立場ヨリ殖民地ノ發達ニ最メ合理的ナル政策ヲ取ルコトヲ得、

殖民政策ハ各種社会群ノ利害ノ調和ニアルトスレハ其自体ヲ多種多様ナル利害ヲ保ノ調和ナル國家カ直接ニ之ニ當ルコトハ政權行使ノ幾干カ如何ナル階級又ハ党派ノ手ニ屬スルヲ向ハス單一ノ利益ヲ代表スルニスキタル領主又ハ特許会社ノ統治ニ對シテ更ニ合理的ナリ、故ニ實力ニシテ有々ハ國家自ラ殖民地ノ統治ニ當タルノカ當然ナリ、

第二節 殖民地ニ於ケル統治ノ制度

殖民地ノ統治カ殖民地居住者ノ意志ニ基キテ行ハルルマ否マ即チ殖民地自治ノ向是ハ本國ニ於ケル政治ノ組織ト殖民地ノ社会構成ニヨリテ決ヤラル、若シ本國ニテ專制的統治行ハルレハ殖民地ニ於テ自治的統治ノ行ハルコトハ期待スルヲ得ヌ、

又假令本國ニ於テ自由ナル統治ノ制度行ハルル又殖民地ノ發達勿種ニテ殊ニ本國ヨリノ移住者少数ナルトキハ殖民地ノ統治ハ本國ニ

於ケルカ如ク自治的ナルコトヲ得、而シテ殖民地ノ統治ハ專制ナ
ルトキハ本國ニ於ケルヨリハ極端ニ專制的ナリ、若シソレカ自治的
ナルトキハ本國ニ於ケルヨリハ遙カニ自治的ナリ、之ハ殖民地ノ特
性ニ基クモノナリ、

殖民地ノ統治カ自治的ナラサル場合ニ於テ之ニ對スル國王ノ権力
カ特ニ重大ニ認めラル、之ハ本國ノ議會ハ殖民地ノ統治ニ對シテ直
接ノ利害ヲ保護シ知識ノ興味ニ乏シキ故ナリ、而シテ殖民地ニ對ス
ル特殊ノ統治ノ必要ハ國王ノ最高官吏タル總督ノ権限ヲ極メテ之ク
シ一般行政権ノ外ニ法律ヲ要スヘキ事項ニ對シテ命令ヲ以テ立法ス
ルノ権限及軍隊ノ指揮権ヲ認めラルコト多シ、

然ルニ殖民地ノ発達ニ伴ヒソノ統治ハ軍政的色彩ヲ缺シ且ツ居住
者ノ殖民地統治ニ對スル参与力認めラル、ニ至レリ、コノ英ニ屬シ
テ英ノ殖民地ハ如ク分類セラル

1. 立法議會ヲ有セサルモノ (Legislative Council)
Gibraltar

2. 在命セラレタル議員ヨリ成ル立法議會ヲ有セルモノ、

Hongkong

3. 立法議會ハ官選議員ト民選議員ヨリ成ルモノ、前者カ後者ヨリ多
多数ヲラシメラルモノ、 *Ceylon*

4. 3ト同様ニテ在命ニシテ議員多数ヲラシメサルモノ、

5. 民選ノ下流ト任命ニヨル立法會議トヲ有スルモノ、

6. 責任内閣制度ヲ有スルモノ、

之ハ各殖民地ノ社会構成上ニ於ケル英人移住者ノ地位ニヨル段階
ヲ示ス

他ノ諸國ニ於テス立法會議若クハ行政會議ニ於テ或ハ任命ニヨリ
或ハ選舉ニヨリテ住民ノ利益ヲ代表セシムル制度ヲ有ス、ソノ諮問
機關タルニ止マルモノ又尙ホ住民ノ希望ヲ詢キ又ソノ不平ノ安全ヲ
トシテ及ヒ將來自治ニ對スル準備的教育トシテ政治上ノ效用アリト
稱セラル、

而シテ殖民地ニ於ケル民意代表ハ機械的ナル人口代表制ニヨラス

各種社会群又ハ社会的利益ヲ代表セシムルカ合理的ナラン、コレハ
殖民地ニ於テハ各社会群ノ融合ニヨリテ統一的社会意識ノ發達セル
状態カ不十分ナレハナリ、即チ何人ハ一ツノ統一の殖民地社会
ノ一員ナル意識ヨリ又其社会ヲ構成セル各社会群ノ一員トシテノ意
識ノ方カ遙ニ有カレハナリ、

任命議員ノ制度、而、民選議員ノ制度、諸向機關、而、協賛機關
之カ殖民地社会群ノ本國社会群ニ対スル政治的設立ノ傾向ナリ、サレ
ト土人ノ社会群ハ直ニ参政權ヲ与ヘラレルモノト解スルヲ得ヌ、蓋
シ土人ト殖民地者トノ対立ハ單ニ經濟關係ニ止ラヌ、更ニ複雑ナル社
会的關係ナリ、且ツソノ文化發達ノ程度又著シク差異アルトキニハ
西方ノ代表者カ共同シテ事ヲ議スルハ極メテ困難ナリ、殊ニ更ニ第
三者タル社会群存在セル場合ニハ向異ハ一層複雑トナル、故ニ本國
人カ少数ナル所ノ殖民地ニ民選議會ノ制度ヲ一報的ニ設ケルハ殆ン
ト不可能ナリ、或ハ土人ニヨリ本國人ノ在自ヲ發起ヤン、及之少数
ナル本國人ノミニ参政權ヲ與ヘルトキハ土人ニ対スル在自ヲ發起ヤン

故ニ斯ル場合ニハ多クハ總督政治カ用ヒラル、

土人ニ干シテハ之ヲ全然土人ノ酋長ノ統治ニ放在スル制度ト殖民地
者トノ共同参政權ヲ與ヘル制度ト全然專制的統治トアリ、第一ノ自
主制度ハ土人社会群ノ歴史的特殊性ヲ與テ極端ナル同化主義ノ弊害
ヲ避ケルモノナルカ殖民地ノ前途又ハ秩序維持ノ上ニ不便ナル政治
府ノ実カ許スニ至レハ之ヲ施行スルコトナシ、

第三ノ從屬制度ハ例ハ *Algerie* ノ軍政地域ニ於ケル
Bureau Arabes ノ如キモノナリ、此ニテ^新專制的掠奪組
織トクト又一概ニ土人ハ臣民ナルニ公認ナラヌ、然ルテ参政權ヲ
有ヤサルモノトセラル、

第二ノ同化主義ハ土人カ殖民地者ヨリ又少数ニテ總カ又兩者カ一ツ
ノ新ナル集團意識ニ融和統一セラルルニ及ビ初メテ有效ニ可能ナ
リ、コノ場合ニ於テノミ殖民地ノ統治ハ全体トシテ自主制度ニ進ム
一ツノ合理的基礎ヲ得ルモノナリ、

自主制度ノ組織ニニマリ、

(1) 財政上ノ自主、殖民地ノ統治ガ本國ノ補助金ヲ要スル限リ完全ナル自治行ハレス。故ニ殖民地ノ経済的繁達ヲソノ一ツノ前提トナレテナリ

(2) 在民カ本國民ト一體ヲナスコトナリ、即チ本國ト自治殖民地トノ連結ハ主トシテ精神的一ナル故本國民ト交通ノ集團意識ヲ有セカルトキハ殖民地ノ自治ハ本國ニ対シテ不利益ナル結果ヲ生セシム

而シテ殖民地ノ統治政策ハ本國ノ不利益ニ於テ定メラルルト云フコトハ期待スルヲ得ナル故ナリ、之レ印度カ *British Empire* 中ニテ *Commonwealth* ト同格ノ重要ナル地位ヲ認メラルルニ拘ハラソノ内政ニ於テ尙本責任内閣制ヲ奉ヘラレサル理由ナリ

殖民地ノ地方制度ニ付キテハ大体上述ノコト準用セラル、又殖民地ニ於ケル自主ハ先ツ地方制度ニテ試ミラレコノ習熟ヲ待テテ殖民地議會ノ開設ニ及フカ自然ノ経路ナラン

要之殖民地ノ統治制度ハ本國ノ政府殖民者及シ土人ノ勢力干渉ニ

ヨリテホセラル、勢力料ニ需キヌハ統治ニ対スル参與ヲ拒絶セラレ、土人ノ経済的、社会的地位ノ進歩ハ殖民者ヲシテソノ政治的参与ヲ欲メシムルコトナリ、而シテ土人社合群ノ有或ハ土人ト殖民者トノ融合ハ殖民地ニ一ツノ政治団体トシテ統一ヲ求ヘルモノナリ而シテ殖民地ノ勢力ノ同化ハ或ハ英國ノ如ク自治ノ方向ニ承継シ成ハルノ如ク本國ノ一部トシテ行政上ノ全体ヲ遵カン

第三節 本國殖民地間ノ連絡

殖民者對土人トノ干渉ハ殖民地統治ノ對内的最大重要ナル事項ナリトスレハ殖民地對本國トノ干渉ハ其ノ對外的最大注意スベキ事項ナリ、之ヲ本國ヨリ見レハ如何ニシテ殖民地ヲ自己ニ結合付クベキカノ問題ナリ、又ニ付テは屬主義ノ政策ハコノ結合ヲ最大度固ニ維持ヤントスル趣旨ナルカ土人社合群ノ優勢ナル殖民地ニ対シテ之ヲ用フレハ反乱ヲ生スルコトニナラン、故ニ殖民地ノ孤立運動ハソノ

ハX
初期ニ於テ武力ヲ以テ高圧的ニ之ヲ征服スルト同時ニ土人ヲ特殊ナル社会群トシテアヌ物ニ存在スル由実ヲ認めラ之ニ対スル兼用ノ挑戦ヲ避ケ或ハ或程度ノ参政權ノ寄与ニヨリテ之ヲ避ケントスルモノナリ、

從民主義ノ統治ハ所云移住者ノ多キ殖民地ニ対シテ行ハル、トキ
又ソノ分離ヲ招クコト大体ノ形向トシテ論ヤラル、
U.S.A.ノ故ニ Lord Durham
立ハ英國ニトリテ深刻ナル經驗アリキ、故ニ Lord Durham
ハ責任内閣制ノ採用ヲ以テ本國ト Canadaノ向ノ連絡ヲ固ナ
ラシムル所ノ唯一ノ手段ナリ、セリ、コノ制度ヲ有スル英國ノ各自
治領土ハ故立ノ國民意識ヲ生ニテ殖民地トシラ將ニ成熟ノ域ニ達セ
ルニ拘ハラヌ、
Surgutノ熟セル果実カ木ヨリ落ツルノ譬ヲ棄切
リテ本國トノ連絡ハ政治上ノ障礙ヲ減シテ一層固高トナレリ、且ツ
コノ統一維持ニ対シテハ本國ノ政府ヨリヌ却ツテ Dominioners
ノ方熱心ナルコトニ注意スヘキナリ、之ハ Dominionersノ國力
カ外國トノ競争上英帝國ノ保護ヲ必要トスルコト一ツノ理由ニシテ

同一ノ民族的意識ノ下ニ於テ郷土ニ対スル信頼ト愛情トノ感情的連
鎖トニヨルモノナラン、

英國ト Dominionトノ連絡ニ最モ重要ナル機干ハ帝國會議ニ
シテ事務ノ連絡ヲ計ルカタメニ殖民者内ニ帝國會議事務局置カル、
其ノ會議ハ一八八七年 Colonial Conferenceノ名ノ下ニ各
殖民地ノ代表者ト本國政府ノ代表者ト會議セルカ初メニシテ一九〇
七年ノ會議ニ於テ Imperial Conferenceノ組織ヲ建立
シ英國ノ首相ヲ議長トシ本國總大臣及各 Dominion
首相並ニ其他ノ大臣ヲ以テ議員トスルコトヲ定メタリ、更ニ一九一
七年ニ印度事務大臣及ヒ印度ヨリノ代表者ヲ其 membersニカハ
ルコトヲ定メタリ、

英本國ノ統一カ Dominionersノ自主權ヲ認メナカフ高木會議ノ
形式ニヨリテ帝國の聯合ヲ發達セシメ所云帝國會議ニヨル所ノ
Londonノ形式ヲ避ケタルカ其特徴ナリ、
殖民地ノ議員ヲ英本國
ノ議會ニ代表セシムル制度ハ Americanノ在意的分離ニ対スル

代表トシテ Adam Smith / 主張セル所ナリ。蓋シ Law of
atom of rent / representation ト云ノルハ、殖民地ノ最
ス不平トセル所ナリシ故ナリ。

然レニコノ制度ハ Dominions / 如ク独立國家トシテノ意識ノ
發達シタルモノニ對シテハ、不可能ナルコト明カナリ、若シ英本國ノ
議會ノ外ニ *Provincial Parliaments* / 設クルトシテ、尚ホ
Home / 内閣ヲ設ケ、*Colonial* / 外閣ヲ設ケ、*Commonwealth* / 自治
Dominions / 議會ニ對シテ責任ヲ有セル首相カ、英本國ノ議會ニ對シテ
責任ヲ有スル本國首相ト合議ヲ用キテ、全帝國の協力を事項ヲ議スレハ
十分ナルニアラヌト云フナリ。

又シ France / へ同化主義ヲトリテ、一七八九年ニ *Saint-Denis*
Anglo / 代表者ヲ國民議會ニ列席セシメタルヲ最初トシ、其ノ後、共和
政ト王政トノ轉換ニ伴ヒテ、度々變遷アリシカ、現今ニ於テハ、殖民地者ノ
諮詢機關タル殖民地最高會議 (*Conseil Supérieur des*
Colonies) / 及、元老院代議院ニ代表者ヲ列セシム、而シテ
Guianette / へ本國殖民地間ノ政治上精神上ノ統一及、各種利益

代表ノ無旨カラセテ、余議シテ少クトス、和歌及、宛附制度ニ于シテハ
議會ノ議決ニ對シテ、殖民地々々大ナル利害ヲ有セルコトヲ挙ク、

仏國流ノ制度ハ、殖民地ト、距離カ近ク本國、交通ノ集團意識ヲ成立
セルトセ、ニミ、換言スレハ、實際上本國ノ一部ト認メラレ得ヘキトキ
ニ、ノミ完全ニ行ハルヘ北海道、右ノ条件ヲ欠クトキニハ、議會政治
ノ運用ヲ妨グルノミナラヌ、殖民地統治ノ特殊性ニ基ク理論的根據ヲ
欠ク、

以上要スルニ、殖民地ト本國トノ結合ニ對シテハ、從屬主義ノ政策ハ
統治ノ初期ニ於テ有效ナルノミナリ、同化主義ニヨルニハ、同化意識
ノ成立ヲ要件トス、内政ニ付キ、自主々義ヲ與メ、結合ヲ期スル所
ノ共同主義ニアリテハ、社会意識カ融合セラルルコトナレハ、有餘的統
一ヲ期スルコトハ困難ナリ、

山本教授ハ朝鮮統治ノ將來ニ于シ、恰々英ノ *Canada* / 等ニ對スル
如ク自治殖民地トシテ、母國西國ノ干渉ヲ阻斷ニ持続セシムルコトヲ
以テ理想トス、文化協同化主義カ政策トシテ不可ナリトシテ、又或ル

程度ニ於ケル文化ノ融合ナケレハ自治ヲ許ス又兩國ノ干渉ハ四萬ニ
持續セラルルコトノ保障ハナシト云ハサルヘカラス。

第十章 土人政策

第一節 社會的生活ニ于スル政策

社會群ノ接触ハ常ニ必スシク土人若クハ悲慘ナル結果ヲ生スルニ
ノニアラサルカ 殖民ノ初期ニ当リテ移住者ノ數ハク土人カ未前ニシ
テ實際的又ハ想像的ノ危險多ク且ツ移住者ノ近視眼的利己心強キト
キハ自ラ土人抑圧ノ政策ニ出ツル傾向アリ。 殖民ハ殖民者ノ利益ヲ
犧牲トスル惡毒事業ナラサル故土人政策ト云ヘト又如何ナル場合ニ
於テ又殖民者ノ利益ヲ無視シテ定メラルルコトナシ又如何ナル程度
如何ナル方法ニヨリテ其ノ利益ヲ權讓スルマニヨリテ土人政策モ其
体裁ヲ異ニスルニスキス。

純屬主義ノ土人政策ノ中テ最モ極端ナルハ絶域政策ナリ。 歐州ニ
ヨリテ廢殺セルコト又其ノ例ニシカラス。 或ハ殺戮ノ代リニ土人ヲ
國外ニ追放シタル例アリ、或ハ *alcohol* ノ輸入土地ノ他生
産手段ノ奪取、病毒ノ伝播、苛酷者ノ金錢上ノ利益又ハ享樂ノ興
節制ナル放任ニヨリ土人カ自滅スルコトニ對シテ何等ノ保護的干渉
ヲ試ミサル場合ハ之レハハクト又或觀的ニ見テ同様ノ絶域政策ト云
フコトモ得ルナリ。

土人絶域政策ノ基礎ト看做スヘキハ次ノ如キ事ナリ。
一、 殖民地ノ社會ニ於テ最モ必要ナル安寧秩序ヲ保障スルコトニ對
シテ反抗的ナル土人社會群ノ存在ハ最モ危險ナル脅威ナリ。 殊ニ
ソレカ文明程度ノ低キ邊陲的ナル野蛮人ナル場合ニ於テ然リ。 故
ニ之ヲ除却スルハ殖民地開發ノ要件ナリ。 少ナクトモ捷徑ナリ。
又、 殖民地ニ於テハ社會群ノ對立干渉ハ特ニ峻嚴ニシテ兩者ノ文明
程度ノ懸隔甚シキレキハ特ニ然リ。 コノ干渉ノ中ニ於テ土人カ絶
滅スルコトハ社會的ノ必然ナリ。

- 3. 劣等民族ノ存在ハ文明ノ進歩ヲ妨ケ秩序ノ血皮ノ存続ハ人類ノ級ノ利益ヲ損ナリト云フ *Engelhardt* 的立場、
- 4. 劣等民族ハ等級階級ノ運命ヲ有ス、之ヲ保護助成セんとスルハ社会進化ノ自然ノ理ニ叛クト云フ論、之等ノ議論ハ一應ハ理アル如ケレト又高木十分ニ駁回ナリト云フコトヲ得ス、
- 1. 土人種族ノ人口減少ハ必スシム帝ニ文明社会群トノ接触ノ必然ナル結果トナラス、多クハ人為的ノ原因ニヨルモノナリ、故ニ保護政策ニヨリテ却ツテ土人ノ人口ヲ増加スルコトヲ得、其实例ニ少カラズ、
- 2. 人類ハ社会進化ノ法則ニ従フト云フ又之ハ自然物カ自然的法則ニ従フ如キ機械的ノ意味ニ於テ然ルモノナラス、法則ノ原因タル事實ノモノニ対シテ影響ヲ及ホシ得ルノミナラス法則ノ進行中ニ於テ又少クト又主観的ニハ意志又ハ感情ノ反抗ヲ伴ヒ得ルモノナリ、而シテ七ヒツアル種族ニ対スル同情ハ人類ノ有ナル感情

- ノ中ヲ最々美ハシキモノノ一ニ屬ス、
- 3. 如何ナル種族カ果シテ絶対的ノ意味ニ於テ劣等ナリヤ、今日劣等ナリト思ハルル種族ニ対シテ又將來進歩的又ハ飛躍的進歩カ期待セラルルコトハナシト断言スルヲ得ルカ、絶滅政策ノ *Engelhardt* 的ノ根據又完全ナラスト云ハサルヘカラス
- 4. 社会群ノ対立ハ必スシテ相対立セサル程度ノ争闘ヲ意味スルモノニアラス、相互扶助ノ精神ヲ以テスレハ相異ナル文明程度ノ社会群ト雖も平和的ニ共存スルコトヲ得ルナリ、対立共存ハ融和ヲ導キ出スコトニ一ツノ社会事實ナリ、
- 5. 土人社会群ノ存在ハ種民地ノ経済的開發ニ必要ナル力ヲ提供スル莫ニ於テ有用ナリ、
- 6. 土人カ非政治的對印的ナル場合ニアリテ又偏狭ノ地ニ隔離シテ種民考ト接觸スルコトイヘレハ之ヲ排斥シテ絶滅スルニ必要ナシト云ハサルヘカラス、絶滅政策ノ *Justiz* ハナルハ土人ノ積極的襲撃アル場合ニ限ル、即チ種民地ノ公安維持ヲ其極限トナス

ハキナリ、
 絶倫政策ハ多クノ場合、殖民者カトリタル政策ニシテ、本国ノ政策カ
 之ヲ公ニ認メタルコトハ少シシ、西、葡、英、トノ初期殖民ノ時代
 ニ於テハ、本国ヨリハ土人ヲ保護ノ訓令カ違エラル、之ハ現実ニ土人
 ト接触セル所ノ殖民者ハ、眼前ノ利益及ヒ危險ノ感覺カ鋭敏ナルニ比
 シテ、遠隔ノ地ニアル本国ノ政府国民ハ人道的考慮ノ餘地ヲ有セルカ
 故ナリ、

而シテ、殖民地ニ於テハ、殖民者ノ社会的生存ノ基礎カ確立セラルル
 トキハ、土人社会群ニ対スル人道的精神ノ發揚セラルル余愈ヲ生シ、又
 殖民地ノ経済的前途ニ最メ必要ナル勞力ノ提供者トシテノ土人ノ生
 存ヲ必要トスルト云フ意識ヲ生ス、殖民者ト土人トハ直ニ社会的ニ
 同等ノ地位ヲ得ルコトハナシトシテハ、兩者カ主従ノ干係ニ於テ共存
 スルコトハ可能ナリ、且ツ有用ナリトセラルルニ至レ、土人ハ殖民
 者ニ対シ勞力ノ提供者トシテ有用ナリ、而シテ勞力ハ服従ニ伴ヒ服従
 ハ制約ニ伴フスナリ、即チ土人ノ生存ヲ殖民者ノ利益ニ従屬セシ

メ其ノ自由ヲ制限シテ勞力ニ服セシム、其極端ナルハ即チ奴隸制度
 ナリ、奴隸政策ハ絶倫政策ヨリ一歩寛ナルノミナリ、奴隸ハ生存ヲ
 許サル、然ス一何ノ財產トシテノ社会的價值ヲ有セルノミナリ、主
 人ハ之ニ対シテ自由ナル処分權ヲ有ス、奴隸ハ何等公民權ヲ有セサ
 ルノミナラス、私法上ノ干係ニ於テハ要求スヘキ何物ヲ有セズ、
 或ハ收益ノ源トシテノ資本的財產トシテ或ハ耕作ニ従事スル家畜ト
 シテ或ハ戰爭ニ使用スル肉體トシテ或ハ主人ノ社会的地位ノ裝飾ト
 シテ利用セラルルノミナリ、
 奴隸ハ法律的ニハ一ツノ物ナリ、然シテ作ラ素ヨリ人間ナル故主人
 トノ間ニ人情的ノ干係發生スル場合多ク且ツ其勞力ノ経済的ノ價值
 カ認識セラルルニ従ヒテ奴隸制度ハ緩和セラレタル形ヲトル、東ア
 フリカノ家族的奴隸制度 *Hauskelanerie*ノ如キハ其一例ナリ
 此ノ制度ニアリテハ奴隸ハ家族ノ一員トシテ之ニ隷屬シ其タメニ終
 生勞役ニ従事スルニ家長ハ之ヲ而買スルコトヲ得ズ、扶養、保護ノ
 義務ヲ有シ先年ニ至リテハ之ニ *Amadendrot* ヲ給フス、

Spain の America に対する Repatriamento

及 *Emancipacion* 制度ハ一定ノ地域ヲ墮民者ニ於テ

ルト云ニ其居住ニ人ヲ保ヤラ之ニ依リテ或ハソノ勞力ヲ提供セ
シメ或ハ一定ノ産物ヲ供給シ命シタルモノニシテ在テ其勞働ナル謀生ヲ
ナシタルカコノ制度ノ精神ハ一ツハ土人ヲ墮民者ノ保護ノ下ニ委託
シテ教化セシムルノ趣旨ナリ。之レ土人ノ存在ニヨリテ得ヘキ經濟
的ノ利益ノ認識ニ人道的保護ノ觀念ヲ加ヘタルモノナリ

之等ノ制度カ土人ヲ其ノ在来ノ居住地ニ於テ半奴隷化シタルニ對
シテ土人ヲ墮民者ヨリ隔離シテ特定ノ区域ニ強制的に集合居住セシ
ムル制度ナリ。墮民者ハ少数ノ保護者ヲ除キテ土人ノ区域ニ立入ル
コトヲ許サズ。土人ハ又此区域ヨリ他ニ移動スルコトヲ得サルナリ
此ノ制度ノ理由トスル所ハ又ノ如シ。

- 1. 土人取締上ノ便宜
- 2. 土地収用ノ目的
- 3. 土人ノ保護、指導

第一、第二、ノ實カ全々墮民者ノ利益ヲ基礎トセルコトハ明カナ
ルカ第三ノ實カ土人ノ存在カ墮民者ノ社会的生存ニトリテ最早脅威
タルノ實カナク次第的弱者タルノ地位ヲ有スルニ至リテ始メテ採用
セラル。場合多キモノニシテ之ヲ自由ニ墮民者ト雜居セシムルトキ
ニハ後者ノ不長分子ニヨリテ在迫セラルル危險多キカ故ニ之ヲ隔離
シテ土人ノ集團的生活ヲ保護シ維持セシメントスルナリ。カナル場
合ニ於テハ其制度ノ實質ハ自主々義ニヨル生存権ノ認定ト云フヨリ
又却テ墮民主義ニ基ク所ノ憤慨的態度ト云フヘキナリ。

土人ノ社会的生存ニ對スル墮民主義的政策ハ其抵抗力ノ程度如何
ニヨリテ之マテ述ハタル如ク絶滅政策ヨリノ *Reservation*

Policy (保護政策) ニ至ルマテノ種々ナル段階ナリ。

其保護政策ノ次第ヲ説クモノニ要スルニ土人カ社会的ニ無勢力ナ
ル場合ナラザレハ *Reservation* ノ云ハルカ如ク土人ハ墮民地ニ
於ケル最良價値ノ大ナル資本ナリト認ハレ改ナリ。自主々義ノ政策
ヲトルモノハ土人ノ社会離力有力ニシテ墮民主義ノ政策ノ対象トナ

スニ並セサル場合其ノ自主的生存ヲ欲スル特別ノ種族的特性ニ基テ
所ノ集團生活ヲ發展セシムルモノニシテ居シ文明程度ノ相異著シキ
トキニハ Segregation System ヲ取リ然ラサルトキニハ同居
制ヲ採ル

前者ハ土人ト殖民者間ノ争執ニ土地所有ニ干スル争ヲ避ケレカ爲
ニ及ヒ殖民者ノ種族的純潔ヲ保ツカタメニ土人区域ト非土人区域ト
ヲ區別スルモノナルカ土人社会障ノ集團的自覚強キトキニハ却テ
其精華ハヲ挑発スル結果ヲ生ス

混居制ハ假令血液ノ混合ヲ見サル場合ニ殖民地ニ於ケル各社会障
ノ間ノ統一の集團意識ノ達成ヲ助フ、其程度並ニ体操ハ各社会障ノ
勢力干渉ノ如何ニヨリテ一概ナラス

同化主義ハ混居制ノ極果ニシテ即チ殖民者ト土人トノ混血政策ナ
リ、混血ノ結果ニ付テハ已ニ若干ノ考察ヲ試ミタリ、人種的ニ近似
シタル種族ノ混血力其結果カ少クトス不良ナラストセラル、而シテ
種族間ノ対立干渉ヲ緩和シ融合セル統一の集團意識ノ發生ヲ促ス哉

マレトス其ノ新ナル集團意識ハ必スシテ本國ニ対シテ從屬的ナラ
ス、且ツ同化力大規模ニ行ハレサレハ種族対立ノ干渉ヲ更ニ複雑ナ
ラシメシニ Caste System 律フトキハ統治ヲ一層困難ナラシム
故ニ同化ヲ一般的ニ強制シ又ハ積極的ニ奨励スルト云フコトハ稀ニ
シテ只種族ニ対スル法律的限制ヲ設ケス、或ハ混血兒ニ対スル法律
的保護ヲ保障シ或ハ相人的ノ模範ヲ与フルニ止マリ一般的ノ政策ト
シテハ自派ニ放任スルコトカ普通ナリ、

然リニ尚ク又何レノ主義ニヨルモ土人ノ社会的生存ヲ認メテ之ヲ
保護セントスルニハ女ノ三ツノ実カ考慮セラル

- 1. 政治的ノ秩序
殖民地ニ於ケル統一の権力ノ樹立ニヨリテ公安ヲ維持シ部落相互
間ノ争闘ヲ終止セシム、武器ノ輸入ヲ禁止スルコトモソノタメニ
採ラレ、政策ナリ、

2. 経済的向來
経済的ノ明察ハ土人社会ニ及ビ見ル所ノ飢饉ヲ根絶セシム、

3. 社会衛生

悪疫ニ対スル防止ハ近世文明ノ一勝利ナリ *Alcohol*ノ輸入ヲ制限シ医療衛生ノ設備ヲヨクシソノ地土地ノ改良ヲトリテ従来ノ不健康地ヲ化シテ人間ノ居住シ得ル地ト變シ地方病ヲ撲滅シテ土人ノ生命ヲ保護シタリ

第二節 社会生活ニ関スル政策

土人ノ社会的生存ヲ以テ全然殖民者ノ利益ニ従属スシムルノ政策ヲ採ルヌノニ対シテハ其ノ社会的生存ニ全然殖民者ノ掠夺ノ対象トシテノミ規律セラルレ何等独立ノ存在及ヒ發展ノ理由ヲ認メラレサルコトハ当然ナリ、然レトモ従属主義ノ政策ヨリシテハ高木生産者及ク消費者トシテノ土人ノ教化ハ植民者ニ経済上ノ利益ヲ齎スヌノ改土人保護教化ノ政策ハ大ナル着眼点ヨリ見ルトヤハ所謂現実的殖民政策ト稱セヌ (*Köbner*) 之カ奴隷制度發生ノ理由ニシテ

同時ニ奴隷ノ待遇ヲ改善シテ遂ニ解放ニマテ到ラシメタル一ツノ理由ナリ、奴隷制度ヲ帝ニ必スシヌ實際ニ於テ社会生活上ノ虐待ヲ意味セヌ、殊ニ家族的奴隷ニ於テ然ルコトハ折衝ニ進ハタリ、故ニソノ急激ナル廢止ハ却テ奴隷自身ノ不利益ナル場合アリ、奴隷ノ解放ハ経済的理由ニ基クテ夫ニ高人道主義ノ一向景トシテ主張セラル

土人ノ社会生活ニ対スル教化的政策ニハ同化主義ト自主々義トアリ、同化主義ハ主トシテ仏國ニ於テ發達セルモノニシテ殖民地ノ社会ニ對シテ其道德ヨリ *Meekie* ノ色ニ至ルマテ本國ト全一ナラシメントスル主義ナリ (*Samuel* *Psychologie de la Colonisation française*) 其ノ心理的ノ基礎ハ主ニ合理主義ノ哲學ト民族文明の帝國主義トニアルヘシ、十八世紀ノ仏國革命ノ哲學ハ八教ニ對シテ人向ハ尽ク理性ノ所有者トシテ根本ニ於テ平等ニシテ同胞ナリトナシ之ニ種族一体ノ人類學說ヲ

取入レテ各種族ノ文化ハ根本ニ於テ一ツナリトシ吾シ理性ヲ以テ臨
 ムハ同一ノ文化カ人類ヲ支配スヘクト云フナリ、而シテ殖民者ハ文
 明民族ニシテ理性ノ最上ノ体得者ナル故ソノ法制、言語等ヲ劣等民
 族ニ及、スゴトハ文化ノ最大使命ナリトシ十六世紀頃ノ殖民者カ宗
 教傳布ノ熱心ヲ得ヘル如ク人道主義ニ基ク文化の伝達ノ精神カ發
 せられたナリ、

然レニ經濟學ニ所云經濟人ナルモノハ一ツノ抽象ナル如ク合理主
 義ノ云フ絕對人又亦實現セサル抽象的概念ニスナリ、
 此種概念ノ概念ニ基キテ現實ノ各種族ヲ一律ニ統治セんとスルハ種族
 一元ナル人類學ノ假定ニ基キテ現實ノ種族對立ノ必應ヲ無視スルニ
 等シキ錯誤ナリ、政策ノ對象ナル各種族ハ歴史の産物ナリ、遺傳
 及ヒ環境ノ異ナルニ依ヒ而シテ高木并ヨ異ニスルニ依ヒテ其時此ニ交
 化ヲ生セルモノナリ、社会的生産及ヒ發展ノ段階ヲ異ニセル凡テノ
 種族ニ對シテ一律ニ集團的ニ急速ニ本國ノ文化ヲ採用セシメントス
 ル同化政策ハ此ノ史的事實ヲ無視セルモノナリ、且ツ遺傳ノ勢力ヲ

監視シテ外界の形勢ニヨリテ容易ニ之ヲ變更シ得ハシト云フ誤ヲ
 含メルト云ヒ得ハシ、

固ヨリ殖民地ニ於ケル社会群ノ存在ハ種族ノ集團的性格ヲ決定ス
 ル一原因ナル環境ヲ變化スルモノナルカ他ノ一原因ナル遺傳ニ就テ
 云ハハ遺傳ハ彼等環境ノ影響ニ對シテ又有效ナリトスルモノレカ社
 會群ノ集團的性格ノ全体ニ作用スルモノニハ極メテ長期日ノ蓄積ヲ
 要ス、本國人ト土人トノ種族的文化的特徴ノ近似セルモノハソノ相
 去ルコト甚シキニ比シテ同化ハ容易ナル筈ナルス然レソノ結果ハ社
 會的進化ノ自然の推移ニ依リテ又ハキスノニテ現行政策トシテハ土人
 カ種族者ノ文化ニ接近シテ之ヲ模倣、採用スルニ對シテ妨ケヲ存セ
 シメサル積極的態度ニ止ルヲ最モ安全ナリ、急速ナル積極的ナル同
 化政策ハ土人ノ社会的生活ノ基礎ヲ破壞シ而シテ之ニ代ルヘキ新シキ
 基礎ハ未ダ確立セズ、月テテ現行化シソノ生活力ヲ枯竭セシメ保護
 教化ノ教旨ヲ達セサルノミナラス、若シ土人社会群ノ相当強固ナル
 社会組織ヲ有セルトキハ却ツテソノ反抗ヲ惹起ス、蓋シ集團意識ニ

基ヲ自負ヲ損スレハナリ、故ニ斯ノ如キ同化政策ハ仮令初人的ニハ
 顕著ナル特例アリトスルニ集團的ニハ失敗ニ級シタルモノトモナレ
 ソノ例士タリシは國ノ如キニ近來次第ニソノ方針ヲ捨テタリ、
 自主々義ノ政策ハ之ニ及シテ土人社会群ノ歴史的存在ノ事實ヲ認
 メテ之ヲソノ固有ノ方向ニ從ヒテ察達セシメントスルモノニシテ同
 化政策ノ劃一的ナルニ對シテ何別のナリ、前者ノ本國中心主義ナル
 ニ比シテ自由放任主義ナリ、サレト無制限ナル自由放任ハ元來殖民
 政策ノ本質ニ及スルモノナル故之レニ對シテ制限力認メラル、

1. 公ノ秩序善良ノ風俗ノ維持

國際聯盟規約第二十二條ニ「及在國ハ公ノ秩序及ヒ善良ノ風俗
 ニ及メサル限リ、良心及ヒ信教ノ自由ヲ許シシ、云々」ト云ヘ
 リ、茲ニ公序善良ト云ヘルハ國ヨリ殖民者ノ道德的意識ヲ標準ト
 メルモノニテ、土人ノ社会的生活ニ於テ当然ナリト認メラル、風
 俗習慣々甚ク殖民者ノ社会的生活ノ根據ニ對シテ脅威的ナルモノ

ノハ之ヲ禁止シ(例ハ、生殖器ノ首飾ノ如シ)反之曰帝ノ衣食住ニ
 干シテハ干渉セサルナリ、

2. 保護、指導

文明程度低キ土人ニ對シテ教育宗教等ノ方法ニテ之ヲ察達セシメン
 トスルハ所云文明ノ神聖ナル使命ナル觀念ヨリ出發スルモノ或ハ又
 殖民者ノ利益ナル觀念ヨリ出發スルモノ或ハ又土人ノ利益ナル
 人自己ノ方向ニ從フ所ノ察達ヲ援助スルコトヲ本則トシ本國ノ文
 化ハ土人ノ任意的習慣的ノ模倣ニヨリテ採用スル所トナラシメン
 トスル莫ニ於テ同化主義ト異ル、

3. 協同

同化主義ハ從屬的保護主義カ單ニ思想的態度ヲ採ルニ及シテ正義
 ノ主義ニ立テルモノナルカ決シテ殖民者ノ利益ヲ犧牲トセんとス
 ルモノナラス、土人ノ社会生活ヲ向上シソノ經濟力ヲ察達セシメ

テエテ自己ノ有カナル協同者トセントスルナリ、然レ自主々義ノ
政策ハ論理上必スシテコノ結果ヲ持来スルニアラズ、殖民者カ
協同政策ヲ以テ文明のナリト誇リテ又土人ハ非協同ノ運動ヲ起ス
コトアリ、Köhnen ハ殖民政策上ノ最大向是ハ白人殖民者ノ
要ホスル現代ノ經濟上法律上ノ制度ト土人ノ旧来ノ社會的觀念及
ト要代トノ間ノ單ナル外的結合ニアラスシテソノ内的融和ニアリ
ト云ハルカ如何ニシテ自主的対立ノ西社會群カ機械的結合ニ止ラ
スシテ内的融合状態ニ達シ得ルマ、如何ニチチ種族ト云フ又征服
者ノ压迫ヲ悉ク忘レテ政治的又ハ經濟的若クハ便利ト交換的ニ其
融和ヲ全然支配者ニ対スル愛情ニ變更セシメントスルコトハ極
メテ難事ナリ、ソノ可能性ハ只完全ナル融合的集團意識ノ發生ヲ
俟テテ始メテ存在ス、

同化力最メ自然的ニ長期ニ亘リテ行ハレ而シテ土人政策一般カ
最メ非從屬的ニ最メ自己ヲ空シクシテ行ハルルトキニ西社會群ハ
融和協同ノ有機的干渉ニ入ル可能性ヲ有スルモノナリ、之ヲ客觀

一〇六

的ニ見レハ西社會群ノ集團的特性カ近キ程之ヲ主觀的ニ見レハ政
策カ誠実ナル愛ニ立脚セル程此融和協同ハ容易ナリ、

對土人文化政策ノ内容ハ法制、習慣、教育、言語、宗教等ノ諸
方面ヲ有ス、而シテ之等ノ諸事ニ干スル土人社會ノ実情ヲ調査ス
ルコトハ政策實施ニ必要ナル前提ナリ、

土人ノ法律上ノ地位ニ干シテハ之ヲ本國人ト同一ニ見ス、本
國法ノ當然ナル支配ヲ受ケス、本國臣民ノ権利義務ヲ有セサル
モノト認メラル、

Spain = 然テハ Charles T. トキニ土人ハ永久の未成年者
トシテ有效ナル法律的行動ヲナスノ能力ヲ甚シク制限セリ、斯
ノ如ク土人ニ對スル法律的干渉ハ土人ノ社會的生活ヲ保護ス
ル趣旨ヨリ出テシモノ、濫用ハ反テ甚シキ压迫ノ原因トナレリ、
且ツ土人ノ土地所有權相繼及其ノ他ノ家族的法律ニ對スル絶對
不干渉ハ殖民地ノ經濟的開發ト兩立セサル場合アル故ニ或ル範
圍ニ於ケル本國法ノ適用ハ避クヘカラサルモノトセラレ居ルナ

一〇七

裁判制度又土人相互間、事件ニハ、曰精ニ促ハシムヘク、殖民者ト土人ノ事、洋ニ付キテハ本國法ヲ適用スルニ依ルヘク、混合裁判例ヲ可トス、而シテ公平ナル裁判ハ、版化及ビ或ハ法典ノ編纂ト共ニ本國法ノ普及ニ有效ナリ、

2. 土人ノ日常生活ニ于テスル習慣ハ、特ニ自然的模倣ノ方針ヲ取リテ政策ニヨル一環的テ殊ヲ避クルマウニ注意スヘキナリ、

3. 殖民政策ノ一ツノ重要ナル部分ハ土人ノ教育ナルカ、教育ノ内容方法ニウキテハ土人ノ社会的要求ヲ為シサル同化主義ノ教育ハ、版化殖民地ニ於ケル下級官吏ノ養成上便利アルニ依リ、教育ノノ効果ハ不良ニシテ知識的及道德的ニ中途半端ノ教育(

half-education)トナリ云ハハ、長途遠行ノ責任感ナキ又ノニ権利思想ヲ故ハ新道德ヲ未ダ受入レサル者ニ對シテ其ノ旧道德ヲ破壞スルモノナリ、
Macaulay カ印度總督ナリシトキ試ミタル英語ニヨル英文

学教育ハ教育ソノスノノ、效果ニ於テ上述ノ失敗アリシノミナラズ、印度人ノ感情ヲ英國ノタメニ有利ナラシメントスル高率政策ニ於テ又全然失敗ニ候セリ、土人教育ハ土人ノ集團的性格ニ適合シ且ツ經濟的発展ノ基礎ナル技術教育職業教育ヲ先トスルカ合目的ナリ

4. 本國言語ノ普及ハ統治上便利ニシテ且ツ西社会群ノ有力ナル連綿ノ一ツノ手段タル莫ニ於テハ極メテ便宜アルモノナリ、カ言語ノ普及ヲ以テ直チニ *social character* 同化融合トナスハ大ナル早断ナリ、

言語ハ社会生活ノ一ツノ形式ニスキナル故リノ變更ハ直チニ社会群ノ意識ヲ變更スルモノニアラス、土人ノ言語又其の存在ナル故ニカ使用ヲ抑圧スヘキニアラス、ソノ社会的努力力優劣ナルトキハ本國ノ言葉ト同等ノ待遇ヲ認メラルヘキナリ、
Bothe's Arrange 自由國ノ和蘭語、英語ノ採用ヲ余曩シテフ言葉ニ于シテ社会ノ完成ニ及テ却テ却テ過鋭ナル故相互ニ地ノ

言語ヲ尊重スヘキナリ、若シ此道政策ヲ適ケテ建設政策ヲトリ
 相互ノ言語ヲ平等ノ地位ニオケル希望ニ充テタル新國民トナリ
 テ生長シ過去ノ苦ナキハ消滅セシムルニ如ク社会群同
 ナル千條ハ相互ノ友愛ノ精神ハ民族の統一ノ感覺ニ基クヌノ
 ニテ言語ノ不統一ナトハ之ニ比スレハ細末ノ点ニスキヌ、之レ
 ヲ制限統一セントスルハ反リテ社会生活ノ不統一ヲ来スヌノナ
 リ、

分、宗教ハ又社会生活ノ重要ナル一方面ニテ實質的意義ニ於テ
 土人政策中極メテ重要ノ地位ヲ有ス、如何ナル未開種族ニ於テ
 或程度ノ宗教的生活アリ、況ンヤ發展セル宗教ヲ有スル土人ニ
 於テテ根本ニ一般の國家政策的ニソノ宗教生活ヲ無視シ之ニ干
 渉シ或ハ自己ノ宗教ヲ以テ同化セシムル試ムル如キハ社会群ノ敏
 感性ヲ刺戟シ反テ融和ヲ妨ク、

宗教又ハ宗教伝道ハ國家又ハ國家政策トテ係深キニ候ベシノ
 因進ハ益々大ナリ、即チ民族の宗教ハ世界の宗教ニ比シテ他種

族ニ對スル伝道ニ適セヌ、又伝道カ國家政策トシテ利用セラレ
 而シテ他方ニ於テ同時ニ經濟上社会上ノ圧迫加ヘラレルトキハ
 反リテ土人ノ心ヲ失フ所ノ原因トナルモノナリ、

宗教ノ本質ハソノ社会的制度又ハ社会的組織ニアラスシテ靈
 魂ニ於ケル個人的幸福ナリ、而シテ靈魂ニ於ケル覺醒カ文明ニ
 對スル渴望ヲ意味スレ場合多シ、單ナル文明ノ伝道カ及ヌシヌ
 被伝道者ノ心服ヲ得サルコトハ顯著ナル事實ナリ、若シ社会群
 間ニ於ケル内的融合カ土人政策ノ目的ニアリトスレハソレハ經
 済的共存ノ利益又ハ文化事業ニ存スルヨリ又愛ニヨル所ノ精神
 的結合ノ外ニナカラン、之レ國家的現世的利益ノ觀念ヲ离レタ
 ル宗教伝道ノ效果カ土人政策上最メ根本的永続的ナル效果ヲ收
 ムル所以ナリ、

第十一章 労働政策

殖民地ニ於ケル労働政策ノ特徴ハニツテリ
 一ハ労働需要カ供給ヨリ決定的ニ大ナル故ナリ、殖民地ニアリテハ
 未開ニシテ之カ需要ニ多クノ労働ヲ要スルニ拘ラヌ移民者ノ数ハ少
 ク且ツ土人ハ近世的意味ニ於ケル労働ノ習慣ヲ有セズ、従ツテ労働
 ノ供給不充足ナル故ナリ、
 殖民地ニ対スル労働ノ供給ハ一ハ殖民地ニ既存セル土人労働ノ利
 用及ヒソノ殖民地ヨリ流出ヲ防止スルコト、一ハ本国及ヒ外国ヨリ
 労働ヲ輸入スルコトニヨリテ得ラル、之等カ重商主義国家政策トヨ
 ク似ルハ殖民地経済ノ特質ヨリ見テ首肯セラルルコトナリ、
 殖民地労働政策ノ第一ノ特徴ハ労働条件カ單ニ経済的ニ規律セラ
 ルルノミナラス、人種關係ニヨリテ甚シク特色ヲ有スルニ存ス、
 土人労働ノ利用ハ單純ナル經濟上產物條件ナラスシテ限リ社会辭ノ

應制ニヨルコト多シ、若シ外國ヨリ労働ヲ輸入スレハ殖民地ノ人種
 的構成ヲ更ニ複雑トナスニヨリテ社会的影響甚ク大ナリ、之レ使用
 主及ヒ労働者カ社会的ニ見テ同一集團ニ屬スル所ノ同國ニ於テ多ク
 見ナル所ナリ、

1. 土人労働ノ利用

土人カ未開ナルトキ殖民者ノ社会ト經濟的要素ト一ニセズ、彼等
 ノ労働ハ單ニ空腹ヲ充スヲ以テ満足スルノ程度ニスキス、此ノ
 心ナハ、的文明狀態ニアル土人ノ労働ヲ資本的經濟ニ利用スルニハ
 單ナル經濟的誘因ニテハ足ラス、又自由契約ノ原則ニ立ツテ得
 ス、故ニ征服者ノ権利ニ基キ直接ニ労働ヲ強制スルカ或ハ土人ノ
 經濟的生活ノ根柢ヲ奪ヒテ同接ニ労働ヲテカシムルカニアリ、女
 隷制度ノ經濟的意義ハ労働ノ供給ニアリキ、職役制度 (council)
 ハ奴隷制度ナラサルモノノ實際カ労働ノ直接強制ニアル莫ハ全一
 ナリ、即チコノ制度ニヨレハ奴隷ヲシテ早々一定ノ期間政府ノ事

素又ハ政府特別保護ヲ受クル民間企業者ノタメニ多クハ無償ヲ以テ努力ヲ提供セシメラルルナリ、

之等ノ直接強制ノ制度ノ外ニ種々向接ノ手段ニテ土人ノ労働力ヲ抑制セラル、或ハ課税ニヨリ或ハ移民人ノ取締ニヨリ或ハ土地ノノ他土人ノ經濟的生存ノ基礎ノ収用ニヨリ或ハ前借金ノ制度ニヨリ土人ヲシテ生計維持ノタメニ労働スルヲ余儀ナクセシメタリ、又或自由契約ナル私法上ノ原則ニ依ラズソノ違反ニ対シテハ損害賠償ノ義務ニ止ラス、刑法上ノ懲罰ヲ課セルコトアリ、ソノ侵害ノ方法ハ罰金、禁錮ノ外ニ強制的労働力主ナルモノナリキ、土人ニ対スル雇傭契約ノ締結ハ政府ノ監督ニ限スル場合ソノ労働監督官ハ適民者ニ対シテ労働保護ノ任ニ當ルタルトハ時ニ使用主ノ請亦ニヨリテ義務ヲ怠レル労働者ヲ処分スルノ权限ヲ有セリ、土人ハ適民者ノ要求スル程度ニ於テ労働ノ必要ヲ意味セ解々又従ツラ之ヲ自然ニ放任セハ自ラ労働スルノ傾向ハナシ、而シテ

Reservation System (保苗制度) ニヨル教育ニヨリテ

土人労働ノ平和的提供ヲ俟ツコトハ急迫ナル殖民地開發ノ利益ヲ期待スル適民者ノ肯セサル所ナリ、故ニ強制労働ノ必要ヲ適民者ノタメニ弁護スルハ可ナリ、或ハ之ヲ以テ一般的人類及ヒ文明ノ利益ノタメニ望マシキ結果ヲ生ストナスコトハ議論トシテ一応允スナルコトナラシ、然レトモ之ヲ土人ノ利益ノタメニ弁護シ之ニ勤勉ナル習慣ヲ得セシメ其ノ社會的發達ニ必要ナルモノト主張スルハ果シテ認めラルヘキコトナルカ、

「教育及ヒ模範ニヨリテ新ナル經濟的欲望ヲ生セシメ之ヲ充たスルタメニ自發的ニ生産的労働ニ駆迫スルコトニヨリテ原始的文明状態ヲ脱スルニ至ラシムルコトハ、後令ソノ政策カ労働力供給ト云フ莫ニ於テ適民者ノ利益ノタメニ奨唱セラルルカ、土人ノ利益ナリト弁護マルコトヲ得ンレ、

然ルニ「強制制度ハ未開人ノ社會的發達ノ必要ナル段階ニシテ徵象セラレタル労働者軍ハトハ、昔ノハラツクノ中ニテ凡ニル感覺ヲ通シテ文明ノ教訓ヲ受クルモノナリト云フコトハ、全ク由論

ナリト云ハサルヘカラス、経済的利害千係ノ結合ハ社会群ノ統一
的集團化ヲ助ケルモノナリト云フ如キ物ニ於ケル結合ハ資本主義
経済組織ニ於ケル勞資対立ノ千係ヲ人種対立千係ノ競合ノ故ニ一
層互迫的ナラシムルモノニシテ如何ナル意味ニ於テ又土人文明化
ノ利益ヲ之ニ附スルコトヲ得ス、

2. 外国ヨリノ勞力ノ供給

*America*ノ殖民地ニ於テ *negro*ノ輸入ハ *Las Casas*
カ *Guiana Indians*ノ酷使ヲ防フカタメニ主張セルニ
始マル、而シテ *negro*カ奴隷的勞力ノ供給者トシテ最モ適着
ナルコトハ人ノ知ル所ナリ、其理由ハ
(1) 土人ニ対シテハ土地ノ旧主トシテソノ社会的經濟的生活ノ破
壞ニ対スレ同情アリ且ツ一方ニ於テハソノ反抗ヲ恐レ、故ルニ
*negro*ハ專ラ勞力ノ供給者トシテ經濟的ニ輸入セラレ殖民地
ニ於テハ一ツノ有機的ナル社会組織ヲ構成セヌ、

(2) 土人ハ絶滅政策或ハ強制労働ノ結果人口ハ減少シ益々増加ス
ル殖民地ノ勞力ノ需要ヲ充ニ足ラス

(3) *Slave Trade*ノ利益即チ *negro*ハ殖民地ニ於ケル
労働者トシテノシナラス貿易ノ目的物トシテ又船舶ノ積荷トシ
テノ經濟財貨ナリト云フコト

而シテ *Africa*内地ニ於ケル *negro*ノ捕獲ハ象牙ノ採取ト
又ニ商人ノ二大目的トセラル、土人部落ノ荒廢ニ於テ奴隷ノ輸送
ニ於テ更ノ慘酷ナルコト言語ニ絶シ人ヲシテ奴隷制度ハ奴隷売買
ニ比シテ人道的弊害ノ少ナキヲ覺ハシム、
奴隷労働ハ自由労働ニ比シテ生産力劣リ監督費ヲ多ク要スルカ
故ニ經濟的ニ不利益ナルコトカ一般ニ認メラル、然シテ新シキ
土地ノ生産力カ増ル大ナルニ拘ラヌ自由労働者ノ供給力乏シキ箇
民地ニ於テハ經濟上最モ重要ナルニトハ勞力ノ供給ナリ、殊ニ砂
糖、煙草、珈琲、如キ熱帯農業或ハ山身ハ運搬ノ如キハ熱帯ヲ要セ
サル單純ナル作業ニシテ而カヌ一時ニ多數ノ労働者ヲ使用シ監督

スルニトテ必要トスル所ノ大規模ノ産業ニシテ云ハ、工場的经营ニ此スヘキモノナリ、況ンモ労働者及ヒ土地ノ生産力ノ短期間ノ稼働力許サレレニ於テハ而シテソノ生産物ヲ輸出向キニシテ或範圃ニ於ケル独占便格ヲ維持スレニ於テハ奴隷労働ハ又又シテ経済的ニ不利益ナラス、殖民地ニ於テ未開地ノ在スル限り若シ経済上ノ理由ニノミ放任セハ奴隷制度ハ止ハコトナカリシイラン、

奴隷制度廢止ノ結果ヲ見レニ未開地少ク人口ノ稠密ナル地方ニ於テハ勞力ノ供給ヲ保ニテラ不利ナル影響ヲ見サリシカ肥沃ナル未開地ノ本々殖民地ニ於テハ奴隷ハ解放ト共ニ之等ノ未開地ニ咲レテ自己ノ経済的欲求ニ従フ簡易の孤立生活ニ入りタルモノ故ニ殖民地者ハ如何ニシテ勞力ノ不足ヲ補ヒ労働ノ騰貴ヲ抑制スヘキカニ付テ吾心ヤサレテ得カリキ、ソノ、

第一、ハ解放マラルヘキ奴隷ニ對シ直接又ハ間接ニ労働ノ繼續ヲ強制スルコトニアリキ

第二、黒人ノバリニ吾カヲ輸入セリ、

吾カノ主ナル供給地ハ印度及支那ナリ、之等ノ地ニ於テ吾カヲ募集スルニハ其政府ノ許可ヲ要シ且ソ移民ノ輸送及ヒ労働ニ付テ輸入税ノ政府ハ保護監督ノ義務ヲ有シ輸出国ノ政府ハソノ権利アリトセラル、吾カハ契約爲了ト共ニ無料ニテ飯食ルカ燃料飯坑板ヲ当保シ、契約ヲ更新スルカ或ハソノ権利ヲ放棄スルコトニヨリテ自由滞在ノ板ヲ得ルモノトセラル、

苦力制度ハ労働ノ強制及ヒ虐待ヲ伴ハカル点ニ於テ奴隷制度ト異ルモノノ経済的効用ハ之ト全ク異植殖民地ニ於ケル生産ノ繼續ヲ可能ナラシム、而シテ其ノ継続的ニ有利ナルコト又コノ範圍ニ止マル、吾カ勞力ノ主ナル效用ハムシロ一時多数ノ勞力ノ需要ヲ満足スル莫ニアリ

然ルニ殖民地ニ於テ自國民ニヨル労働ノ供給力盡トナルニ従テラ若カノ輸入ハ低廉ナル勞力ノ競争ヲ意味スルモノナリ、且ソ異種族社会群ノ殖民地ニ於ケル一時の滞在ハ衛生、風紀ノ莫ニ於テ其ノ繼續的滞在ハ政治的干渉ニ於テ殖民地者ノ社会ニ是政ヲ表ス、

若カハ自ラ資本ヲ有セスソノ社会的地位又自然ニ劣等ナルニ
 ナリ故ニ経済上及ヒ教育上一定ノ資格ヲ有セシメ外國移民ノ自由渡
 航ハ苦力ヨリ大歓迎セラル。然レトモ殖民地社会ノ發達ニ促シテ
 低廉ナル賃銀労働者ノ入国ヲ喜ハス、殊ニ競争的競争力ヲ意味ス
 ル移入社会群ノ人種的純化カ甚シク隔絶スルトキハ更ニ排斥ノ衆
 因トナルコトハ苦力制度ノ場合ト云シ、之ヲ以テ見テ又殖民地ニ
 於テル外國労働ノ資格カ單ニ經濟向愚ニ於ラサルコトヲ知ルヘキ
 ナリ、

3、自国ヨリノ労働供給

殖民地移住ハ少クトモソノ發達ノ初期ニ於テハ冒險的の事業ナル故
 ニ要ナル労働ノ供給ハ強制的ナルヲ免レザリキ、コノ目的ノタメニ
 自国民中ヨリ強制的移住ノ対象トナリタル又ハ犯罪人ナリキ、犯
 罪人ハ強制的移住ハ殖民地ニ對スル労働供給ノ外、本國ニ對シテハ社
 会的危險分子ヲ速サケ犯罪人自身ニ對シテハ刑期ノ満了ト共ニ健全

ナル新生活ヲ初ムル機会ヲ与フル又ノテリト云フ刑事政策ノ理由
 ニヨリテ主張セラレタリ、之等ノ犯罪人ハ政府ノタメニ殖民地開
 墾ノ基礎的の事業タル土木工事ナトニ使用セラレ又ハ殖民地開
 テラレテ労働ヲ強制セラレタリ、労働ノ不足ナル殖民地ノ初期ノ
 時代ニ於テハ犯罪人労働ス亦經濟的ニ便宜アリキ、然レトモ殖民
 地社会ノ發達ト共ニ本國ノ避ケントスル社会的危險分子ハ又之ヲ
 歓迎スル所ナラス、且ツ自由労働者ノ渡航ヲ妨ノ、又本國ニトリ
 テ又財政上ノ負担大ナル故ニ制度ハ漸次実行セラレサルニ至レ
 リ、

犯罪人輸送ト相並ヒテ行ハレタル方法ニ *indentured Labour*
 ノ制度アリ、之ハ契約ニヨリテ使用主カ渡航費ヲ支弁スル代價ト
 シテ一定年期ノ間労働ノ義務ヲ負担スル契約労働ノ制度ナリ、而
 シテ船長カ渡航費ヲ支弁シタル又ハ竟賣ニヨリテ殖民者ニ売ラ
 レタリ、コノ制度ノ濫用ハ *Slave Trade* ノ弊害トスル所ナリ
 ヒシカ故ニ早ク十七世紀末(一六八六)ニ禁止セラレタリ、

★ Wakefield System (Systematic Colonization
South Australian System) ト云フハ殖民地ノ土地

ノ代金ヲ以テ移民ノ旅費ニ充ツルコト及ビ殖民地ニ於テ資本トシテ
働トノ割合ヲ一定ニ維持スルコトヲ要ス。蓋シ殖民地ニ於テ
土地ノ墾殖ハ廉價トシテ買入ルハ容易ニ土地ノ所有
者トナリ人口ハ増進シ而シテ労働ノ不足ニヨリテ富ノ増進ヲ妨
礙的ノ弊達ヲ害スルナラン。故ニ土地ノ本下ハ相当高價トナシ
移住者ハ数年間労働セサレハ土地ノ所有者タルヲ得サラシメ而シ
テソノ本下代金ハ全部移民ノ旅費ニ当ツヘシト云フナリ。之レハ
資本的生産組織ノ存セサレ殖民地ニ對シテ人為的ニ之ヲ輸入シ賃
銀労働者ノ継続的且ツ規則正シキ供給ヲ社会的ニ強制セんとスル
モノニ外ナラザルナリ。故ニコノ制度ハ土地ノ生産力カ外國市場
ニ對スル輸出品ノ生産ニ特ニ有利ナル自然の條件ヲ伴フモノ即
チ大資本ノ下ニ多數労働者ノ集中の必要ヲ必要トスル資本的企業
ニアリテハ經濟上有效ニ利用セラルルモノナラン云々等ノ土地ノ

自然の條件並ニ市場ヲ欠ク殖民地ハ若干ノ資本ヲ有スル設立ノ小
企業家ノ移住ニ適シ之ニ對シテ土地ノ高價本下ノ制度又ハ賃銀勞
働者狀態ノ嚴制の維持ヲ計ルコトハ反テ經濟的の促進ニ有害ナリト
セサルヘカラス。

本國労働者ノ移住ハ殖民地ノ社会的構成ニ於テ最モ有利ナリ度
航費ノ補助、土地本下ノ便利ナトニヨリテ本國ノ移民ヲ奨励スル
モノ甚シク大規模ニアラサル限リハ有效ナル結果ヲ收ムルナラ
ン、高木本國ヨリノ移民ニ就テ左ノ點ヲ注意セラレタシ、
一、成年男子ノ移住ハ富ノ蓄積ニ有利ナル又社会生活ニ於テハ不
利ナリ。之ハ犯罪移民、苦力等ノ半強制的移民ニ付テ特ニ見ル
所ノ弊害ナリ。故ニ婦人ノ移住ヲ奨励セサルヘカラス
二、本國民ノ移住ニ成ルヘク自發的ナル力健全ナリ、而シテ學界
研究所、博覽會ナトノ設備ニヨリテ殖民地事情ノ正当ナル瞭解
ニ努ムヘキナリ、

了、殖民地ハ假令本国ヨリノ移民ナルハ不適当ナルモノ又ハ不良
ナルモノハハ歓迎セサルコトハ当然ナリ、

第十二章 土地ニ関スル政策

殖民地ニ於ケル土地問題ノ特色ハ第一ニハ之レモ本殖民者ト土人
トノ対立ナリ、先末土人カ殖民地ニ於ケル土地ノ先有者ナリシ故少
クトモ或範圍ニ於テ殖民者カ土人ヨリ土地ノ所有權ヲ獲得スルコト
ハ殖民活動ノ重要ナル一ツノ前提ナリ、而モ土人ハ殖民者ト社会生
活及ヒ経済生活ノ組織ヲ異ニセル故土地ノ所有權ヲ失フコトハ殖民
者ニ對シテ経済的ニ從屬的トナルノミナラス莫クモ地域カラ全然遠去
スルコトヲ余儀ナクセラルハコトナリ、
殖民地ニ於ケル土地問題ノ第二ノ特色ハ土人カ無力ニシテ又ハ少數
ニシテ、又未開地ノ面積力多キニヨリテ殖民者ノ政府力莫ク必分シ
得ハキ土地ヲ或大ニ一括的ニ所有シテノ從來ノ經驗ニ依ヒテ土地ノ
処分ニ對シテ意識的干渉ヲナス余地極メテ大ナリト云フ莫ナリ、
殖民地ニ於ケル土地政策ハ土地ノ獲得、所有權ノ保護、土地ノ研

下及ヒ土地ノ開拓ノ四兵ニ分テ速ヘン
ノ、土地所有權ノ獲得

殖民地方征服ニヨリテ生シタル場合はハ從來土人ノ固有地ナリシ
モノハ殖民國ノ固有地トセラル、無主地ハ固有トナスコトハ又近代
國家ノ原則ナリ、然レトモ無主地ノ觀念ハ殖民者ト土人トニ於テハ
必スシテ一致セズ、土人ノ經濟生活ノ領域ヲ定着シテラヌシテ自然
物ノ採集、放牧若クハ地域的循環農業ニ從事スルトキハソノ經濟生
活ノ懸礙タル地域ノ範圍ハ或ハ巨ソ漫然トス、ソノ現在利用セザル
事實ヲ以テ無主地トナスハ其ノ社會的適合ニ及ヌ況ンマ土
人カ所有權ヲ獲得シテ証明スルコトヲ得ザル土地ハ其ラ無主地ナリ
ト看做スニ於テハ土地所有權ノ觀念ノ明確ナラザル土人ハ殖民者ノ
滿足スル程度ニ於テ之ヲ証明スルコトヲ得ズ、法の觀念ヲ要ニスル
社會群ニヨル無主地固有ノ原則ハ土人ニトリテハ不該ナル漫然タル
ノ事實存ス、
土人ノ土地所有權ハ又売買契約ニヨリ移轉セラル、然レトモ此ノ

コノ契約ノ當事者ハ村等ナル能力者ナラズ、故ニ強制或ハ詐術の手
段ニヨリテ締結セラル、コト屢々アリ、其ノ契約條件ハ *Real Purchase*
made by force ニシテ實質ハ或ハ是トラサル場合アルナリ、
ニ干渉シテ或ハ監督ノ許可ヲ必要トナシ、或ハ使用目的ヲ制限シ、
或ハ全然之ヲ禁止セリ、而シテ等ノ制限ハ土人ノ土地所有權ヲ全然
殖民者ノ側ニ移轉セシメサルト云フ趣旨ナラズ私有地買上ノ権利ヲ
政府ニ独占的ニ留保スルノミナリ、其ノ理由ハ新課トシテノ土地私
下代金又ハ土地分配ノ政策上、或ハ特別ナル國家目的ニ使用セント
スヲニ基クナリ、

売買契約ニヨル土地所有權ノ移轉ハ土人カ社會的進化ノ如何ナル
階段ニ在ルカニヨリテ其ノ態様ヲ異ニス、部落ノ土地共有制カ弱メ
ラル、場合ニ於テ土人ノ經濟生活力定着シテラザルトキニ於テハ固
體的ニ部落共有ノ土地全体カ売買セラレ得ルナリ、定着シタル土人
部落ノ共有ニ於テハ先ツ之ヲ分割シテ近代社會ノ觀念ニ基ケル所

ノ完全ナル処分権ヲ伴フ仙別的私存財産制ヲ確立スルヲ前提トナス
此ノ變化ハ徐々ニ行ハレナレハ土人ノ社会組織ヲ崩壊セシメ其ノ經
済生活ノ基礎ヲ奪フモノナリ、
土人ノ殖民者トシテク私存財産制ノ下ニ在ルトキハ土人保護ニヨル
トコロノ若干ノ制限ヲ加ヘルノ外、土地ノ売買ハ自由ニ放任セラレ
土人ノ社会進歩ニ伴ヒテ殖民者ヨリ土地ヲ買取ストイフ現象ヲモ
生ス、

(四) 土地所有権ノ保護

土地ニ対スル権利ヲ依テ整理シテ所有権ヲ確保スルコトハ存ニ強
民地ノ如キ複雜ナル社会ニ於テ各社会群ノ利益ヲ保護シ且ツ社会經
済ノ発達ニ重要ナル手段ナリ、故ニ完全ナル土地調査ヲ實施スルハ
トハ曰價調査ト相俟テ殖民ノ必要ナル準備的事業ノ一ナリ、

土人ノ土地所有権ヲ保護スルニハ之ヲ殖民者ノ法制ニ依テ保護
セントスル内化主義ト、土人固有ノ法制ニ依テ保護セントスル自
主主義ノ政策トナリ、後者ハ土人ノ所有地ト殖民者ノ所有地與在也

ルトキハ到底其ノ目的ヲ達シ難キ故土人ノ居住地域ヲ隔離シ其ノ土
地ニ付テハ全然旧慣ニヨリテ土地ノ所有権ヲ保護シ、殖民者ハコノ
地域ニテハ土地ヲ購入、賃借シ得ス、土人ハ又殖民者ノ地域ニテ購
入賃借ヲナスヲ得ストスルナリ、

此ノ制度ハ土人ノ経済生活力ヲ殖民者ト著シク懸隔ヲ異ニセルトキ兩
者ノ経済生活ノタメニ特殊ナル地域ヲ確保スルノ利益ヲ伴フモノナ
ルカ、土地開発ノ進捗ニ伴ヒ隔離地ノ外在ハ殖民者ニトリテ是レキ
活動ノ妨トナリ土人ニ對シテハ压迫ヲ意味シ來ル故隔離地ハ次第ニ
與地ニ移サレテ消滅スルカ自然ノ傾向ナリ、

Township System (Rie Koster's System)

殖民地ノ土地権利關係ヲ確保シ合時ニ土人ニ對スル内化主義的ノ妨
害ヲ得セシメタルモノナリ、此レハ一種ノ不動産登記法ナリ、当事
者ノ請求ニヨリテ調査委員實地ヲ測量シ土地ニ干スル権利ヲ依テ
調査シタル上公告シ、一定ノ期間公告ニ對シテ異議ノ申立ナキトキ
ハソノ所有権ハ過去及ヒ將來ニ對シテ確立シ此ノ土地ニ對スル他ノ

一切ノ権利主張ヲ排除ス、而シテ此ノ土地ニ付スル権利干渉ハ將來
 所有者ノ如何ヲ問ハズ本國法ノ支配ヲ受クルモノトセラル、土人モ
 自ラソノ土地ヲ登記シ或ハ登記シタル地ニ譲リ受クルトキハ本國
 法ノ支配ノ下ニ歸シタルモノナリ、而シテ此ノ土人又ハ其國法ニ
 ヲリテ私利干渉ノ不明ニ東シテ同一ノ土地力重振シテ何回モ売却サ
 レ或ハ全然存在セサル土地スラ売却サル、不確定ノ状態ヨリ保護セ
 ラル、

(3)、土地ノ拂下

政府カ土人ヨリ徵收シタル国有地ヲ取下クルニ當リテハ如何ナル
 方法ニヨリ、如何ナル面積ニ付キ、如何ナル代償ヲ以テ取下クルカ
 ト云フ問題ヲ含ム、土人ノ社会群ハ此ノ場合ニハ直接干渉スルトコ
 ロナシ、

A、取下ケノ代償ニ付テハ無償、有償ニツノ方法アリ

有償ナル場合ニハ高価、高価ノ區別アリ、土地ノ無償取下ノ利益
 ハ一時ニ多數ノ強民者ヲ吸引シ且ツ後住者ハ其ノ資本ノ全部ヲ土地

ノ利用ニ投シ得ルコトニアルカ資力ノ乏シキ移民ヲ渡來セシメ又ハ
 投機ヲ奨励スル不利益アリ、

有償廉価取下ハ此ノ利益ヲ多ク害セスシテ不利益ヲ避ケ健全ナル地
 立内業者ノ移住ニ最モ適スルモノナリ

取下価格ヲ高価ナラシムル *Market field of Argentina* ノ如

キハ土地用墾及ヒ交通等ノ準備的費用ヲ多ク要セサルモノニシテ且
 ツ自然的条件力劣カノ集中的取用ヲ有利トスル地産ニ適スルモノニ
 對シテノミ此ノ趣旨ハ有効ニ実行サルモノナリ

B、土地取下ノ方法ハ競売ニヨルモノト均一価格ニヨルモノトノ
 ニツアリ

後者ノ場合ハ無償取下ニ於ケルトムシク取下ハ条件ノ累モヨキ土
 地ヨリ始マリテ一般開墾ノ進ムニ伴ヒ劣等ナル土地反ヒハ最モヨク土
 地用取ニ利益ナリ、然レトモ劣等地方良地ニ在スルトキハ強民
 地全体トシテノ用取ヲ妨ク、競売法ニテハ劣等地方ハ低廉ニ取下ケラ
 ル、故此ノ弊害ヲ除キ且ツ自然的条件ニヨル土地ノ強民的地格ノ利

益ハ均一価格制ニヨルトキ最初ノ購入者ニ歸スルニ及シテ之レヲ政
府ニ収メルノ利益アリ

C、採下地ノ面積ノ最小限ヲ低クスルコトハ小農階級ノ定着ニ有
利ナリ、米國ノ *Homestead Act* ノ制度ハ之レト廉価採下主義ト結
合シテ土地政策上成功ヲ収メタル著シキ例ナリ

大面積採下主義ハ土地ノ開墾ヲ妨ケ投資ヲ奨励シ且ツ殖民地ノ經
済的發展ニ伴ヒ土地分配ノ不平等ヲ惹起セシメ、殖民活動ノ初期ニ於
テ所云有力者ニ対スル大面積採下ハ無償採下ト結合シテ行ハルハト
キ最モ殖民地全体ノ利益ヲ害ス、故ニ採下面積ノ最高限ヲ制限シ土
地開墾ノ經濟上必要アル場合ニ限リテ特ニ之ヲ超ユルコトヲ禁ムハ
キノミ、鐵道施設ニ対スル奨励及ヒ産業ノ性質上大面積ヲ要スル場
合等之レナリ、

土地ノ独占的所有ヲ防ギ中小農ノ土地所有ヲ確保スルタメニハ採
下ニ當リテ租米利加ノ家産制又ハ独占ノ内地殖民的方面ニヨリテ經
済的独立ノ要件タルニ足ル面積ノ土地所有ヲ容易ニシ、且ツ之ニ對

スル処分權ヲ制限ス、既ニ土地独占ヲ生シタル場合ニテハ *New*

Zealand ノ如ク土地所有ニ對スル緊進意ヲ謀シ或ハ公用徵收
ニヨリテ土地分配ノ不平等ヲ矯正ス

D、土地ノ採下ニ関シテハ代価ノ方法、面積十トヨリモ實ニ原本
的ナル向題アリ、即チ土地ヲ採下クハキヤ否ヤノ點ナリ、公有地ヲ
採下ケテ土地ノ私有制ヲ立ツルハ利己心ニ訴ヘテ殖民地開拓ヲ進捗
セシメントスル趣旨ニ他ナラス、故ニ向題ハ土地私有制ノ価値如何
ノ困難ナル點ニ歸ス、

利己心ハ經濟活動ノ少クトモ一ツノ有力ナル基礎ナリ、何等自己
ニ經濟的利益ヲ獲得スル希望ナキトキハ經濟行為行ハレズ殊ニ未開
ナル殖民地ノ開墾ノ際ニハ最著ナル利益滿足ノ機會ヲ与ヘサレハ移
住者ヲ招ク能ハス而シテ土地ハ至極生活ノ基礎ニシテ以テ社會ノ一般
的發展ニ伴ヒテ自然ニ不勞所得ヲ増加スルモノ故之ノ採下ハ殖民地ノ
開墾ニ最モ合目的ナル誘因タリトナスノ根拠ニ基キテ土地ノ採下ハ
亦獲セラル、

然ルニ土地力不勞所得ヲ齎ラズ具ノ事實力古キ国ニ於テ土地私有制ヲ攻撃スル論概トナレリ、私有財産制ニ基ク土地分配ノ不平等ハ貧困ノ唯一ノ原因ニアラサルモ多ク、社会的貧窮力コレニ原因スルハ事實ナリ、而シテ殖民地ニ於テモ早晚同一ノ現象ヲ繰返ハサルトスルナラハ始メカラ土地ノ私有制ヲ認メ入分取ノ問題ヲ片付クヘキニアラサルカ、然ラハ問題ハ公有地ノ松下ヲナサズシテ殖民地ノ開墾ヲ因リ得ルヤト云フコトニナル、

抑々土地ノ分配ハ所有ニ干渉スルコトナリ、土地ノ開拓ハ利用スルコトニ関係ス、單純ナル土地ノ私有者ニ於テ不勞所得ヲ得セシムルノミニシテ殖民地ノ開墾ニ不利益ナルハ土地ノ松下ヲ実行スルニ当リテモ投機ノ弊ヲ防クニ苦心シ定住開拓ヲ以テ所有者取得ニ対スル停止條件若クハ解除條件トナスヲ見テモ明ナリ

所有者ヲ認メサル土地ノ利用ト云フコトノミヲ以テハ殖民地ノ開拓ヲ刺戟スルコトハ不可成ナルカ、殖民地ノ土地ハ概木墾闢ナル処ニ於テ故公一ノ資本及ヒ労働ノ投下ニヨリ多クノ報酬ヲ得ルコト

ヲ得、又殖民地ニ於テハ利潤モ労働モ高キ故、ソレ等ノコトカ投機開拓ヲ奨励スルニハ反ラサルカ不勞所得ニヨル投機的利益ノ誘因ナクモ土地ノ開拓ハ可能ニシテ且ツ其ノ誘因ナキ方健全ナル経済社会ノ發展ヲ可成ナラシムルニ非サルカトイフハ疑問ナリ

土地ノ公有制ハ殖民地ニ於ケル一大財源タル所ノ土地松下代金ヲ失フトモ非難ニ対シテハ地代ヲ政府ノ収入ニ歸セシムルトイフコトヲ以テ対抗スルコトヲ得ハシ *Henry George* ノ土地国有論ハ土地ノ私有ヲ認メツ、地代ノ国有ヲ主張シタルモノナリ、此ハカ膠州灣ニテ実施シタル土地増加税ハ此ノ趣旨ニ基ケルモノニシテ云ハハ私有制ト公有制トノ妥協案ナリ

又、土地ノ開拓

殖民地ニ於ケル当面ノ問題トシテハ土地ノ分配ヨリモ如何ニシテ土地ヲ生産的ナラシムヘキカノ方重要ナリ、之ヲ投機売買ノ目的物タラシメスシテ現実ノ改革ヲ計ルヘキナリ、所云不在大地主 (*Absentee*) ハ土地獲得ヲ容易ニシテ且ツ現在未開地ナルモ將來社

金の発展の期待をラブル、殖民地ニ於テ最も養生シ易シ故ニ定住開拓
ハ土地ノ扱下、先買权 (Preemption) 家産制 (Mortgages -
Lease) ナトニ於テ交通ノ條件トセラル

殖民地ハ新シキ社会ナル故開拓ハ一定ノ政策ノ下ニ計画的ニ指導
スルコトヲ得、最も代表的、計画的殖民ノ案ハ France 二故テ
Algerie 二行ハレタ、即チ一定ノ計画ノ下ニ先ツ村落ヲ設計
シ各村落ニ牧場、学校、教会等ヲ設備シ然ル後殖民ヲ送付シテ最
初カラ本国的ノ社会生活ヲナスヲ得セシメントセルモノナリ、斯ル
計画カ費用ヲ多ク要シテ快慰ニ帰セルコトハ輕ムニ定ラザルモノ
大体ノ土地利用計画ヲ定メ公益事業ノ々々ニ土地ヲ留保シ或ハ交通
系統ヲ定メ或ハ都会ノ予定地ヲ指定シ既ニ居住者カ集中セントスル
ニ至レハ完全ナル都市計画ヲ実施スルナトハ四国ニ於ケル經驗ヲ以
テ殖民地ノ社会生活ヲ始メヨリヨク導カントスル所以ナリ

第十三章 經濟政策

殖民地經濟政策ノ中ニテ労働反ヒ土地ニ関スル問題ハ前二章ニテ
之ヲ述ヘタリ、其ノ他ノ問題モ本殖民地カ弱シキ地域ナルコト、
土人社会群ノ存在セルコト、ノニツノ基礎的事実ニヨリテ特色カケ
ラル、

先ツ金融ニ付テ見ルニ所ニ移住殖民地ニ於ケル孤立ノ及企業家モ
投資殖民地ニ於ケル大企業家モ各々ノ目的ニ必要ナル資本ハ通常
之ヲ殖民地以外ヨリ供給セラレサルヘカラス、何トナレハ殖民地ハ
經濟的永遠勿往ニシテ資本ノ蓄積反シキ故ナリ、而、此ノ資本ニ対
スル需要ト相俟チラ殖民地投資ノ危険ハ金利ヲ高クス、而モ殖民地
ノ事情ニ対スル無智反不安ハ国民一般ノ投資ニ対シテ誘因カ乏シク
他方ニ於テハ殖民地ニ於ケル高利貸ノ跋扈ヲ來ス、故ニ適當ナル金
融政策ハ殖民地開發ニ付テ又重要ナル意義ヲ有ス

殖民地金融ノ中央銀行トシテ特殊ナル殖民地中央銀行ヲ設クルハ
 各國ノ実行セルトコトナリ、蓋シ殖民地ノ特殊ナル経済ノ需要ニ応
 シ及テ信用ヲ調査スルニハ本国ノ中央銀行トハ別ニ殖民地ニ對スル
 特殊中央銀行ノ設立ヲ合理トナス、但シソノ活動ノ地域ハ或スシ
 モ其ノ殖民地ニ限ラス付近ノ殖民地又ハ外國ニモ支店ノ開設ヲ認メ
 ルトトハ殖民地ヲシテソノ範圍ニ於テ世界經濟ノ中ニ地位ヲ示シ得
 ル所以ニシテ其ノ經濟的發展ノ上ニ有利ナリ

殖民地ノ金融ニ付テ特ニ注意スルハキハ農業信用反ヒ土人ニ對スル
 金融ナリ、前者ハ土地ヲ担保トスルモノト單ニ收穫物ヲ担保トシテ
 肥料又ハ労働ノ支払ニ充當スルキ短期間ノ資金ヲ貸付クルモノトア
 リ、土人ニ對スル金融ハ從屬主義政策ノ犧牲トナルトキニハ負債償
 還ノタメニ或ハ土地ヲ奪ハレ或ハ労働ノ提供ヲ強制セラル、故ニ信
 用アル銀行系統ノ普及ニヨリテ地方金融ヲ圓ルヘキナリ

殖民地事業ニ對シテハ特ニ小額ノ投資ヲ奨励スヘシ、コレニヨリ
 テ資金ヲ吸収スルノミナラス、殖民地ヲ国民一般ノ愛國心ニ連結セ

Henry - Beauclerc

シムルノ利益アリト主張スル者アリ、然レトモ殖民地事業ノ危険性ハ少クトモ其ノ初期ニ於テハ中流以下
 ノ階級ノ投資ニ適セズ且ツ事業力失敗スレハ却ツテ殖民地ヲ冷却セ
 シム故ニ移民ニ對スルトムシク殖民地事業ノ始メヲ以テ民間資本ノ
 自發的吸収ヲ計ルヘキナリ、

殖民地ハ又當然ニハ本国ノ貨幣制度上合一ノ地域ヲナサズ、土人
 カ從來使用シ來レル通貨ハ或ニ之ヲ廢止スルコトヲ得ズ、國家又ハ
 特殊社会力特殊ノ通貨ヲ鑄造スルコトアリ、殖民地ノ中央銀行ハ其
 ノ地域ニ對シテ債券銀行ナルコト通常ナリ、然レトモ殖民地ト本國
 トノ經濟的交通ノ發達ニ伴ヒム一ノ貨幣地域トナルニ至ラン、言語
 ノ普及力社会の勢力ニ於ケルカ如ク貨幣制度ノ普及ハ經濟の勢力ノ
 地域的伸長ヲ意味ス、而、印度ニ於ケル金為替本位制ノ採用ハ土人
 社会群ノ經濟的要求ト對本國經濟交通ノ必要トシテ調和ナリ、

殖民地ニ於ケル企業ノ經營ニ付テハ半官半民ノ投資ニヨリ或ハ國
 家ノ特別ノ保護ヲ受クル特殊会社組織セラル、コト多シ、此モ亦地

氏地ノ新地或タル特性ニ基クモノニシテ其ノ最大ノ歴史的特定ハ變
易其ノ他ノ産業上ノ独占ナリ、
保護会社ハ殖民地ノ初期ニ於テ資本ト組織トノ力ニヨリテ経済的
興ヲ促スモノナルカニテ、特許ヲ得ルハ勿論、然ラサル場合モ
独占業ノ弊害ヲ伴フモノナル故ニ殖民地ノ發達ニ於テ漸次ソノ時
撤回セラル、傾向アリ、

殖民地開發ノ基礎タル準備的企業(主トシテ土木工事)ハ殊ニソ
レカ殖民地ノ統治ト密接ナル干渉アル場合ニ於テハ政府ノ保護ノ下
ニ或ハ政府自ラ之レカ建設、經營ニ當ル道路、鉄道、水道、灌漑、
埋土等之レナリ、蓋シ交通發達ノ整備ハ経済的ニハ殖民地ノ物産ノ
搬出ヲ容易ナラシメ且ツ多クノ運搬労働者ヲ節約スルニヨリテ労働
ノ快楽ヲ豊富ナラシムル利益アリ、而テ政治的ニ之ヲ曰ハハ行政能力
ノ徹底反ビ確立ヲ助ク、
灌漑事業ハ不毛、地ヲ化シテ生産地タラシムル效用ノ顯著ナルコト
ハ言フヲ俟タズ、之ハ人類ニヨル自然征服ノ王冠ナラン、而モ之等

土木事業ハ未開ノ殖民地ニ於テハ殊ニ個人企業ニ適セ又國家自ラ
其ノ事業ヲ負担スルノ外ナシ、カノ殖民地ニ對スル犯罪人送付モ之
ニヨリテ困難ナル準備的企業ニ當ラシムルヲ一ツノ目的トナセルナ
リ、

殖民地ノ企業組織ニ付テ更ニ一言スハキハ土地政策ト相俟テテ振
立中小企業家ノ地位ヲ鞏固ニシ或ハ労働者ノ生産組合ニヨル団体的
企業組織ヲ試ミル意ナリ、之亦旧國ニ於ケル組織及技術ノ全驗ニ基
キ新地ニ於ケル経済生活發達ノ初期ニ於テ計画的ニ設計シ指導シ
得ル所ナリ、

殖民地ニ於ケル産業ノ種類及ヒ規模ヲ決定スル才一ノ要件ハ固ヨ
リソノ固有ノ自然的社会的條件ナリ、然レトモ本國ノ行政政策カ
如何ナル主義ニ基クカニヨリテ又其ノ趣ヲ異ニス、從爾主義的政策
ノ模範ハ即チ重商主義ナリ、此世殖民地ノ初期ニ於テ各國ノ殖民地全
體政策、此ノ主義ニヨリシコトハ Mercantile System カ
Colonial System ノ名ヲ以テ稱セラレタルニモ知ルヲ得

Porte Colonial の要項ノ如シ

1. 植民地産物ノ本国以外ニ対スル輸出ノ制限、例ハ、英國ニ於テハ、植民地ノ産物中加糖、煙草、藍 (*Indigo*) 等ノ特産品及ヒ *Wool* (毛) *Tea* (茶) トハ海軍用品、銃鉄、皮革等ノ工業原料品ハ、品名ヲ列挙シテ專ラ本国ニシテ輸出スルコトヲ認メラレ、而シテ列挙品モ一七六六年以來 *Cape of Good Hope* 以南ノ歐洲諸港ニ対シテハ、輸出ヲ認メラレタリ

2. 植民地産物ノ本国、ノ輸入保護
外國又ハ外國植民地産ノ砂糖、煙草、銃鉄等ノ輸入ニ対シテ禁止的課税、本国ニ於ケル煙草製造ノ禁止、植民地ヨリノ造船材料輸出ニ対スル獎勵金等ニヨリテ、本國市場ニヨリテ植民地産物ニ保護的待遇ヲ与ヘタリ

3. 外國品ノ植民地ヘノ輸入制限
外國品ハ、本國ノ港ヨリスルニテラカレハ之ヲ植民地ニ輸入スルヲ得ス、但シ英國ニ於テハ一七六三年迄遠大ナル戻税ノ制度アリ、

リキ

4. 本國植民地間ノ貿易ハ本國船ニ対シテノミ認メラル、之カ航路條例ノ中心点ニシテ、植民地貿易カ特定ノ会社、特定ノ貿易港、特定船舶等ノ独占ヲ廢シテ、内的自由ヲ得シガ、尙又國際的ニハ排他的独占ノ主義ニヨルヲ承スモノナリ

5. 植民地ニ於ケル工業ノ制限
植民地ヨリノ精製砂糖ノ輸入ニ対シテ禁止的課税ヲナシ、植民地ニ於テ製鉄業ヲ禁シ一本ノ釘モ一担ノ馬蹄モ之ヲ本國ヨリ輸入スヘキモノトセラル、帽子其ノ他ノ洋毛品ノ植民地ニ於ケル各州相互間ノ通商ヲ允セリ、之レハ植民地ヨリノ原料品輸入ノ奨励ト相俟テ本國工業家及ヒ航海業者ノ利益ノタメノ規定ナリ

Porte Colonial の趣旨トスルところハ、次ノ二点ニ歸ス
A. 植民地貿易ハ原則トシテ本國ノ独占トス
B. 原則トシテ植民地ハ本國工業ニ対スル原料ノ供給地ニシテ且ツ本國工業品ニ対スル市場タルヘシ

此ノ政策ハ殖民地發達ノ初期ニ於テハ必ズ其ノ不利益ナラザルコトハ既ニ Adam Smith ノ論ニシテコトナリ、即チ所云列強國ハ本國ニ於テ全ク生産セズ又ハ不充分ニ生産セラル、モノナル故本國ニ於テ之ニ対スル十分ナル市場アリ而 *World market related commodities* (非列強國) ハ穀物、家畜、英米等重要ナル殖民地物産ヲ包含セル故輸出ノ制限ニヨリテ殖民地ノ受ケタル実害ハ漸ク大ナラザリキ、又工業制限ニ付シテモ殖民地ノ初期ニ於テハ土地ノ耕作力未モ生産的ニテ工業ニ対シテハ遠達ノ経済的條件ヲ欠ケルカ故ニ大シタル苦痛ナカリキ、況ンヤ外國品ノ課税又ハ獎勵金ノ制度ニヨリテ殖民地ノ物産ハ本國ノ市場ニ於テ保護的待遇ヲ与ヘラレシニ於テ不ヤ、

斯ノ如ク本國ト殖民地トノ自然的社会的条件カ色々特殊ノ生産ニ適スルトキ兩者ノ経済關係ハ相互補助的ナルモ殖民地ニ対シテ不利益ナラザル事實ハ此ノ政策ノ本國ヨリ見テ從屬主義ナルヲ否定スルモノナラス、否十從屬主義的ナルカ故ニ強ヒテ相互補助的

生産ヲナサシメントスルナリ、

茲ニ於テ輸出的荷重ノ強制的ニ作成ハ工業的限ノ策ニ出ツルナリ故ニ本國反ヒ殖民地ノ生産条件カ自然的又ハ社会的ニ接近スル場合ニ於テハコノ政策ハ殖民地ノ疲弊又ハ反動ナシニハ存続セザルナリ故ニ英國ニ於テ一八四九年材不保護関税ノ撤廃ヲ以テ宣明主義的政策ハ終リ *Canada* ニ対スル責任内閣ノ賦与ト共ニ関税自由ノ原則ヲ *Panama* ニ譲リ、之ニヨリテ *Panama* 國ハ收入目的外ニ保護的関税ニヨリテ自己ノ産業ヲ其ノ好ムトニヨリテ發達セシムル自由ヲ得タリ

本國ニ於テモ一八六一年以来自主的関税収ヲ殖民地ニ認ム、然ルニ佛ノ殖民地ニテハ其ノ結果本國ノ不利益ナル政策ヲ採ルニ至リシ故一八九二年ニ内地的殖民地ト非内地的殖民地トヲ分ケ、後者ニ対シテハ殖民地ノ輸入税ハ特別ノ税率ニヨリ本國ハノ輸入税ハ外國品ニ採ルニ取扱フモ特別ヲ設ケ或品目ニ就テハ特惠的ノ取扱ヲナス、

前者ハ本国ト同一関税ニ納メテ輸入ニシテ輸入ニシテハ非本
国ニ於ケルト△額ノ課税ヲナシ本國品ノ輸入ニ於テハ無税トス
又殖民地品ノ本國へノ輸入ハ國庫收入上ノ理由ニヨル僅少ノ例外
ノホカ無税トセラル

殖民地ノ巨商カ本國ヨリ遠隔ニテ又其ノ各府の条件カ本國品ニ
対スル有利ナル市場ヲ形成セサルトキ近隣地方トノ貿易ヲ制限シ
テ殖民地ヲ強制シ本國品ノ市場トシテ留保セン、スル莫ニ於テ
内化主義政策ノ弊害ハ極マル、コレハ昔ノ *Protect Colonialist*
ト一步ノ差アルノミ

英國ノ *Dominions* ハ之ニ及シテソノ干渉自主取ヲ本國ノ
利益ノタメニ行使シ *Canada* 先ツ率先シテ本國品ニ對スル特
惠関税ヲ定メタリ、而一八九四年以來毎回ノ帝國會議ニ於テ帝國
内相互の特惠関税ノ案カ *Dominions* ノ側ヨリ提出サレシモ
英本國ハ *Chamberlain* ノ熱心ナル帝國関税内盟アリシニ
係ラス伝統的ナル自由貿易政策ヲ固執セリ、

然ルニ世戰大戦ノ刺激ニヨツテ帝國各部ハ他ノ部分ノ生産及ニ製
造殊ニ原料區ノ供給ニ對シ特惠的ノ待遇及ニ便宜ヲ圖ル方針カ一
九一七年及ヒ一九一八年ノ帝國議會會議ニテ定メラル、遂ニ英本
國ニ於テ *British Empire* ヨリ輸出サレ、且ツ帝國內
ニ於テ長成シ生産サレ球ハ製造サレタル茶、*cocoa* 砂糖、
煙草等ノ貨物ニ對シ特惠関税率ヲ定メラル、
亦較ノ帝國會議及ニ帝國經濟會議ニ於テモ関税及ニ原料區供給同
類ノ議論ノ一中心ヲナセルナリ、カクテ今々通信交通發達ノ速化
統一ト夫ニ関稅收増ハ英帝國ノ經濟的健全ノ重要因數タルニ思
リ、

獨乙カ其ノ殖民地ニ對シテ完全ナレトシ主々義ノ関稅政策ヲトリ
各殖民地ハ夫々各独立ノ関稅地域ヲナシ本國ヨリ見レハ関稅上外
國ニテ何等ノ特惠関稅ヲ認メラレス、本國ハ第三國トノ通商條約
ハ当然ニハ殖民地ニ及ハサルモノトセル理由ハ棉花等ノ供給地ト
シテ殖民地ノ將來ニ着眼セルニ拘ラス尙本全体トシテ殖民地貿易

ハ極メテ小額ニテ之ニ対シ特惠関稅ヲ課スルニヨリテ英國カム保
ノ特惠関稅制度ヲ其ノ殖民地トノ間ニ制定スルニ対スル口實ヲ与
ヘ独心ノ外國貿易全体ノ不利益ヲ招カサントスル根本主義ニ基
ケルモノナリ、

我國ニ於テハ関稅法及ヒ関稅定率法カ殖民地ニ対シテモ實施セ
ラル、即チ殖民地ト内地トハ同一関稅地域ヲナスモ朝鮮ニ対シテ
ハ特別カ議メラル

イ、橋運用ノ種子、林産、製鉄ニ必要ナル材料品、吾皇、鐵城等ハ
輸入稅ヲ免除ス、コレハ朝鮮ニ於ケルコレヲ産業保護ノ趣旨ニヨ
ルモノナリ

ロ、後入酒精及ヒ酒精含有飲料ニ対シテハ輸入稅ヲ課ス、但シ輸入
稅額ヨリ高率ナルヲ得ス、又輸入稅ヲ課スラレサルモノハ無稅ト
ス、之ハ朝鮮財政ノ收入上ノ理由ニ基ク

リ、朝鮮ヨリノ移出物品中ニテ移出先ニテ内國稅ヲ課スル物品及ヒ
朝鮮ニテ移出先ニ於ケル輸入稅ノ稅率ヨリ低キ稅率ニヨリテ移入

稅ヲ課ス、又ハ朝鮮ニ於テノミ輸入稅ヲ免除シ若クハ無稅トナシタ
ル物品ニ対シテハ其稅額ヲ課ス之ニヨリテ稅率低キ移入品ニヨル
内地市場ノ圧迫ヲ避ケントスル趣旨ナリ

世界經濟ノ進歩ニ從ヒテ殖民地貿易及ヒ殖民地企業ハ外國ニ對シ
テモ解放サレシメ國際間ノ國家對立ナル現狀維持セラル、限リ地
民地ヲ所有スル國力之ニ對スル經濟政策ヲ自己ノ有利ニ或ハタク
トモ自己ト其内之ニ定メントスルハ当然ナリ

終リニ對シテ土人産業政策ニ付キ一言セシムニ、土人直帝未タ幼稚ナル
産業狀態ニアル故ニ殖民地者ニヨル近代の企業ノ經營、輸入ハ紙等ニ
トリテハ電毛産業革命カ外部ヨリ一時ニ押ツケラレタル如キ脅威
ナラン、故ニ極端ナル保護主義ニヨラサル限り、大農ニ對シ小農
ヲ保護シ工場工業ニ對シテ工業ヲ保護スル如ク殖民地者ニ對シテ土人
ノ産業ヲ保護シテ其ノ發展ナル改革ヲ防止シ技術及ヒ組織ノ訓練
ニヨリテ漸次ニ近代の企業ノ經營ニ習熟セシメラル

第十四章 殖民政策ノ理想

異進速ハ来リシトコロニヨリテ殖民及ヒ殖民政策ニ因シテ之ニ三ノ概括ヲナスコトヲ得ヘシ

1. 経済的兩弊ノ余地アル新シキ土地ノ地球上ニ存在スル限リ殖民ハ行ハル、ナラン

2. 殖民ノ進場反々懸殊ヲ成スル社会的原因ハ社会群対立ノ因係ナリ

3. 殖民政策ハ社会群対立關係ノ統一化ヲ期ス

社会群ノ経済生活ノ逐變ハソノ経済活動ノ範圍大ナルニ依ヒテ強固ナリ、之レ地方経済カ統一セラレテ国民経済カ發達シタル所以ナリ、而モ経済ノ進歩ニ伴ヒ国民經濟モ本國家領土内ニノミテ其ノ基礎ヲオクハ不安ナル故殖民ニヨリテ其ノ活動ノ範圍ヲ擴張ス、而モ殖民地ヲ包含スル国民経済モ本國ニ自體孤立的ナルヲ得ス、世界經濟ノ

發達ハ年ト共ニ顯著ナル趨勢ナリ、蓋シ地球ノ各部分ハ氣候、地味、資源等自然的条件ニヨリ各々特殊ナル生産ヲ可成若クハ有利ナラシムルカ故ニ世界経済カ一ツノ經濟組織ノ下ニ統一セラレ、コトニヨリテ始メテ地球上ニ於ケル全人類ノ至極生活ハ異毛強固ナル基礎ヲ得ラルヘキモノト云フヘキナリ、

殖民ハ苟モ、至極的兩弊ノ余地アル地球上ノ各部分ニ於テテ力及ヒ資本ヲ投シ、之ヲ世界經濟ノ範圍ニ導キ入ル、モハナリ、故ニ殖民ハ理想ハ地球上各部分ノ剩餘トニシテ至極的利用ニマリ、世界全體ニ亘ル統一的經濟ノ組織ニマリ、之ニヨリテ生産ノ種類及ヒ數量ハ地球上ニテ得ラルヘキ最大限ニ達ス、

完全ナル世界經濟ノ成立ニハ是ノ二見ノ条件ヲ要ス、

1. 土地ノ完全ナル利用

人類ハ土地ヲ盡シテ生活スルコトヲ得ス、土地ハ人類ニ居住ノ場所ヲ与フルノミナラス其ノ生活必要品ヲ供給スルモノナリ、智知スル人口ヲ小面積ニテ支持スルカタメニハ工業ノ發達カ有利ナル

コトハ近々至濟ノ不ストコロナルカ、コレハ工業ノ生産力生活資料ノ購買力ノ大ナルト多数人口ノ密集の從業ヲ其ノ要件トナスニトニヨルモノニシテ工業ソレ自身ハ何等第一次の生活資料ヲ産出セス工業生産ノ前提トシテ原料品及ヒ牧業若シテ食物ヲ生産スル農林産業ヲ必要トス、而シテ産業ノ本質ハ土地ノ利用ニアルモノナリ、人口密度ノ增加カ空間的ニ人口居住ノ余地ヲキ造ニ迫スハシトモフコトハ一ツノ空想ニスキサルトハ時ニ人口ノ支持力農林産業ニヨラス例ハハ專ラ空想ノ分析ニヨリテ行ハル、ニ至ルハシトモフコトモ一ツノ空想ノ如ク思ハル、

土地ノ利用ハ自然の障害ノタメニ制限セラル、然ルニ人口モ或程度ニ於テ此ノ障害ヲ征服スルコトヲ得ルナリ、例ハハ灌溉、森林等ノ如キナリ、人類ノ文明ハ自然ノ征服ニアリトイフコトヲ得、荒野ト潤ノナキ国トハ柴ミ、砂漠ハ喜ヒテ *Robbman*、花ノ如クニ咲キ輝キ、盛ニ咲キ輝キヲ喜ヒ且ツ歌ヒ *Rekmanom*、栄ヲ得、カルメン及ヒサロンノ美シキヲ得シト云フコトハ近頃來策ノ經濟

の理想ナリ、之ニヨリテ *Dikemene* 即チ人類居住ニ適スル地塊ハ全地球ニ拡張セラルヘキナリ

名、労働及ヒ貨幣移動ノ自由
地球ニ各地域カ人類ノ居住ニ適スル如ク開闢セラレテモ其ノ相互間ニ於ケル至濟交通ノ自由カ完全ナラサレハ統一的世界經濟ハ成立セズ、一地方ニ過剰ナル労働力及ヒ資本カ他ノ地方ニ移動スルコトカ制限サレ、一地方ニ於テ生産スル原料品カ他地方ノ利用ニ供セラレサルトキ換言スレハ世界的交通及ヒ分業カ完全ニ行ハレサルトキハ資本主義ノ至濟組織モ社会主義ノ至濟組織モ世界のナルコトヲ得ス、而シテ世界的ナラサレハ何レノ至濟組織モ完全ナル効用ヲ發揮スルコトヲ得ス、新渡辺博士カ *Henry George* ノ土地国有論ヲ擴張シテ世界土地共有論ヲ暗示シ、社民最終ノ目的、即チ地球ノ人化ト人類ノ最高發展トヲ實現スルニハ少クトモ土地ニ執ラハ世界社会主義ノ實現ヲ要スハシトナセルハコレニヨルモノナリ、(法政、三一、一、一、植民ノ最終目的)

又国際聯盟ノ委任統治ノ條項ニ於テ、委任國ハ委任統治地域ニ對シ
他ノ聯盟國ノ通商貿易ニ對シ均等ナル機會ヲ確保スルコトヲ要スト
定メタルハ聯盟ニ加入セザル國ニ對シテ差別のナルヲ免レサルモソ
ノ理想トスルトニロハ門戶開放主義ニヨリ世界各埠ノ實地ヲ圖ルニ
アリタルニヨルモノナラン

然ルニ世界土地共有又ハ住民^地ノ門戶開放、機會均等ノ主義ハ現實
ニハ社會群對立關係ニ於テ甚々シキ困難ヲ受ク、交通進歩ニ依リ經
済其ノ他ノ人類社會生活力漸次國際的世界的ニナリ來レルカ尙不固
民、民族、種族、等ノ社會群ノ世間的統一力成立セザル故也。經濟
ノ實現セラレザルナリ、而シテ殖民政策ハ^{民族}、^{種族}、^{自治}、^{何レ}
ノ主義ニヨルモノモ其ノ終極目的トスルトコロハ社會群ノ統一ニ
アリ、

從屬主義ノ政策ハ即チ帝國主義ナリ、即チソノ政治的ナルハ自己
社會群ノ統治的力ヲ以テ其ノ文化的ナルモノハ自己文化ノ最高性
ヲ以テ、其ノ種族的ナルハ自己ノ支配的血液ヲ以テ殖民地其ノ他世

界一般ノ他ノ社會群ヲ自己ノ傘下ニ統一セントスル力其ノ理想ナリ
從屬主義政策ノ理想トスル所ニハ論理的ナルモノアルニ指テ入其ノ
實行ハ世界ノ平和的發展ニ有害ナルコトカ示サレ

内化主義ノ政策ハ世界各社會群ノ血液又ハ文化ノ融合ヲ以テ其ノ
理想トス、從屬主義ニヨル統一力最良のナルニ此シテコレハ實際的
ナリ故ニ若シ實現スレハ最モ強固ナル統一の社會タルヘキナリ、而
シテソノ最モ有力ナル論據ハ種族ノ正別ハ根本的對的ニアラヌ凡
テ環境ノ結果ナリト云フナリ、然レトモ種族ハ固定的ニ非ス凡テ人
種族ハ相互的ニ混血スル可能性ヲ有スト云フコトハ世界ハ全然一
種族ニヨツテ居住セラルヘシト云フコトヲ証明スルモノナラス、
地球上ノ各部分力均一ナル自然條件ニオカレザル限り各地方ニ分
任スル人類ノ集團ハ異リタル自然的環境ノ下ニ異リタル種族的特徴
ヲ帯フヘキナリ、内化主義ノ理想ノ論據ハ論理上夫レ自体ノ中ニ及
對ノ結論ヲ含メルモノト云フヘキナリ、
自主主義ハ社會群力其ノ居住地ヲ異ニスルニ依リテ生スル種族

の輝燦ヲ誘メ内時ニ各種族間ノ根本的優劣ヲ否定シ各社会群ハ各々
ソノ在史的ニ決定セラレタル方向ニ發展シ而シテ相互間ノ内ヲ以
テ入社会ノ世界の統一ヲ図ルトイフカ其ノ理想ナリ。

自主々義ニヨル独立社会群相互間ニ於ケル結合ニ関シテハ僅々ノ
主張アリ、階級闘争説ハ各国民ニ於テ階級闘争ニヨリ無産階級力政
权ヲ握リ社会主義的國家力實現スレハ之レニヨリテ國際競争ハ終ル
ナラン、何トナレハ萬國ノ *Proletariats* ハ至極的共通ノ利害
關係ヲ有スル故相互的ニ接近シ合フ理由ナキ故ナリトイフナリ、
然レトモ完全ナル社会主義至極ノ實現ハ又世界のナルヲ要スルモノ
ニシテ自然的生産条件ヲ異ニスル世界各部ニ分在スル国民力如何ニ
シテ統一の至極ノ支配ニ服従スルカ、問題ナリ、完全ナル經濟的利
害關係ノ共通具ノニトカ一ツノ疑問ナレトモソレヲ可能トスルモ尚
木單ナル經濟的關係力社会群ノ集團意識ヲ全部的ニ融和スルカアル
カ疑問ナリ、

國際聯盟ハ現在ノ國家狀態ヲ維持シツ、世界交通ノ發達ニ伴ヒ蘇

盟ノ実ヲ擧ケントスルモノナルカ單ナル交通ノ發達カ世界ヲ融和ニ
導クモノナラスシテ却ツテ衝突ヲモ大ナラシムルコト下ルハ明ナリ
即チ何レノ説ニ從フモ先ツ集團意識ノ融和ヲ前提トセサレハ止論ノ
基礎ヲ失フモノナリ、サレハ自主々義政策ノ理想ハ社会群相互間ニ
於ケル愛ノ結合ニマリト云フヘキナリ、之レハ理想ナリヤ空想ナリ
ヤ吾人ハ現實祖國政策ノ研究ニ於テ如何ニソレカ力ノアラハレテア
リ、殖民社会群ノ利益中心主義テアリ、社会群間ノ对立關係ニヨリ
テ抵抗ヲ受ケタリヤヲ免タルナリ、然レトモ今時ニ社会群ノ对立ハ
争闘ヨリ融和ニ進化スルヲ免タリ、

古來殖民ノ在史ハ殖民者ノ私慾ト偽善トニ蔽ハレタリト或モ其ノ
間又誠実ナル保護融和ノ精神ノ發露ナリシニアラス、而シテ社会ノ進
歩ト共ニ殖民政策力次第ニ平和的相互共存主義ニ変化セラルコトハ社
民史ノ教フル事実上ノ疑問ナリ、殖民及殖民政策ノ現状ハ社会群對
立ノ故ニ未タ混沌タル狀態ナルヲ免レズ、サレトモ社会進化ノ方向
ハ入类ノ國際的認同ニ向ヒツ、アルニ非ザルカ、入类ハ相互ニ相愛

スルノ能力ヲ有セサルヲ、
 而シテ *Disimulatio*、故彼即チ自然ノ征服ハ人類科学ノ進歩ニ
 負フ所アルト共ニ人々愛ノ主眼即チ社会群争闘ノ征服ハ人々意志ノ
 進歩ニ負フ所アルヘキナリ、新シキ天下新シキ地ト共ニ新シキ心カ
 人類ニ得ラレタルトキニ自主々義地民政策ノ理想ハ達マラル、ナラ
 シ、而モ人類ノ進歩ニヨリ其ノ完全ナル実現ヲ期待スルニ可シテハ
 十分ナル保証方アルト断言スルトナリ得入、之ヲ擬候スルハ倍仰ナ
 リ。

大正十三年三月三十日印刷
 大正十三年四月一日發行 (非賣品)

東京市本郷區中郷六丁目二番地
 編輯兼 石 田 正 七
 發行者
 東京市本郷區本郷六へ末門前
 印刷所 文 信 社

電話岩川三二四七番

14
730

終

